会議録

会議の名称		第２回豊中市環境審議会 第１３期		
開催日時		令和３年(２０２１年)２月９日(火) １０：００-１２：３０		
開催場所		第一庁舎２階大会議室 （ＷＥＢ開催）	公開の可否	(可)・不可・一部不可
事務局		環境部環境政策課	傍聴者数	１人
公開しなかった理由		－		
出席者	委　員	上甫木委員、猪井委員、上田委員、小杉委員、小谷委員、田中晃代委員、前迫委員、加納委員、山西委員、大橋委員、田中偉夫委員、松本委員、熊本委員、廣田委員		
	事務局	糸井環境部長、道端資源循環長、甫立次長兼環境政策課長、安好主幹、山本主幹、豊田係長、今川主査、川西職員、楢橋公園みどり推進課長、奥田係長、減量計画課　永富主幹、鈴木係長、家庭ごみ事業課　東城課長補佐、北野課長補佐、田中主査、福盛主査、澤田事業ごみ指導課長、池田係長		
	その他			
議　題		１．第３次豊中市環境基本計画の進行管理について ・協働の取組みに関する意見交換会の実施結果について（報告） ・豊中市環境報告書「とよなかの環境～２０１９年度評価と今後に向けて～」について（審議） ２．令和３年度協働の取組みに関する意見交換会のテーマについて（報告） ３．その他		
資　料		資料１－１：協働の取組みに関する意見交換会結果概要 資料１－２:豊中市環境報告書「とよなかの環境～２０１９年度評価と今後に向けて～」（案） 資料２：令和３年度協働の取組みに関する意見交換会のテーマについて 参考資料　豊中市環境報告書「とよなかの環境～資料編～」（案） 参考資料　協働の取組み事例一覧 参考資料　環境基本計画　令和２年度実施事業の要点 参考資料　第１３期環境審議会名簿		
審議等の概要（主な発言趣旨）		別紙のとおり		

○事務局

・会議の進め方の説明

・資料の確認

・委員・事務局紹介

（委員の交代があったため、改めて委員・事務局の紹介）

参考資料　第１３期　環境審議会名簿に沿って委員・事務局紹介

ここからの進行は会長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

○会長

今回の環境審議会は出席者全員が Web で参加されています。審議会では全員に発言いただきたいと思っています。なかなか慣れないため不安ではありますが、審議の中で発言される方はジェスチャーや挙手機能で次の発言の意思を示してください。発言いただく方の名前をお呼びします。多人数のため、環境政策課でもサポートをお願いできればと思います。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

それではまず案件１の第３次豊中市環境基本計画の進行管理についてですが、先日実施した協働の取組みに関する意見交換会の実施結果を踏まえて、その後、豊中市環境報告書「とよなかの環境～2019 年度評価と今後に向けて～」の審議を進めたいと思います。協働の取組みに関する意見交換会の結果概要について、事務局から説明をよろしくお願いします。

１．第３次豊中市環境基本計画の進行管理について

(1) 協働の取り組みに関する意見交換会の実施結果について（報告）

○事務局

資料１－１の説明

○会長

ご説明について、意見や質問があればお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

リモート会議ながら非常に闊達な意見交換会でした。

ご意見が特にないようでしたら、次の案件で関連するものがあれば、ご発言いただければと思います。

(2) 豊中市環境報告書「とよなかの環境～2019 年度評価と今後に向けて～」について（審議）

○事務局

資料１－２の説明

○会長

ご説明について、意見や質問があればお願いしたいと思いますが、目標ごとに進めていきたいと思います。全体に係ることはそのあとご意見を賜りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

① 目標１

○委員

「２０１９年度の協働の進ちょく状況」の項目名で、「令和２年度協働の取組みに関する意見交換会を実施しました。」と記載があります。目標ごとに使用している年度が異なる事情は理解しますが、項目名の違和感をなくすため、年度は記載せず「協働の進ちょく状況」、「協働の取組みに関する意見交換会を実施しました。」と記載したほうが良いのではないでしょうか。

○委員

「協働」については進捗評価の項目から外されています。市民が協力して活動していることを評価してもらいたいと思います。

○事務局

ページ編成について、年度の表記は改善させていただきます。

第３次環境基本計画から、「協働」を定量化して評価するのではなく、意見交換会のような定性的な形で評価することにしております。環境基本計画に掲載しているので参考にしていただければと思います。今後、計画や評価等検討する際には参考とさせていただきたいと思います。

○会長

５ページの「協働の総括」の箇所で定性的な評価が書かれています。協働を広げていくためには質について定性的に評価する必要があるかということで、ご理解いただきたいと思います。

○委員

市民協働部 コミュニティ政策課との連携を検討してもらいたいです。当該課では市民協働の取組み事例を、環境に限らず様々なテーマについて約 20 項目示されています。環境については参加者数が上位５位に該当するテーマとなっています。

また「環境」を５つのテーマ（目標１～５）で今考えており、個々が改善されるだけでなく、全体がどうバランス良く改善されていくかということが環境の改善報告になると思います。全体評価の観点から、目標１も数値化で評価を検討してもらえればと思います。

○事務局

協働についてはコミュニティ政策課で全庁的に進めています。同課との関連性も含め、ご意見いただきながら資料の修正を検討していきたいと思います。

○会長

多方面から環境分野に関する取組みについてアプローチしており、環境審議会評価にもありますように、他分野の団体との協働も非常に重要となってくるので、今後十分検討していかなければいけないと認識しております。そのようなご理解をいただけましたらと思います。

○委員

意見交換会の中でデジタル拠点に関する話題があり、情報をアーカイブ化する必要性を感じた一方で、フィールドワークの重要性を感じています。Web 上でデータ管理を行うにしても、現地における調査を通じて現場課題を抽出することが重要です。Web 活用が進んでいくと同時に、調査を一緒に行いデータを共有していく過程は、他分野団体との協働を含めたつながりをどう作っていくかという際、非常に重要ですが、いかがでしょうか。

○会長

委員の意見には同感ですので、審議会評価の中にデータの共有化やフィールドワークの重要性についても補足して記載してよいかと思っています。

○委員

会長の意見に賛成します。

○委員

協働が主なのか、生物多様性の維持を目指しているのか分からないです。協働であればこれまでの議論で良いですが、生物多様性であれば切り口が変わってきます。

○会長

色々なテーマの中で、目標達成のためにどのように連携を広げていくかということを主題に目標１を見ていただきたいと思います。

○委員

「環境審議会評価」に記載されている内容から後段の「審議会からの意見」が記載されていますが、「審議会からの意見」が概要化されてかなり一般的な内容になっています。再掲する必要があるのか検討してもらいたいです。同じ内容を記載しても意味はないですが、編集は難しいところかと思います。

○事務局

環境審議会評価は、本日の議論を踏まえて修正します。審議会からの意見については、審議会評価から市の考え方を整理するという観点から、分かりやすくなるよう記載していましたが、重複しているため記載しない方向で調整します。

○会長

その内容の方がよいかと思います。再編集するとわかりづらいものがあるかと思います。表現方法を検討の上、進めていただきたいです。

○委員

協働して幅広く連携されていくと思いますが、専門性が高く一般の方が参画する余地が少な

いように感じます。協働の幅を広げるためにも例えば学生など初めて見る方でもわかるようなもので周知ができれば良いと考えます。

○会長

続きまして目標２に移らせていただきます。ご意見、ご質問等いかがでしょうか。

② 目標２

○委員

コロナの影響は今年度の内容になりますが、特に交通分野において影響を受けていることを市民に知ってもらいたい。周辺自治体ではバスの減便などが進んでおり、自家用車の利用が増えると環境への影響は大きいと考えています。豊中市では東西バスの取組みも始まっているため取り上げてもらいたいと思います。

○事務局

交通については、前回審議会のご意見を踏まえ、自転車通行空間やシェアサイクル、乗合タクシーの内容等を記載しています。

本資料はホームページでの公表を基本としているため、細かく記載できなかった自転車活用計画（令和３年２月公表）等の情報は容易にアクセスできるようリンク等を記載したいと思います。「次年度の主な事業」の内容は、庁内で再度調整することを想定しております。令和２年度、令和３年度の内容を記載するとともに、コロナの影響を受けた内容の記載を行いたいと思います。

環境審議会評価で、コロナの状況で公共交通の利用が減っていることを記載した上で、１５ページ「市の考え方」に今年度、次年度以降の取組みとあわせて記載したいと思います。令和３年２月に自転車活用推進計画も公表されているため、その内容も記載したいと思います。

○会長

次年度以降に向けてメッセージを出していくことが重要です。可能な範囲で市の方針等についても記載してもらいたいと思います。

○委員

１５ページの市民からの意見２つ目に、地球温暖化防止（現状報告）と SDGs の関係についての意見があり、これに対する市の考え方が１６ページ１つ目になるかと思いますが、この市の考え方の SDGs についての文言は極めて一般的な考え方で、目標１に入るのではないかという印象です。地球温暖化防止との関係について何も記述がないので、目標２の回答としては不十分で、的を射ていない印象があります。

また、市の考え方の最後の項目については、市民からの意見を受けていることが分かるよう「作り手と売り手」の内容を先に記載してから、市の話を記載してもらいたいと思います。市民からの意見の３つ目を受けたように思えて少し混同があると思います。

○事務局

SDGs のご意見ですが、地球温暖化防止に関する環境学習プログラムを来年度以降作成していきたいと考えており記載しております。目標２に入れるのであればもう少し詳しく記載したいと思います。グリーン購入法についてはご指摘の通り修正したいと思います。

○委員

環境審議会評価の文章の頭に「エネルギー使用量の把握に課題がある」ことが記載されていますが、これは少し唐突感があります。まずは市民１人辺りの排出量やエネルギー消費量が減少していることを記載し、その上で課題を記載する順はいかがでしょうか。その次にコロナの影響のポイントとして、家庭部門における影響、交通部門における影響により、今後必要になるであろうことを記載し、統計上の話はまた別項目で挙げられてはどうでしょうか。

温室効果ガス排出量の計算は、小売の自由化で消費量が把握できない中で排出係数を関西電力が公表する数値とされています。排出係数によって排出量の試算結果は大きく変わるため、検討してもらいたいと思います。

○事務局

エネルギー使用量の把握の課題は毎年審議会で指摘され、全体が把握できていないという課題がありこのような書き方をしております。ご指摘いただいたように唐突感があるので記述は修正したいと思います。

また、排出係数は、各電力事業者に市から使用量の調査を行っており、本市の使用量について個別の事業者ごとのデータはありますが、環境報告書の進行管理においては１９９０年度の関西電力の排出係数に固定して温室効果ガス排出量の計算を行っております。排出係数の数値は把握していますが、進行管理では電気使用量の増減で CO_2 の排出量がわかるという推計にしております。推計方法は計画策定時に決まったものであり、それに合わせて記述をしております。

審議会評価の２項目目は、委員の意見も含めて記述を修正したいと思います。

○会長

次の目標３に移らせていただきます。ご意見、ご質問等いかがでしょうか。

③ 目標３

○委員

市民の自助努力を促す内容が多いため、政策も記載してもらいたいと思います。近年は３Ｒではなく７Ｒの概念が広まっており、エシカル消費といったキーワードが教科書にも掲載されている状況です。単に市民の自助努力としてペットボトルのリサイクルを例に挙げるのではなく、デポジットなど、市民がお得に取り組めること、取組みやすいことを記載してもらいたいと思います。

○事務局

７Ｒについて、本市のごみの計画では、２Ｒと質の高いリサイクルとして発生抑制と再使用を主としているため、２Ｒ（発生抑制・再使用）＋質の高いリサイクル、という形でご理解いただければと思います。また、記載内容を見直し、市が取り組む内容についても追記したいと思います。

○会長

修正する内容、方向性があればご説明いただきたいと思います。

○事務局

今の段階では回答は難しいところです。今後各方面と相談しながら修正していきたいと思っております。

○委員

リサイクルは最終手段と感じているので、あまり記載しない方がいいのではないでしょうか。

○委員

発生抑制が大事ということは共通認識であるため、質の高いリサイクルに意図される内容について具体的に取り組む内容を含めてわかりやすく記載をしてもらいたいと思います。市ではフードドライブのシステム化などさまざまな取組みが行われており、コロナ禍の現在、容器も気を配っていかなければならない現状においては、言葉として示していくことで理解のための共通のキーワードがあるとよいと思っております。

○会長

非常に重要なご意見ですので、市でも内容についての記載を検討いただければと思います。

○委員

審議会評価に記載されている通り、コロナウイルス感染症対策のため外出自粛により家食が増えています。フードドライブだけでなく、家庭ごみとして発生する容器等が増えている問題もあると思いますので、どのような対策ができるか記載を検討してもらいたいと思います。プラスチック利用を減らすための施策がマイボトル以外にないのは気になります。また、２２ページにエコショップに関する記載がありますが、エコショップは既に広まっている認定制度で、何かエコなことをしている、ごみを削減することはこの時代に当たり前になっていると考えます。例えば認定されたエコショップ同士を連携させ、宅配やテイクアウトなどに使う容器に関する何か新しい提案をするなど、エコショップ制度の有効な活用方法について市で検討していただきたいです。

○会長

審議会評価の中に「新たな取組みの検討が必要」という内容を加えることとしたいと思います。それを受けて減量計画課でまた具体的な取組みの内容について検討いただくということ

になるかと思いますが、いかがでしょうか。

○事務局

審議会評価に具体的な対応、行動のヒントを記載し、市の考え方の方では、今年度も取り組んでいるバイオマス素材を使った地域清掃用ごみ袋や木材製品によるプラスチックの代替等について、市民への周知も含め追記したいと思います。

○会長

それでは目標４に移らせていただきます。ご意見、ご質問等いかがでしょうか。

④ 目標４

○委員

環境審議会評価に、「イベント参加者数の増加」に関する記載がありますが、本来の目的はイベント参加者ではなく自然に親しんでもらうことです。文言について再検討いただきたいと思います。また、緑被率等の指標は数年に１度の測定になるため、次回の調査に関する内容や目標の達成年度に向けて取り組む内容などを記載してもらいたいと思います。

○事務局

イベントの参加者数については、自然に親しんでもらう第一歩として、本市にこのような自然があるということを周知していきたい、という趣旨で記載しております。目的はご指摘のとおりであるため文章を再考したいと思います。みどり率についても調査が５年に１度であるため進ちょくに関する文言が５年間変化しませんが、同じ内容が記載され続けることも良くないため検討したいと思います。

○委員

緑地面積を比べることはあまり意味を感じません。アーバンパーマカルチャーのような公園以外の緑に関することも考慮してもらいたいと考えています。

○事務局

エコロジカルネットワークなど計画に記載していることもあり、緑はできるだけ増やしていきたいと考えております。指標はすぐに変更できませんので、次回の指標検討の際に考えさせていただきたいと思います。

○会長

緑以外の農地等は緑地計画の中には緑の一部として当然入っています。基盤としての構造を見るのに緑地率は重要な概念であるため指標にあがっているということをご理解いただければと思います。

⑤ 目標５

○委員

環境審議会評価で気候変動適応に関する記載がありますが、事業内容は気候変動適応の観点が含まれているかはっきりしません。事業内容に大気汚染だけでなく熱中症への注意喚起についても記載を検討してもらいたいです。

目標４に緑化事業がありますが、これはヒートアイランド効果低減の観点から目標５にも資するところではないかと思えます。目標は５つありますが、環境事業はすべて分かれているのではなく、他の目標にも資するものが結構あり、それが分かるような記載の仕方があるといいのではないでしょうか。目標４に記載されている緑化推進事業の内容に目標５との関連性について記載をお願いしたいと思います。

○事務局

目標５の気候変動適応策について、目標２で対応することになっています。適応に関する記載は、多くの目標と関連があるため、（再掲）の表現で修正したいと思います。本市は全国的にも熱くなりやすい土地柄であるため、来年度事業として市内に複数のクールスポットを設置し、熱中症対策として涼んでもらえるような拠点を作り、あわせて給水スポットを設置して、マイボトルを持っていけば給水できるようなことを考えています。

○会長

それでは、全体を通して何かありましたらお願いしたいと思います。

⑥ 全体を通して

○委員

目標の見出しについて、環境基本計画に記載されているタイトルではなく、今回のためにオリジナルに作成した内容になっているため、環境基本計画の見出しと統一してもらいたい。

また、全体を通して「次年度」という表現が多く使われていますが、何年度に予算を使うのかメリハリを付けてわかりやすくしてもらいたい。

市民からの意見の総数は、市民の意見の直前に記載するのはいかがでしょうか。

○事務局

市民への周知や理解増進のため、あえて文言を変更しているということでご理解いただきたいと思います。市民意見の総数や次年度の表現については、ご指摘の通りわかりやすいように整理していきたいと思います。

○会長

基本計画で目標１～５を記載しているため、その内容は記載しておいたほうが良いかと思います。市が市民に伝えたいメッセージがあることは理解しますので、それは副題として整理してもらいたいと思います。

○委員

５つの目標に関する取組みについて予算を比較すると差がかなりあります。特に力を入れて

いる内容やその効果についてはしっかりと記載してもらいたいと思います。

○会長

今後に向けての検討すべきご指摘だったかと思います。これまで予算面まで議論されることはなかったと思います。費用対効果やそれによって方向付け等が再確認できるかもしれませんので、今後の検討課題としていただければと思います。

いただいた意見については事務局で検討いただいて、必要であれば発言いただいた委員の方と調整いただき、私の方にご一任いただくということでよろしいでしょうか。

それでは次の案件に移らせていただきます。

２.令和３年度協働の取組みに関する意見交換会のテーマについて（報告）

○事務局

資料２の説明

○委員

本日の環境審議会の次第で、テーマについて「報告」となっています。テーマを決めることは審議会の役割であると認識しているが、報告ではなく審議という認識で良いでしょうか。

本案で意見交換会を実施することは反対です。本内容は未来の話ですが、協働の意見交換会は従来の数値的な評価の代わりにこれまでの協働の取組みを振り返って評価をするものであり、その要素が欠落しています。例えばこれから新しい計画を作るためのフォーラムとしての開催ということであればよいですが、環境報告書を作るため進行管理として意見交換会の内容で提案されることは本質が違うのではないでしょうか。目標２の再エネを主題にすることは問題ないですが、意見交換会の構成やテーマについて内容は再検討してもらいたいと思います。

○事務局

意見交換会の内容を事務局である一定作り上げたものをご報告差し上げ、各委員からご意見をいただくという形を取るため報告としております。ご意見をお伺いしたいと思います。

○委員

環境基本計画の３７ページで発表内容等に関する提案が審議会の役割として記載されています。基本計画の進行管理に関する審議会の役割の一つと認識していますがそこの見解はいかがでしょうか。

○事務局

事前提案、事後報告において、発表内容の改善等について総合的にご意見を頂戴する場として、審議会に諮らせていただいております。

○委員

目標の進行管理が審議会の役割で、どの目標・取組みについて進行管理を行うかということを前提に審議会が毎年テーマを決めていくものだと認識しているので、理解するのが難しい。

○会長

審議か報告かについては改めて市から審議会に説明をお願いしたいと思います。

内容について、基本は目標２で行うことと、再生可能エネルギーということに対してどのような形で取組みを広げていくか、各取組みの協働の形がつかめていくといった当初の趣旨があったと思います。目的の最後の「地球温暖化防止地域計画の改定に向けた基礎資料」という点について事務局に見解を伺いたい。

○事務局

テーマとして再生可能エネルギーに絞った形で記載しているが、前年度の取組み事例で評価することを考え、テーマの打ち出し方について検討したいと思います。参加団体についても、協働の取組みでＮＰＯ団体や市で設置したチャレンジマイナス 70 推進協議会があり、市民向けに省エネについて取り組んでいる団体もあるので、追加したいと思います。

○委員

進行管理を主として、また、計画の基礎資料を目的とするのではないという意味において、少し広いテーマで行うのであれば理解はできると思います。報告書の中で交通の話があったように、目標全般に関する取組みについて検討してもらいたいと思います。

○委員

交通で協働の取組みが進んでいないのが現状です。各自治会で積極的に動いている団体もありますが、交通の団体で連携はまだまだできていないので、評価という面では厳しいものがあります。

○委員

案として示されたテーマの場合、太陽光発電を増やすことが主目的に見えてしまいます。ゼロ・カーボンシティを目指すような形で、さまざまな観点からコミュニティとして取組みの連携が必要であるという視点で検討してもらいたいと思います。

○委員

太陽光発電について、国の政策もあり随分と進められた時期がありましたが、太陽光発電とは、作る際のカーボンの排出量はどのくらいの量か、パネルを作って発電することでどのくらいマイナスになるのかなど、もう少し長いスパンで見たプラスマイナスどうなるのかという視点をあまり見たことがないように思います。また、豊中の高気温について、対処療法ではなく視野を広げて、長いスパンで見ていただいたらよりわかりやすいと感じます。

○会長

環境省が地域循環共生圏の構築をめざしています。能勢町と豊中市で１つの共生圏として、例えば自然再生可能エネルギーの利活用等について検討していただければと思います。また、

一般の方への発信も考慮していただき、テーマと内容の進め方の検討をしてもらいたいと思います。

目標２で再生可能エネルギーに関することをテーマとするという方向性を確認したとさせていただき、内容は協働の取組みがどう広がっていくのかということに的を絞ってもう少し検討するという形で進めてもらいたいと思います。

最後にその他について事務局からお願いいたします。

３.その他

○事務局

豊中市・吹田市気候非常事態共同宣言について説明

地球温暖化防止地域計画の改定に向けた部会設置について説明

再生可能エネルギー導入計画の策定予定について説明

○会長

ほかに意見はございませんか。

意見がないようであれば、予定の案件の議論は終わりましたので、以上をもちまして進行を事務局にお返しします。

○事務局

・挨拶

以上

第２回豊中市環境審議会（第 13 期）

日時：令和 3 年(2021 年)2 月 9 日（火）10：00-12：00

開催場所：第一庁舎２階大会議室（ＷＥＢ会議 ）

次　第

１．　第３次豊中市環境基本計画の進行管理について

・協働の取組みに関する意見交換会の実施結果について（報告）

・豊中市環境報告書「とよなかの環境～2019 年度評価と今後に向けて～」 について（審議）

２．　令和 3 年度協働の取組みに関する意見交換会のテーマについて（報告）

３．　その他

～　資　料　～

資料 1－1：協働の取組みに関する意見交換会結果概要

資料 1－2：豊中市環境報告書「とよなかの環境～2019 年度評価と今後に向けて～」（案）

資料 2：令和 3 年度協働の取組みに関する意見交換会のテーマについて

参考資料：豊中市環境報告書「とよなかの環境～資料編～」（案）

参考資料：協働の取組み事例一覧

参考資料：環境基本計画　令和 2 年度実施事業の要点

参考資料：第 13 期環境審議会名簿

令和２年度（2020 年度）

協働の取組みに関する意見交換会結果概要（案）

●意見交換会の実施概要

・　テ ー マ：「豊中の生物多様性の保全と活用」

・　日　時：１回目　令和２年 10 月８日（木）　13:30~15:30

協働の取組みの説明

生物多様性生態系サービスの説明

活動発表「市内の団体等による生物多様性の取組み事例」

全員参加ディスカッション「生物多様性の保全と活用」

懇親会

２回目　令和２年 10 月 27 日（火）　13:30~15:30

グループワーク「生物多様性の保全・活用に関して取り組んでみたいこと、

取組みにあたっての課題、協働によってできることは？」

全体発表・ふりかえり

ファシリテーター、コーディネーター講評

・　開催方法：両日ともWeb 開催（Zoom）　※WEB 対応が困難な活動団体は会場参加

・　参 加 者：NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 自然部会、豊中あぐりプロジェクト運営委員会
大阪大学、刀根山高校、天竺川ホタルの会、ヒメボタル保護者会、島熊山の雑木林を守る会、
豊島北ビオトープクラブ、パナソニックホームズ株式会社、大阪自然環境保全協会、
大阪府立環境農林水産総合研究所　生物多様性センター（順不同）
（豊中市関係課）　公園みどり推進課
（環境審議会委員）　上田委員、田中偉夫委員、大橋委員、熊本委員

●**開催結果**

１回目：豊中で活動している団体における生物多様性の保全・活用の現状把握

さまざまな団体の活動を生物多様性の保全・活用の観点から事例発表することで、豊中生物多様性の保全・活用のあり方について、現状や課題を共有した。

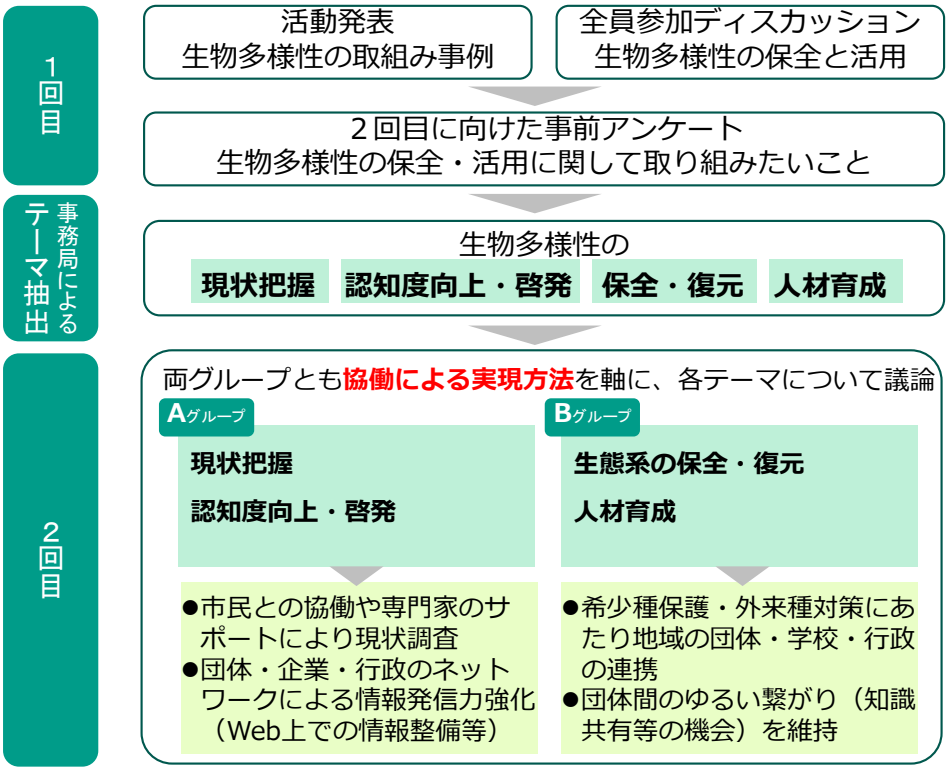
２回目に向けた事前アンケートを参加者に対して実施し、生物多様性の保全・活用に関して協働で取り組んでみたいことのアイデアを集約した。

事務局によるテーマ抽出

意見交換および事前アンケートの内容をもとに、生物多様性の４つのテーマ（生物多様性の「現状把握」、「認知度向上・啓発」、「保全・復元」、「人材育成」）を抽出した。また、事前アンケートをもとに２回目のグループ編成を行った。

２回目：生物多様性のより良い保全・活用にむけて～協働の取組みの方向性の共有～

１回目の議論や事前アンケートをもとに、豊中の生物多様性のより良い保全・活用をすすめるにあたって、各団体が協働で取り組んでみたいことを共有した。取組みにあたっての課題と、他団体との協働によって解決できること・新しく取り組めることを話し合うことで、今後の協働の取組みの方向性の共有につなげた。なお、団体数の関係から、A、B の 2 グループで意見交換を実施した。



１．活動発表「市内の団体等による生物多様性の取組み事例」

取組みの特長として、市内、府内の団体同士、地域の組織（自治会等）や大学の連携による持続的なネットワークが形成されており、生物多様性の保全活動や啓発活動がこれまで実施されてきた。

課題として、活動者の高齢化が多くの団体で挙がっており、事業者や学校、地域団体などとの協働により活動を広げたいとの意向が示された。

発表団体	協働の取組みの特長	① 課題／②今後の協働への意向
NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ21自然部会	・ 団体間では、重複しているメンバーもいることから、豊中の自然に関する情報や、自然の保全のあり方などの認識は相互に共有されており、同じ方向を向いて活動することができている ・ 行政との協働では、行政の持っている情報を教えてもらう、事業者への要請など、市民だけではできない部分を協力してもらえる	① 活動しているメンバーの高齢化、当初から活動する人の知識や経験の継承、団体内での議論のマンネリ化、実施事業の多様化が課題となっている ② とよなか市民環境会議の構成団体のうち生物多様性の活動に取り組む団体、SDGs の 14・15・17 番の達成に貢献する事業者・学校・地域団体等、SNS などで情報発信を行っている団体と今後協働したい
ヒメボタル保護者会	・ 協働により生息地の保全作業や啓発活動で出来る範囲が広がり、ヒメボタルや春日町ヒメボタル特別緑地保全地区への認識が少しずつ向上している ・ 各市町の保護団体が任意で持ち回りにより開催する『ヒメボタルサミット』をきっかけに、各市町間のヒメボタル保護団体や行政間との繋がりが広がっている	① 活動者の高齢化が課題となっている ② ヒメボタルの保全に関心のある学生や若いボランティアなどを巻き込み、活動に参加してもらえるような仕組み作りを検討行きたい
大阪大学サステイナブルキャンパスオフィス キャンパスデザイン部門	・ 地域に根差した組織として、毎年新しい学生が入ってくる講義やゼミの学生をもつ大学がうまく連携した活動となっている ・ 市域や組織を超えた緩やかな繋がりを築くきっかけ作りや、身近な緑地環境に対する意識向上につながっている	① 中学・高校との接点がない ② 今後は地域の中学や高校との連携を広げていきたい
天竺川ホタルの会	・ 会活動は月に 2 回ほどであるが会員の中でボランティア活動を毎日のようにされる方があり、竹林の整備が進んだ ・ 自治会が間伐材で竹灯篭を作る講習会を行い「灯篭祭り」を開催した　七夕用に竹の無料配布、タケノコ堀の地域開放	① 竹林の管理は体力も必要　新千里南町の自治会からできた会は高齢化が進んでいる ② 今後は自治会を始め広く人材を募集したい　地域の子どもたちにホタルや自然と遊ぶ楽しさを伝えたい　セミやカブトムシやトンボなどが育つ環境を造りたい

２．１回目、事前アンケートで出された意見

１回目の全員ディスカッションでは、豊中の生物多様性の状況把握の重要性、残存する生態系の保全や生態系の復元の考え方、情報発信の仕組みの必要性や、新たな参加者の巻き込み・地域住民との連携などについて意見が出された。

事前アンケートでは、今後生物多様性に関して各団体等が取り組んでみたいことに関する具体的な提案が数多く出された。２回目については団体数が多いため２グループに分けて意見交換を実施した。

１回目で出されたキーワード	事前アンケートで出された今後取り組んでみたいこと	２回目のテーマ
豊中の生物多様性の状況把握の重要性 （土地の地歴を考える）	地域の自然の昔の姿について高校生による聞き取り 生物多様性の評価（子供達と一緒に生物調査） 河川の水生動物の実態調査、外来植物の管理等について専門家からの協力 ビオトープの生物調査に他団体から協力 「残したい！大阪の自然」の記録活動の拡大	**生物多様性の現状把握**
残存する生態系の保全 （ニュータウン開発時に残った緑地を守る） 生態系の復元の考え方 （持ち込む生き物の遺伝子）	池の希少生物の保全 地域や自治体と連携して昆虫に親しむ環境づくり 特定外来生物の除去について他団体・市民と協働 他分野のアイデアも取り入れながら近隣住民や多様な企業との連携を踏まえた仕組みを構築	**残存する生態系の保全と、生態系の復元**
情報発信の仕組み （学生と協働で SNS 活用、アジェンダでの新たなタスクフォース） 環境啓発のあり方 （ビジターセンターの活用）	参加団体が協力しあってデジタル自然史博物館の構築 市内の自然環境保全団体ネットワーク全体で、ＳＮＳ発信強化の仕組み 活動を HP や市の環境展で知ってもらい賛同・支援者を増やす 環境活動のアピール方法の把握 生物多様性関連のイベントを今後も継続開催	**生物多様性の認知度向上とこれからの環境啓発**
活動人員の現状 （高齢化、人員の固定化、人員削減） 新たな参加者の巻き込み 地域住民との連携	市民・学生を対象に自然観察会や講座を開き、賛同した人・登録者の中から担い手を育成 学校のＰＴＡや近隣住民の参加による取組み 市民ボランティア登録制度 スキルアップ講習・指導者育成 市内の企業への働きかけ	**生物多様性の保全・活動を継続するための人材育成**

３．２回目（グループワーク）で出された意見

今後の協働の方向性として、A グループでは、団体・市民との協働や専門家のサポートによる現状調査、団体・企業・行政のネットワークによる情報発信力強化（Web 上での情報整備等）、B グループでは、希少種保護・外来種対策にあたり地域の団体・学校・行政との連携、団体間のゆるい繋がり（知識共有等の機会）を維持することなどが挙げられた。

	A グループ	B グループ
前半：主な意見内容	**生物多様性の現状把握** （1）どのような調査が重要になるか ・ かつての自然を知ることが重要であるため、昔を知る方を中心にヒアリングすることが必要である ・ 調査に際しては市民の興味、関心が高まるように意識している ・ 専門家と連携した調査を通じてどのような保全が必要か検討したい （2）市民を巻き込む具体的な方法 ・ 知識を教える人材や運営サポートできる人材（サポートスタッフ）が市民と活動の橋渡しを担う （3）人々の生活と生物多様性 ・ 多面的な生態系サービスを理解する （4）生態系保全にかかる調査 ・ 生物多様性の調査結果をどういう恩恵を受けているか発信 （5）外部との協働 ・ 今後参加団体と協働したい	**残存する生態系の保全と、生態系の復元** （1）希少種 ・ 希少な生き物や植物（ヒメボタル等）について知ってもらいつつ、どのように生息・生育環境を維持するかが重要である （2）周知 ・ 周知し過ぎると人が来すぎて自然環境に悪影響が出ることもあるが、知ってもらうことで活動者が増えることも大切 ・ 団体同士や行政との連携による周知もしていきたい （3）外来種 ・ 外来種対策について周知や対策が必要ではないか ・ 外来種・特定外来種等について正しい知識を持ってもらうことが重要
後半：主な意見内容	**生物多様性の認知度向上とこれからの環境啓発** ・ 自分たちがどのような形で生物多様性の恩恵を受けているか分かるような形で発信することを意識する（企画展、談話会など） ・ 里山における生活の追体験（現在は失われている文化）を通じて市民の関心を高める ・ 既存のデータも Web 上のデータとして整備するなど、生物の実態を集約する必要がある ・ 企業の参画を促すことでネットワーク形成に役立つ ・ おおさか生物多様性パートナー協定やおおさか生物多様性リンク等のネットワークを活用して豊中の情報拠点ができると良い	**生物多様性の保全活動を継続するための人材育成** （みどりのネットワークを広げる方法に焦点を当てて議論） ・ 近隣の団体、小学校等との協働が課題である ・ これまで協働していないような全く違う団体と同じ価値を共有し活動することも重要となる ・ NPO アジェンダ 21 や大阪自然環境保全協会などとのゆるい繋がりのネットワークを保持していくことが、知識の共有や団体活動のモチベーションにもつながる ・ 今後も団体同士の継続的なつながりや情報交換の場を持つ方が良い。行政にも入ってもらうのもいいが、行政が主導しなくても良い

●参加者アンケート結果概要（抜粋）

アンケート対象	意見交換会参加者
調査票回収数	活動団体　９団体（９名） 環境審議会委員　２名

１．運営・進行について

ア 意見交換会の全体時間（２時間×２回）の印象

意見交換会の全体時間については 54.5%が「ちょうどよい」と最も多く、次いで 36.4%が「短い」と回答した。「ちょうどよい」の理由として、「参加者全員の意見が聞け、意見交換会が円滑に進められるに２時間必要。意見をうまく引き出していただき実り多かった。」、「短い」の理由として「他グループと意見交換する余裕のないまま終わった」などが挙げられた。

２．他団体との意見交換について

ア 他団体の取組み事例

他団体の取組み事例については、72.7%が「参考になった」と最も多かった。「参考になった」の意見として、「どこも同じような悩みを持ちながら活動しているなど、共通点が多いことが分かった」などが挙げられた。

イ 意見交換会参加により得た気づきやアイデア

「市内の学校（小・中・高）、大学、各団体との連携を図っていきたい」などの意見があった。

３．オンライン懇親会（１回目）について　（参加者のみ）

今後の発展につながる意見交換ができたかについては、50.0%が「できなかった」と回答した。「できなかった」理由として、「意見交換するには時間が少なすぎる」などが挙げられた。

４．これからの取組みについて

ア 意見交換会に参加して得たヒント

「周知か保全かというテーマ」、「ＳＮＳを活用した広報活動の必要性」などの意見があった。

イ 協働の取組み促進への具体的な提案・アイデア、取り組んでみたいこと

具体的な提案として「ボランティア参加希望者をマネジメントしていく仕組みづくり」、意見交換会について「顔を見合わせた形で年に１～２回の頻度で継続」などの意見があった。

５．その他

今後の意見交換会にあたっての意見等について、「生物（昆虫等、植物等）の専門家の参加を希望」、「意見交換後に具体的なワーキンググループ」などが挙げられた。

●総括

1．取組みの特長

- 地域の身近な自然環境を対象地とした保全活動（里山の雑木林・竹林、都市緑地、河川など）
- 学校や地域の他団体との連携
- 大学による市域を超えた活動による自然環境の活用と保全活動
- 取組みによる生物多様性の恵みを市民に周知し、理解を促進

発表団体からの報告事例

✧ 雑木林の保全や生物調査、ビオトープの活用などの主体者が NPO を通じてつながっており、生物多様性に関する情報や保全のあり方の認識を共有することができている事例

✧ ヒメボタル生息地の保全や啓発を地域団体が中心に担い、行政が生息地を特別緑地保全地区に指定するなどのソフト面の整備を主に担い、さらに近隣小学校との連携などをすすめることで、地区の保全活動の認知度向上につながっている事例

✧ 地域に根差した組織（大学）として学生の講義やゼミを活用し、生物多様性に関するイベントが楽しく参加できる工夫を行うことで、市域を超えた緩やかな繋がりのきっかけ作りや身近な緑地環境に対する意識向上につなげられている事例

✧ 地域の団体同士が河川の環境保全を協働し、竹林の整備を通じて生物多様性の活用が進められている事例

2．課題

生物多様性の保全・活用を推進するうえでの課題を認識

① 市内の生物多様性に関する現状把握が不足
② 市民の生物多様性の認知度が低い
③ 生態系の保全・復元のあり方が不明確
④ 保全活動を継続するための人材不足
⑤ 団体同士の継続的なつながり、情報交換が希薄

3．今後の展望

- **自主的なネットワーク形成**

  地域の活動がより多くの市民・事業者などに理解され活動を広げるため、継続的な情報共有や生物多様性の現状把握・データ集積の情報発信などを促進

- **デジタル博物館等の構築**

  生物多様性の現状を把握したり認知度を高めたりする機会の充実

- **持続可能な活動を促進**

  各団体や事業者が活動地の近隣の団体や学校、専門機関などとのつながりを強化するとともに、行政も公民館で活動している団体等環境以外の団体への発信などを担う

- **行政の生物多様性の現状把握や必要な取組み検討**

  次期生物多様性国家戦略の国や府の動向をみすえた対応

令和２年度（2020 年度）

協働の取組みに関する意見交換会結果概要（案）

●意見交換会の実施概要

・　テ ー マ：「豊中の生物多様性の保全と活用」

・　日　時：１回目　令和２年 10 月８日（木）　13:30~15:30

協働の取組みの説明

生物多様性生態系サービスの説明

活動発表「市内の団体等による生物多様性の取組み事例」

全員参加ディスカッション「生物多様性の保全と活用」

懇親会

２回目　令和２年 10 月 27 日（火）　13:30~15:30

グループワーク「生物多様性の保全・活用に関して取り組んでみたいこと、

取組みにあたっての課題、協働によってできることは？」

全体発表・ふりかえり

ファシリテーター、コーディネーター講評

・　開催方法：両日ともWeb 開催（Zoom）　※WEB 対応が困難な活動団体は会場参加

・　参 加 者：NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 自然部会、豊中あぐりプロジェクト運営委員会
大阪大学、刀根山高校、天竺川ホタルの会、ヒメボタル保護者会、島熊山の雑木林を守る会、
豊島北ビオトープクラブ、パナソニックホームズ株式会社、大阪自然環境保全協会、
大阪府立環境農林水産総合研究所　生物多様性センター（順不同）
（豊中市関係課）　公園みどり推進課
（環境審議会委員）　上田委員、田中偉夫委員、大橋委員、熊本委員

●**開催結果**

１回目：豊中で活動している団体における生物多様性の保全・活用の現状把握

さまざまな団体の活動を生物多様性の保全・活用の観点から事例発表することで、豊中生物多様性の保全・活用のあり方について、現状や課題を共有した。

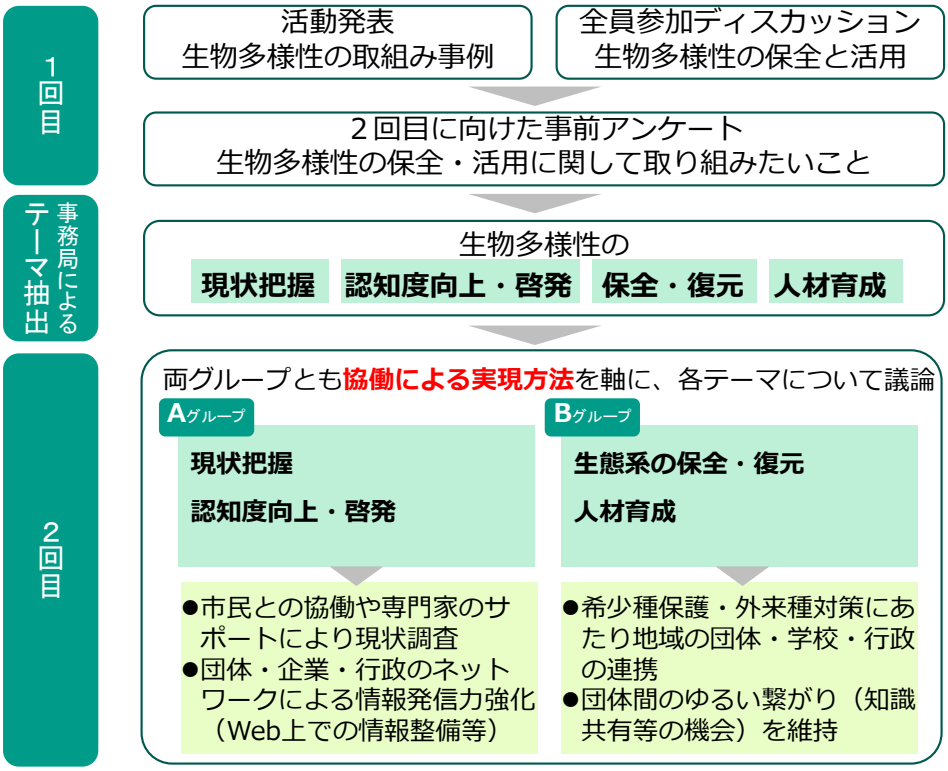
２回目に向けた事前アンケートを参加者に対して実施し、生物多様性の保全・活用に関して協働で取り組んでみたいことのアイデアを集約した。

事務局によるテーマ抽出

意見交換および事前アンケートの内容をもとに、生物多様性の４つのテーマ（生物多様性の「現状把握」、「認知度向上・啓発」、「保全・復元」、「人材育成」）を抽出した。また、事前アンケートをもとに２回目のグループ編成を行った。

２回目：生物多様性のより良い保全・活用にむけて～協働の取組みの方向性の共有～

１回目の議論や事前アンケートをもとに、豊中の生物多様性のより良い保全・活用をすすめるにあたって、各団体が協働で取り組んでみたいことを共有した。取組みにあたっての課題と、他団体との協働によって解決できること・新しく取り組めることを話し合うことで、今後の協働の取組みの方向性の共有につなげた。なお、団体数の関係から、A、B の 2 グループで意見交換を実施した。



１．活動発表「市内の団体等による生物多様性の取組み事例」

取組みの特長として、市内、府内の団体同士、地域の組織（自治会等）や大学の連携による持続的なネットワークが形成されており、生物多様性の保全活動や啓発活動がこれまで実施されてきた。

課題として、活動者の高齢化が多くの団体で挙がっており、事業者や学校、地域団体などとの協働により活動を広げたいとの意向が示された。

発表団体	協働の取組みの特長	① 課題／②今後の協働への意向
NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ21自然部会	・ 団体間では、重複しているメンバーもいることから、豊中の自然に関する情報や、自然の保全のあり方などの認識は相互に共有されており、同じ方向を向いて活動することができている ・ 行政との協働では、行政の持っている情報を教えてもらう、事業者への要請など、市民だけではできない部分を協力してもらえる	① 活動しているメンバーの高齢化、当初から活動する人の知識や経験の継承、団体内での議論のマンネリ化、実施事業の多様化が課題となっている ② とよなか市民環境会議の構成団体のうち生物多様性の活動に取り組む団体、SDGs の 14・15・17 番の達成に貢献する事業者・学校・地域団体等、SNS などで情報発信を行っている団体と今後協働したい
ヒメボタル保護者会	・ 協働により生息地の保全作業や啓発活動で出来る範囲が広がり、ヒメボタルや春日町ヒメボタル特別緑地保全地区への認識が少しずつ向上している ・ 各市町の保護団体が任意で持ち回りにより開催する『ヒメボタルサミット』をきっかけに、各市町間のヒメボタル保護団体や行政間との繋がりが広がっている	① 活動者の高齢化が課題となっている ② ヒメボタルの保全に関心のある学生や若いボランティアなどを巻き込み、活動に参加してもらえるような仕組み作りを検討行きたい
大阪大学サステイナブルキャンパスオフィス キャンパスデザイン部門	・ 地域に根差した組織として、毎年新しい学生が入ってくる講義やゼミの学生をもつ大学がうまく連携した活動となっている ・ 市域や組織を超えた緩やかな繋がりを築くきっかけ作りや、身近な緑地環境に対する意識向上につながっている	① 中学・高校との接点がない ② 今後は地域の中学や高校との連携を広げていきたい
天竺川ホタルの会	・ 会活動は月に 2 回ほどであるが会員の中でボランティア活動を毎日のようにされる方があり、竹林の整備が進んだ ・ 自治会が間伐材で竹灯篭を作る講習会を行い「灯篭祭り」を開催した　七夕用に竹の無料配布、タケノコ堀の地域開放	① 竹林の管理は体力も必要　新千里南町の自治会からできた会は高齢化が進んでいる ② 今後は自治会を始め広く人材を募集したい　地域の子どもたちにホタルや自然と遊ぶ楽しさを伝えたい　セミやカブトムシやトンボなどが育つ環境を造りたい

２．１回目、事前アンケートで出された意見

１回目の全員ディスカッションでは、豊中の生物多様性の状況把握の重要性、残存する生態系の保全や生態系の復元の考え方、情報発信の仕組みの必要性や、新たな参加者の巻き込み・地域住民との連携などについて意見が出された。

事前アンケートでは、今後生物多様性に関して各団体等が取り組んでみたいことに関する具体的な提案が数多く出された。２回目については団体数が多いため２グループに分けて意見交換を実施した。

１回目で出されたキーワード	事前アンケートで出された今後取り組んでみたいこと	２回目のテーマ
豊中の生物多様性の状況把握の重要性 （土地の地歴を考える）	地域の自然の昔の姿について高校生による聞き取り 生物多様性の評価（子供達と一緒に生物調査） 河川の水生動物の実態調査、外来植物の管理等について専門家からの協力 ビオトープの生物調査に他団体から協力 「残したい！大阪の自然」の記録活動の拡大	**生物多様性の現状把握**
残存する生態系の保全 （ニュータウン開発時に残った緑地を守る） 生態系の復元の考え方 （持ち込む生き物の遺伝子）	池の希少生物の保全 地域や自治体と連携して昆虫に親しむ環境づくり 特定外来生物の除去について他団体・市民と協働 他分野のアイデアも取り入れながら近隣住民や多様な企業との連携を踏まえた仕組みを構築	**残存する生態系の保全と、生態系の復元**
情報発信の仕組み （学生と協働で SNS 活用、アジェンダでの新たなタスクフォース） 環境啓発のあり方 （ビジターセンターの活用）	参加団体が協力しあってデジタル自然史博物館の構築 市内の自然環境保全団体ネットワーク全体で、ＳＮＳ発信強化の仕組み 活動を HP や市の環境展で知ってもらい賛同・支援者を増やす 環境活動のアピール方法の把握 生物多様性関連のイベントを今後も継続開催	**生物多様性の認知度向上とこれからの環境啓発**
活動人員の現状 （高齢化、人員の固定化、人員削減） 新たな参加者の巻き込み 地域住民との連携	市民・学生を対象に自然観察会や講座を開き、賛同した人・登録者の中から担い手を育成 学校のＰＴＡや近隣住民の参加による取組み 市民ボランティア登録制度 スキルアップ講習・指導者育成 市内の企業への働きかけ	**生物多様性の保全・活動を継続するための人材育成**

３．２回目（グループワーク）で出された意見

今後の協働の方向性として、A グループでは、団体・市民との協働や専門家のサポートによる現状調査、団体・企業・行政のネットワークによる情報発信力強化（Web 上での情報整備等）、B グループでは、希少種保護・外来種対策にあたり地域の団体・学校・行政との連携、団体間のゆるい繋がり（知識共有等の機会）を維持することなどが挙げられた。

	A グループ	B グループ
前半：主な意見内容	**生物多様性の現状把握** （1）どのような調査が重要になるか ・ かつての自然を知ることが重要であるため、昔を知る方を中心にヒアリングすることが必要である ・ 調査に際しては市民の興味、関心が高まるように意識している ・ 専門家と連携した調査を通じてどのような保全が必要か検討したい （2）市民を巻き込む具体的な方法 ・ 知識を教える人材や運営サポートできる人材（サポートスタッフ）が市民と活動の橋渡しを担う （3）人々の生活と生物多様性 ・ 多面的な生態系サービスを理解する （4）生態系保全にかかる調査 ・ 生物多様性の調査結果をどういう恩恵を受けているか発信 （5）外部との協働 ・ 今後参加団体と協働したい	**残存する生態系の保全と、生態系の復元** （1）希少種 ・ 希少な生き物や植物（ヒメボタル等）について知ってもらいつつ、どのように生息・生育環境を維持するかが重要である （2）周知 ・ 周知し過ぎると人が来すぎて自然環境に悪影響が出ることもあるが、知ってもらうことで活動者が増えることも大切 ・ 団体同士や行政との連携による周知もしていきたい （3）外来種 ・ 外来種対策について周知や対策が必要ではないか ・ 外来種・特定外来種等について正しい知識を持ってもらうことが重要
後半：主な意見内容	**生物多様性の認知度向上とこれからの環境啓発** ・ 自分たちがどのような形で生物多様性の恩恵を受けているか分かるような形で発信することを意識する（企画展、談話会など） ・ 里山における生活の追体験（現在は失われている文化）を通じて市民の関心を高める ・ 既存のデータも Web 上のデータとして整備するなど、生物の実態を集約する必要がある ・ 企業の参画を促すことでネットワーク形成に役立つ ・ おおさか生物多様性パートナー協定やおおさか生物多様性リンク等のネットワークを活用して豊中の情報拠点ができると良い	**生物多様性の保全活動を継続するための人材育成** （みどりのネットワークを広げる方法に焦点を当てて議論） ・ 近隣の団体、小学校等との協働が課題である ・ これまで協働していないような全く違う団体と同じ価値を共有し活動することも重要となる ・ NPO アジェンダ 21 や大阪自然環境保全協会などとのゆるい繋がりのネットワークを保持していくことが、知識の共有や団体活動のモチベーションにもつながる ・ 今後も団体同士の継続的なつながりや情報交換の場を持つ方が良い。行政にも入ってもらうのもいいが、行政が主導しなくても良い

●参加者アンケート結果概要（抜粋）

アンケート対象	意見交換会参加者
調査票回収数	活動団体　９団体（９名） 環境審議会委員　２名

１．運営・進行について

ア 意見交換会の全体時間（２時間×２回）の印象

意見交換会の全体時間については 54.5%が「ちょうどよい」と最も多く、次いで 36.4%が「短い」と回答した。「ちょうどよい」の理由として、「参加者全員の意見が聞け、意見交換会が円滑に進められるに２時間必要。意見をうまく引き出していただき実り多かった。」、「短い」の理由として「他グループと意見交換する余裕のないまま終わった」などが挙げられた。

２．他団体との意見交換について

ア 他団体の取組み事例

他団体の取組み事例については、72.7%が「参考になった」と最も多かった。「参考になった」の意見として、「どこも同じような悩みを持ちながら活動しているなど、共通点が多いことが分かった」などが挙げられた。

イ 意見交換会参加により得た気づきやアイデア

「市内の学校（小・中・高）、大学、各団体との連携を図っていきたい」などの意見があった。

３．オンライン懇親会（１回目）について　（参加者のみ）

今後の発展につながる意見交換ができたかについては、50.0%が「できなかった」と回答した。「できなかった」理由として、「意見交換するには時間が少なすぎる」などが挙げられた。

４．これからの取組みについて

ア 意見交換会に参加して得たヒント

「周知か保全かというテーマ」、「ＳＮＳを活用した広報活動の必要性」などの意見があった。

イ 協働の取組み促進への具体的な提案・アイデア、取り組んでみたいこと

具体的な提案として「ボランティア参加希望者をマネジメントしていく仕組みづくり」、意見交換会について「顔を見合わせた形で年に１～２回の頻度で継続」などの意見があった。

５．その他

今後の意見交換会にあたっての意見等について、「生物（昆虫等、植物等）の専門家の参加を希望」、「意見交換後に具体的なワーキンググループ」などが挙げられた。

●総括

1．取組みの特長

- 地域の身近な自然環境を対象地とした保全活動（里山の雑木林・竹林、都市緑地、河川など）
- 学校や地域の他団体との連携
- 大学による市域を超えた活動による自然環境の活用と保全活動
- 取組みによる生物多様性の恵みを市民に周知し、理解を促進

発表団体からの報告事例

✧ 雑木林の保全や生物調査、ビオトープの活用などの主体者が NPO を通じてつながっており、生物多様性に関する情報や保全のあり方の認識を共有することができている事例

✧ ヒメボタル生息地の保全や啓発を地域団体が中心に担い、行政が生息地を特別緑地保全地区に指定するなどのソフト面の整備を主に担い、さらに近隣小学校との連携などをすすめることで、地区の保全活動の認知度向上につながっている事例

✧ 地域に根差した組織（大学）として学生の講義やゼミを活用し、生物多様性に関するイベントが楽しく参加できる工夫を行うことで、市域を超えた緩やかな繋がりのきっかけ作りや身近な緑地環境に対する意識向上につなげられている事例

✧ 地域の団体同士が河川の環境保全を協働し、竹林の整備を通じて生物多様性の活用が進められている事例

2．課題

生物多様性の保全・活用を推進するうえでの課題を認識

① 市内の生物多様性に関する現状把握が不足
② 市民の生物多様性の認知度が低い
③ 生態系の保全・復元のあり方が不明確
④ 保全活動を継続するための人材不足
⑤ 団体同士の継続的なつながり、情報交換が希薄

3．今後の展望

- **自主的なネットワーク形成**

  地域の活動がより多くの市民・事業者などに理解され活動を広げるため、継続的な情報共有や生物多様性の現状把握・データ集積の情報発信などを促進

- **デジタル博物館等の構築**

  生物多様性の現状を把握したり認知度を高めたりする機会の充実

- **持続可能な活動を促進**

  各団体や事業者が活動地の近隣の団体や学校、専門機関などとのつながりを強化するとともに、行政も公民館で活動している団体等環境以外の団体への発信などを担う

- **行政の生物多様性の現状把握や必要な取組み検討**

  次期生物多様性国家戦略の国や府の動向をみすえた対応

第２回環境審議会（R03.02.09）資料２

令和３年度（2021 年度）「協働の取組みに関する意見交換会」のテーマについて

日時・場所	令和３年（2021 年）６月〇〇日　ＷＥＢ会議
テーマ	脱炭素に向けた再生可能エネルギーの活用
目的	本市では温室効果ガスの削減に向けた取組みとして、再生可能エネルギーの活用促進を挙げています。これまでこの分野において市内で協働の事例はあまり見られませんでしたが、今後は再生可能エネルギーの主力電源化に向け、市民や市内事業者、電力会社や自治体の協働による仕組みづくりが必要と考えられます。 今回の意見交換会では、これまで協働が活発ではなかった分野において、団体の取組みと将来の展望をご紹介頂き、意見交換では協働で実現できる取組みや実現に向け市で取組めることについて話し合うことを目指します。また、検討結果は地球温暖化防止地域計画の改定に向けた基礎資料とします。
発表団体	①　NPO 法人　豊中市民エネルギーの会（あっぷるおひさま発電所） ②　湖南市（こなんウルトラパワー株式会社設立の取組み）
参加団体	➢ **市内の協働の事例（あっぷるおひさま発電所）** ・NPO 法人　豊中市民エネルギーの会 ・あっぷるこども園 ➢ **自治体による再生可能エネルギー普及促進の事例** ・湖南市（こなんウルトラパワー株式会社設立の取組み） ・生駒市（いこま市民パワーの取組み） ・福山市（福山未来エナジー株式会社設立の取組み） ・尼崎市（尼崎市エネルギー地産地消促進事業） ・能勢町（株式会社能勢・豊能まちづくり設立の取組み） ・豊能町（株式会社能勢・豊能まちづくり設立の取組み） ・横浜市（再生可能エネルギーに関する連携協定） ➢ **協働の取組みを行っている小売電力事業者** ・株式会社エネット（尼崎市と協働） ・みんな電力株式会社（横浜市と協働） ➢ **市内団体他** ・豊中商工会議所 ・豊中市伊丹市クリーンランド ・地域の金融機関
意見交換の論点	◆市域の再生可能エネルギー由来の電力の導入拡大に向け、市民や自治体、事業者の協働の取組みの考察 ・豊中市の特性、他市の特性の比較 ・各自治体の取組み事例の課題 ・豊中市において実現可能な協働の取組み ・再生可能エネルギーの導入促進に向けた効果的な広報の方法 ・豊中市において活用可能な新技術

参考資料

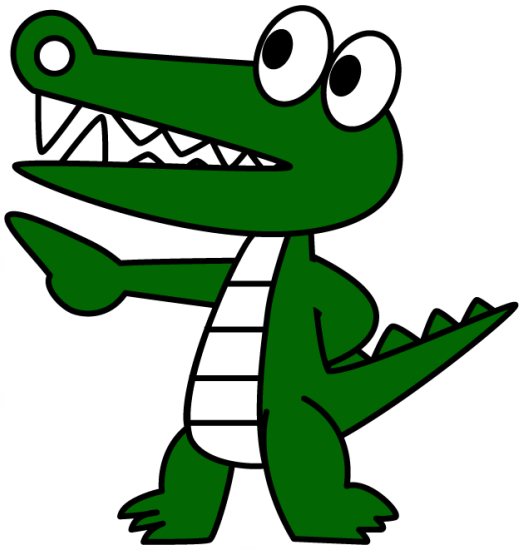
（案）

豊中市環境報告書

とよなかの環境

~2019年度評価と今後に向けて~

資料編



令和３年（2021年）３月

豊中市

目次

１．　令和元年度(2019 年度)環境施策実施状況一覧 1
２．　モニター指標一覧 32
３．　市民・事業者の取組み状況 56
４．　「とよなかの環境 2019 年度速報版」への主な市民意見 62
５．　Ｒ１年度(2019 年度)環境関連審議会等の開催経過および委員名簿 66
６．　第３次豊中市環境基本計画施策体系一覧 74
７．　算術単位などの解説 76
８．　部門別温室効果ガス排出量・エネルギー消費量の算 定 方法について 77

豊中市の環境に関するデータについて、本書に掲載されていないものについては、市ホームページで公開しています。
（「2019 年度環境報告書」で検索ください。）

QR コード

1．令和元年度(2019 年度)環境施策実施状況一覧

環境施策実施状況は、環境目標を達成するために豊中市が令和元年度(2019 年度)に取り組んだ事業です。ここでは、第 3 次環境基本計画の体系に合わせてまとめています。

この一覧の中で、環境基本計画細事業名称としているものが、第 3 次環境基本計画に掲載されている事業名称です。所管部局事業名称としているものは、豊中市の各部署にて行っている事業の名称であり、これらを関連付けて掲載しています(所管部局名称、事業名称については令和元年度のものです。)

これらの事業はそれぞれが目的をもっており、どれもが重要な事業ですが、特に環境目標に大きく影響する事業や評価指標・関連指標に関係が深い事業、新規事業などを抜粋して本編に掲載しています。

第 3 次環境基本計画の章立て

第 3 次環境基本計画に掲載されている事業名称

各部署にて行っている事業の名称

令和元年度に実施した事業の内容

事業の所管部局

◎令　年度(2019年度)環境　施状況一覧

(1) 環境政策を推進するための総合的なしくみづくり

環境基本計画体系番号	環境基本計画 主な施策・事業	2019年度の実施状況		2019年度担当課
		所管部局事業名称（細事業名称）	事業内容・実施状況	
4-1-1　環境政策の総合的・計画的な推進				
①環境基本計画の進行管理・評価・部局間連携の推進・広域連携の推進				
1-1①	とよなかの環境（豊中市環境報告書）の公表	環境基本計画の推進	●環境報告書「とよなかの環境 中間報告」公表（11月） ●公民館、庁舎においてパネル展示を行い、市民意見収集 ●環境審議会からの評価・提案、および市民からの意見を受け、次年度施策に反映 ●環境報告書「とよなかの環境～2018年度評価と今後に向けて～」公表（3月）	環境部 環境政策課
1-1①	環境委員会の開催	環境基本計画の推進	●環境委員会（10月） ●環境委員会幹事会（6月、9月）	環境部 環境政策課
1-1①	国・大阪府・市町村の合理的な役割分担と北摂・阪神地域自治体連携の推進	環境基本計画の推進	●おおさか生物多様性パートナー協定に基づく環境教育学習の検討 ●環境自治体会議と連携した取組み ●国および府の研修や、環境自治体会議などに参加し、広域連携を推進	環境部 環境政策課
1-1①			●北摂地域共通マイバッグキャンペーン、北摂マイバッグ持参促進・レジ袋削減協議会への参画	環境部 減量計画課

※第３次豊中市環境基本計画の各章立てごとに事業を並べています。

◎令和元年度（2019年度）環境施策実施状況一覧

(1) 環境政策を推進するための総合的なしくみづくり

環境 基本計画 体系番号	環境基本計画 主な施策・事業	2019年度の実施状況		2019年度 担当課
		所管部局事業名称 （細事業名称）	事業内容・実施状況	
4-1-1　環境政策の総合的・計画的な推進				
①環境基本計画の進行管理・評価・部局間連携の推進・広域連携の推進				
1-1①	とよなかの環境（豊中市環境報告書）の公表	環境基本計画の推進	●環境報告書「とよなかの環境 中間報告」公表（11月） ●公民館、庁舎においてパネル展示を行い、市民意見収集 ●環境審議会からの評価・提案、および市民からの意見を受け、次年度施策に反映 ●環境報告書「とよなかの環境～2018年度評価と今後に向けて～」公表（3月）	環境部 環境政策課
1-1①	環境委員会の開催	環境基本計画の推進	●環境委員会（10月） ●環境委員会幹事会（6月、9月）	環境部 環境政策課
1-1①	国・大阪府・市町村の合理的な役割分担と北摂・阪神地域自治体連携の推進	環境基本計画の推進	●おおさか生物多様性パートナー協定に基づく環境教育学習の検討 ●環境自治体会議と連携した取組み ●国および府の研修や、環境自治体会議などに参加し、広域連携を推進	環境部 環境政策課
1-1①			●北摂地域共通マイバッグキャンペーン、北摂マイバッグ持参促進・レジ袋削減協議会への参画	環境部 減量計画課
4-1-2　環境情報の提供				
①環境情報の収集・整備および効果的な提供				
1-2①	広報誌、市ホームページ、ケーブルテレビ、SNSなどを活用した情報発信と意識啓発	広報とよなか等の発行 インターネットを活用した情報発信等	●動画共有サイトYouTube「とよなか環境TV」において環境に関する動画を配信	環境部 減量計画課
1-2①			●広報誌、ホームページ等による自然環境啓発や堆肥化等に関する情報の発信等	環境部 公園みどり推進課

環境 基本計画 体系番号	環境基本計画 主な施策・事業	2019年度の実施状況		2019年度 担当課
		所管部局事業名称 （細事業名称）	事業内容・実施状況	
1-2①	広報誌、市ホームページ、ケーブルテレビ、SNSなどを活用した情報発信と意識啓発	広報とよなか等の発行 インターネットを活用した情報発信等	●全世帯、全事業所に配布　月平均202,288部発行 ●ホームページ全ページ総アクセス数　月平均1,454,329件	都市経営部 広報戦略課
1-2①	環境交流センターの運営	環境交流センター運営管理	●環境活動や環境学習の交流拠点として、さまざまな環境に関するイベントや、環境関連の図書や資料などの閲覧、貸出し、会議室などの場所の提供を実施 ●来館者数18,354人	環境部 環境政策課
1-2①	環境フォーラムなど環境関連イベントの開催	環境基本計画の推進	●地球温暖化防止イベントの開催　参加者101人	環境部 環境政策課
1-2①			●第19回ごみ減量フォーラウムは新型コロナウィルス感染拡大の影響により開催中止	環境部 減量計画課
1-2①			●クリーンランドフェスティバル　参加者 1,285人 ●クリーンランド環境フォーラム　新型コロナウイルス感染症防止対策により中止	豊中市伊丹市クリーンランド 再資源・搬入課
1-2①	とよなかの環境（豊中市環境報告書）による情報提供	環境基本計画の推進	●環境報告書「とよなかの環境 中間報告」公表（11月） ●環境報告書「とよなかの環境～2018年度評価と今後に向けて～」公表（3月）	環境部 環境政策課

4-1-3　環境に関する教育・学習と意識啓発の推進

①啓発活動の推進　　②環境教育・環境学習の推進

1-3①	第4次豊中市総合計画　前期基本計画　実施計画　地球温暖化防止地域計画の推進	地球温暖化対策実行計画の推進	●市有施設を対象にエネルギー等使用量（通年）調査を実施し、省エネ法、温対法に基づいたエネルギー使用量等の定期報告や、府条例に基づいたエネルギー使用量等の実績報告 ●クールビズ、ウォームビズ等の励行により、市の事務事業から発生する温室効果ガスの低減に努めるとともに、職員の地球温暖化防止意識を向上 ●市有施設の省エネ化を推進	環境部 環境政策課
1-3①	環境配慮契約の推進	地球温暖化対策実行計画の推進	●「豊中市電力の調達に関する環境配慮方針」の策定（10月）	環境部 環境政策課

環境 基本計画 体系番号	環境基本計画 主な施策・事業	2019年度の実施状況		2019年度 担当課
		所管部局事業名称 （細事業名称）	事業内容・実施状況	
1-3①	近距離の徒歩・自転車利用の促進	交通対策事業	●ノーマイカーデーの啓発活動を実施	都市基盤部 交通政策課
1-3①		地球温暖化防止地域計画の推進	●COOL　CHOICEの普及啓発事業、ポスター市有施設で掲示	環境部 環境政策課
1-3①	地域イベント等での環境啓発活動	地球温暖化防止地域計画の推進	●COOLCHOICEの普及啓発事業の実施	環境部 環境政策課
1-3②	小学校、こども園などでの出前講座	環境学習の推進	●豊中みどりの交流会において、小学校33校、こども園や授産施設など31施設を対象に、みどりのカーテンづくりの取組みを支援	環境部 公園みどり推進課
1-3②			●ごみに関する環境学習　小学校41校　こども園22園	環境部 家庭ごみ事業課
1-3②			●幼少期から始める美化清掃活動	環境部 美化推進課
1-3②			●小学校等に出向き「水道出前教室」を実施　小学校39校	上下水道局経営部 経営企画課
1-3②			●堆肥「とよっぴー」を活用した農体験学習の実施等	環境部 公園みどり推進課
1-3②			●小学校を対象とした施設見学会の実施	豊中市伊丹市クリーンランド 再資源・搬入課
1-3②		消費生活情報の提供事業	●消費者教育副読本「くらしのノート」を使って小学校5･6年生を対象に消費者・環境教育を推進 ●実施状況：市内小学校5・6年生に配布し、授業で活用　4,400冊発行	市民協働部 くらし支援課

環境 基本計画 体系番号	環境基本計画 主な施策・事業	2019年度の実施状況		2019年度 担当課
		所管部局事業名称 （細事業名称）	事業内容・実施状況	
1-3②	環境交流センターをはじめとした環境関連施設の運用	環境学習の推進	●クリーンランドでの施設見学会や市民講座の実施	豊中市伊丹市クリーンランド 再資源・搬入課
1-3②			●環境交流センターにおける情報提供およびイベント等の実施 ●環境交流センターにおいて、環境に関する図書、資料などの貸出し実施	環境部 環境政策課
1-3②		生ごみ・剪定枝堆肥化事業	●緑と食品のリサイクルプラザ施設見学の実施等 ●堆肥化施設の見学対応を30回実施	環境部 公園みどり推進課
1-3②		緑と食品のリサイクルプラザ主催事業	●堆肥化施設の見学対応を30回実施	環境部 公園みどり推進課
1-3②		施設見学・庁舎見学	●クリーンランド等への見学案内 ●実施回数：1回（緑と食品のリサイクルプラザ）参加人数：15人	都市経営部 広報戦略課
1-3②		クリーンランド見学業務	●見学者数：8,923人	豊中市伊丹市クリーンランド 再資源・搬入課
1-3②	体験型環境教育の充実	小学校体験学習推進事業	●ごみやリサイクルに関する環境学習の推進 ●小学校を対象とした施設(豊中市伊丹市クリーンランド等)見学会への参加 ●「みどりのカーテンプロジェクト」参加による地球温暖化学習の推進	教育委員会 学校教育課
1-3②		環境学習の推進	●ごみに関する環境学習　小学校41校　こども園22園	環境部 家庭ごみ事業課
1-3②			●堆肥「とよっぴー」を活用した農体験学習の実施等	環境部 公園みどり推進課
1-3②			●小学校を対象とした施設見学会の実施	豊中市伊丹市クリーンランド 再資源・搬入課

環境 基本計画 体系番号	環境基本計画 主な施策・事業	2019年度の実施状況		2019年度 担当課
		所管部局事業名称 （細事業名称）	事業内容・実施状況	
1-3②	体験型環境教育の充実	生ごみ・剪定枝堆肥化事業	●農体験学習等の資源循環に係る啓発イベントを92回実施 ●楽しみ学べるイベントとして、とよっぴーフェスタを実施	環境部 公園みどり推進課
1-3②		ヒメボタル保全事業	●ヒメボタル学習会・観察会を2回実施 ●環境展でパネル等を展示しパンフレットを配布	環境部 公園みどり推進課
1-3②		自然環境啓発事業	●自然観察会等の啓発イベントを24回実施 ●ふれあい緑地ビオトープでの自然学習イベントを39回実施	環境部 公園みどり推進課
1-3②		自然環境保全事業	●島熊山緑地を活用した自然環境学習を1回実施	環境部 公園みどり推進課
1-3②		花とみどりの相談所主催事業	●豊中みどりの交流会の活動と豊中緑化リーダー会との協働により ・みどりのカーテンづくりの講習会を5回開催、参加者79人 ・果樹・野菜見本園でトマトの植え付け体験やブルーベリー等の観察・収穫体験を5回開催、参加者141人	環境部 公園みどり推進課
1-3②	ESDリソースセンター（Web）の運用	環境学習の推進	●ESDリソースセンターWEBの運用	環境部 環境政策課
1-3②	とよなか市民環境展の開催	とよなか市民環境展	●「とよなか市民環境展」の開催（11/15,11/16）参加者3,600人	環境部 環境政策課
1-3②	地産地消に関するイベントの開催	農業祭	●「農業祭」の開催(12/7)参加者4,500人	農業委員会事務局
1-3②		―	●地産地消イベント（野菜直売）の開催：11回　参加者：1,185人	市民協働部 くらし支援課
1-3②	学校給食における地場産野菜の利用	生ごみ・剪定枝堆肥化事業	●学校等の給食に堆肥(とよっぴー)で育てた野菜等を164回提供	環境部 公園みどり推進課
1-3②	こども園での環境食育推進事業	緑化推進事業	●みどりのカーテン作りや、花壇、プランター、農園の整備などによる緑化活動を推進	環境部 公園みどり推進課
1-3②		こども園での環境食育推進事業	●子どもたちが自分の体を大切にし、生きる意欲を持つために食育を推進	こども未来部 こども事業課

環境 基本計画 体系番号	環境基本計画 主な施策・事業	2019年度の実施状況		2019年度 担当課
		所管部局事業名称 （細事業名称）	事業内容・実施状況	
4-1-4　協働とパートナーシップに基づく施策の推進				
①環境政策・決定への市民参加・参画の推進　　②市民やNPOなどの自主的な公益活動の支援・促進　　③多様な活動主体の協働による事業の推進				
1-4①	協働事業市民提案制度や提案公募型委託制度の活用促進	協働推進の公募制度	協働を推進する2制度の実績 ●提案公募型委託制度 募集0件、提案0件、契約0件 ●協働事業市民提案制度 募集説明会参加9団体、仮申込5事業、本申込0事業、成案化0事業	市民協働部 コミュニティ政策課
1-4①	とよなかの環境（豊中市環境報告書）に対する市民意見の募集	環境基本計画の推進	●環境報告書に対する環境審議会からの評価・提案を受け、次年度施策に反映 ●パネル展や市ホームページ上で、環境報告書に対する市民意見を募集し、次年度施策に反映（192件）	環境部 環境政策課
1-4①	市民ワークショップの開催	環境基本計画の推進	●イベントを通じた実施	環境部 環境政策課
1-4①	豊中市環境審議会の市民公募委員の起用	環境基本計画の推進	●市民公募委員2名	環境部 環境政策課
1-4②	環境活動に取り組んでいる団体に対する顕彰制度の充実	豊中アジェンダ21の普及促進	●第13回とよなかエコ市民賞を募集し、3団体が受賞 ●ホームページ、広報誌「広報とよなか」等で募集や受賞団体の活動内容の広報活動を実施	環境部 環境政策課
1-4②	事業者に対する環境マネジメントシステム認証取得などの支援の検討	環境基本計画の推進	●EA21取得の相談・対応	環境部 環境政策課
1-4②	事業者のCSRの促進	地域美化活動事業	●アダプトシステム事業参加団体による美化清掃活動	環境部 美化推進課
1-4③	協働の取組みに関する意見交換会の開催	環境基本計画の推進	●「学校教育における環境学習について」をテーマに実施（8/23）参加者67名	環境部 環境政策課
1-4③	環境交流センターにおける他団体との事業連携	環境交流センター運営管理	●地域団体、環境分野以外の団体等との連携	環境部 環境政策課
1-4③	とよなか市民環境会議の活性化	豊中アジェンダ21の普及促進	●役員会(3回)、総会、講演会などを実施 ●令和元年度協働の取組みに関する意見交換会の実施	環境部 環境政策課

環境 基本計画 体系番号	環境基本計画 主な施策・事業	2019年度の実施状況		2019年度 担当課
		所管部局事業名称 （細事業名称）	事業内容・実施状況	
1-4③	他部局主催イベント等や広報活動を通じての「第3次豊中アジェンダ21」の周知	豊中アジェンダ21の普及促進	●とよなか市民環境展をNPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21と共催実施 ●地域イベント等での環境基本計画の進捗状況についてパネル展示 ●大阪国際空港「空の日エアポートフェスティバル2019」に出店し、環境活動について啓発	環境部 環境政策課
1-4③			●くらしかんまつりにおいて「豊中エコショップ制度」の周知啓発 ●生活情報ひろばパネル展において、「第3次豊中アジェンダ21」、「COOL CHOICE」、「豊中エコショップ制度」、「ワンウェイプラスチックごみの削減」、「食品ロスの削減」を周知啓発	環境部 減量計画課
1-4③			●学校給食センター見学者への「とよっぴー」の周知啓発	環境部 公園みどり推進課

(2) 持続可能な低炭素社会づくり

環境 基本計画 体系番号	環境基本計画 主な施策・事業	2019年度の実施状況		2019年度 担当課
		所管部局事業名称 （細事業名称）	事業内容・実施状況	
4-2-1　省資源・省エネルギーを通じた低炭素社会の実現				
①住宅や機器の更新等による家庭の省エネルギー化の推進　②事業活動における温室効果ガス排出削減対策の推進　③環境に優しいライフスタイルへの転換				
2-1①	省エネ相談会、家電や住宅の省エネ診断等の実施	地球温暖化防止地域計画の推進	●省エネ相談会（参加者 920人） ●家電の省エネ診断(17件実施)	環境部 環境政策課
2-1①	補助金等による高効率省エネ機器の購入や買替え促進	地球温暖化防止地域計画の推進	●家庭用燃料電池システム設置補助事業　補助実績:89件	環境部 環境政策課
2-1①			●COOLCHOICE普及啓発事業の実施	環境部 環境政策課
2-1①	住宅の省エネ改修や高度な省エネ住宅導入の支援	地球温暖化防止地域計画の推進	●ZEHの新築、既存住宅の窓断熱リフォームの補助 補助実績:ZEH 2件　窓断熱 10件	環境部 環境政策課
2-1②	従業員に対する環境学習の支援	地球温暖化対策実行計画の推進	●環境推進員作業部会	環境部 環境政策課
2-1②	環境マネジメントシステムの取得支援	環境基本計画の推進	●EA21取得の相談・対応	環境部 環境政策課
2-1③	エネルギーの見える化の推進	地球温暖化防止地域計画の推進	●省エネ相談会（920人）、家電の省エネ診断（17件）、住宅の省エネ診断（18件）、エネルギー見える化モニター(機器)の貸出(26件)を実施	環境部 環境政策課
2-1③	日常的な省エネ行動の推進	地球温暖化防止地域計画の推進	●省エネ相談会での啓発（10回 920人） ●COOLCHOICE普及啓発事業の実施	環境部 環境政策課
2-1③	打ち水やライトダウンなど、みんなで一斉に行う取組みの普及啓発	地球温暖化防止地域計画の推進	●SNSを活用した市民の一斉取組みによる啓発（マチカネくん駅伝）	環境部 環境政策課
2-1③	地球温暖化防止基金の活用	地球温暖化防止基金事業	●82件　2,884,465円	環境部 環境政策課

環境 基本計画 体系番号	環境基本計画 主な施策・事業	2019年度の実施状況		2019年度 担当課
		所管部局事業名称 （細事業名称）	事業内容・実施状況	

4-2-2 再生可能エネルギー等の活用促進

①再生可能エネルギー等導入支援　　②市有施設での率先的導入と普及・啓発の促進

2-2①	太陽光発電システム、太陽熱利用システムの普及促進	地球温暖化防止地域計画の推進	●太陽光発電設備・太陽熱利用設備の設置及び、市民の再生可能エネルギー設備の導入を支援することにより、家庭生活から排出される温室効果ガスを削減。集合住宅用の太陽光発電設備に関する補助申込みは無し 補助事業実施：65件、296.35kWh ●再生可能エネルギーシステム設置補助事業 補助実績：太陽光65件	環境部 環境政策課
2-2②	小・中学校をはじめとする公共施設への太陽光発電システム等設置の推進	地球温暖化防止地域計画の推進	●再生可能エネルギーの固定価格買取制度を活用した、市有施設の屋根貸しによる太陽光発電システム設置促進事業として、5施設（桜井谷東小学校、緑地小学校、環境部環境事業所、新田配水場、柿ノ木配水場）で運用 ●大阪府再生可能エネルギー等導入推進基金事業補助金を活用し設置した小学校5校について、発電量実績調査を実施	環境部 環境政策課
2-2②		太陽光発電システム設置事業	●学校施設整備事業により、新田南小学校の太陽光モニター修理、第五中学校の太陽光設備パワーコンディショナー修繕を実施	教育委員会 学校施設管理課
2-2②	小水力発電など水エネルギーの利用	―	●下水処理水の熱利用水量113,600㎥/年 ●寺内配水場において、民間事業者と共同で「小水力発電事業」を実施 （発電量：928千kWh、売電量：913千kWh）	上下水道局経営部 経営企画課
2-2②	排熱・消化ガスの利用	省エネルギーの推進と未利用エネルギーの導入の促進	●ごみ焼却施設で発生した蒸気を利用し施設内およびスリーR・センターへの熱エネルギーとして供給して利用 ●ごみ焼却熱による発電電力の売却(売電量64,857,700kwh)	豊中市伊丹市 クリーンランド 施設課

環境 基本計画 体系番号	環境基本計画 主な施策・事業	2019年度の実施状況		2019年度 担当課
		所管部局事業名称 （細事業名称）	事業内容・実施状況	

4-2-3　環境に配慮した運輸部門における施策の推進

①公共交通利便性向上の促進　　②安全で快適な自転車利用環境の創出　　③エコドライブの推進、次世代自動車の普及促進

2-3①	「公共交通改善計画」の策定	交通対策事業	●「豊中市公共交通改善計画」の進捗管理	都市基盤部 交通政策課
2-3①	ノーマイカーデーの促進などによる自動車利用・需要の抑制	交通対策事業	●ノーマイカーデーの啓発活動を実施 ●庁内放送、広報とよなかでの周知	都市基盤部 交通政策課
2-3①	バスロケーションシステムの導入や乗り継ぎの円滑化などによる公共交通の利便性の向上	交通対策事業	●「公共交通改善計画」に基づき、公共交通の乗継ぎ利便性の改善施策について検討	都市基盤部 交通政策課
2-3①	公共交通の利用促進と意識啓発のための交通環境学習の実施	交通安全啓発事業	●こども園、小学校等での交通安全教室および一般ドライバーなどを含む交通安全講習会の実施 148回参加者 28,176人 ●高齢者や地域での交通安全講習会	都市基盤部 交通政策課
2-3①		地球温暖化防止地域計画の推進	●環境学習「クルマ大集合」を市内の2小学校で計4回実施（2月） ●COOLCHOICE普及啓発事業で公共交通機関の利用を呼び掛けるポスターを作成し、市有施設で掲示	環境部 環境政策課
2-3②	自転車通行空間の整備	自転車通行空間整備事業	●野田小曽根線640m、阪急西側庄内線600mの自転車通行空間を整備	都市基盤部 基盤整備課
2-3②	自転車利用マナーの啓発	交通安全啓発事業	●自転車利用マナー街頭啓発活動実施 ●イベント等での交通ルールの啓発	都市基盤部 交通政策課
2-3②	駐輪場の整備など放置自転車対策	民間駐輪場整備助成事業	●放置禁止区域における民間駐輪場整備に対し、経費の一部を助成	都市基盤部 交通政策課
2-3③	エコドライブの啓発	地球温暖化防止地域計画の推進	●エコドライブキャンペーン（参加者 63人）エコドライブ講習会（参加者 2回38人）	環境部 環境政策課
2-3③	次世代自動車に関する情報発信	地球温暖化防止地域計画の推進	●市役所敷地で電気自動車・プラグインハイブリッド車用急速充電器を運用	環境部 環境政策課

(3) 廃棄物の減量および適正処理を通じた循環型社会づくり

環境 基本計画 体系番号	環境基本計画 主な施策・事業	2019年度の実施状況		2019年度 担当課
		所管部局事業名称 （細事業名称）	事業内容・実施状況	
4-3-1　廃棄物の減量に向けた発生抑制・再使用と質の高いリサイクルの推進				
①市民・事業者・行政の協働による循環型社会の構築　　②家庭系ごみ減量等に関する取組み　　③事業系ごみ減量等に関する取組み				
3-1①	3Rに関する環境学習・教育の充実	ごみ減量普及啓発事業	●市内こども園等(年長児対象)に食品ロス削減に係る絵本「きょうのきゅうしょくな～にかな」を配布 ●市内こども園等(年長児対象)の保護者全員に、冊子「とよなか食品ロス・ゼロハンドブック」の配布。また、フードドライブ協力者へも配布	環境部 減量計画課
3-1①		環境学習事業	●ごみやリサイクルに関する環境学習　小学校41校　こども園22園	環境部 家庭ごみ事業課
3-1①	環境配慮型販売システムの推進	エコショップ	●豊中エコショップ認定店舗の拡充 ●「3010運動」の参加協力要請	環境部 減量計画課
3-1①	食品ロス・ゼロに向けた取組み	廃棄物関連計画の推進 ごみ減量普及啓発事業	●冊子「とよなか食品ロス・ゼロハンドブック」、絵本「きょうのきゅうしょくな～にかな」の配布 ●フードドライブの実施 ●「3010運動」の推進	環境部 減量計画課
3-1①		環境学習事業	●冊子「とよなか食品ロス・ゼロハンドブック」、絵本「きょうのきゅうしょくな～にかな」の配布	環境部 家庭ごみ事業課
3-1①	3Rに取り組む市民活動団体やグループ活動等との連携強化	ごみ減量普及啓発事業	●市民団体等が主体で実施するフードドライブを支援	環境部 減量計画課
3-1①		廃棄物減量等推進員活動支援	●推進員会議：2回（53人） ●施設等見学会：1回（19人） ●地域活動：5回（82人） ●講演会、講習会：9回（94人） ●アンケート協力：1回（41人） ●その他：3回（10人）	環境部 家庭ごみ事業課
3-1①		―	●NPO法人豊中・伊丹環境政策フォーラムへの業務委託	豊中市伊丹市 クリーンランド 再資源・搬入課

環境 基本計画 体系番号	環境基本計画 主な施策・事業	2019年度の実施状況		2019年度 担当課
		所管部局事業名称 （細事業名称）	事業内容・実施状況	
3-1②	地域での3R活動の活性化	分別収集事業	●再生資源等持ち去り禁止規定の条例施行に伴う市民周知・パトロールの実施	環境部 家庭ごみ事業課
3-1②	発生抑制・再使用の推進	ごみ減量普及啓発事業	●フードドライブの実施 ●マイバッグ持参促進運動及び北摂地域におけるレジ袋無料配布中止に関する協定締結事業者の拡充	環境部 減量計画課
3-1②		小型家電リサイクル事業	●小型家電リサイクル事業の実施 BOX回収・ピックアップ回収（4月から3月の12ヶ月）51,259kg	環境部 家庭ごみ事業課
3-1②		リユース事業	●子ども服リユース事業の試行実施 「豊中市伊丹市クリーンランド展望フロアー（7月）」・「豊中市民環境展（11月）」において、私立こども園等の保護者の協力のもと回収した子ども服をリユース品として無料で配布（来場者637名　配布数　4,346点）	環境部 家庭ごみ事業課
3-1②	再生資源集団回収の推進	再生資源集団回収報奨金交付事業	●再生資源集団回収報奨金交付事業（登録団体515団体・登録行商者数28行商者）回収量：5,192,090kg ●集団回収ニュース発行：2回 ●新規登録団体18団体	環境部 家庭ごみ事業課
3-1②	多様な資源回収方法の構築	分別収集事業	●水銀使用廃製品等の拠点回収の実施 BOX回収（4月から3月の12ヵ月）8,439.1kg	環境部 家庭ごみ事業課
3-1②	適切な分別排出の浸透	分別周知事業 分別収集事業	●出前講座の実施（16回）	環境部 家庭ごみ事業課
3-1②	家庭系ごみの有料化の検討	廃棄物関連計画の推進	●第4次豊中市一般廃棄物処理基本計画への記載	環境部 減量計画課
3-1③	ごみ減量に向けた情報提供	事業ごみ減量対策事業	●事業所のためのリデュース情報誌「リニュース」を活用した情報提供 ●とよなか環境TV（youtube）を活用した情報提供 ●市内飲料サービスを行う事業所に冊子「飲食店向け食品ロス削減ガイドブック　食品ロス削減のためのひと工夫　飲食店でできること」の配布	環境部 事業ごみ指導課

環境 基本計画 体系番号	環境基本計画 主な施策・事業	2019年度の実施状況		2019年度 担当課
		所管部局事業名称 （細事業名称）	事業内容・実施状況	
3-1③	多量排出事業所におけるごみ減量の促進	事業ごみ減量対策事業	●事業系一般廃棄物管理責任者研修会と事業系一般廃棄物管理責任者見学会を実施 ●立入調査83件・個別指導31件	環境部 事業ごみ指導課
3-1③	搬入物調査の活用	事業ごみ減量対策事業	●豊中市伊丹市クリーンランドと伊丹市と3者で搬入検査の実施 ●搬入物検査年12回以上及び目視検査の実施	環境部 事業ごみ指導課
3-1③	中小規模事業者における分別排出の促進	事業ごみ減量対策事業	●事業系再生資源集団回収事業　新聞紙4,610kg・ダンボール17,010kg・雑誌類14,190kg・アルミ缶385kg・ウエス10kg合計36,205kg ●事業系再生資源回収システムの拡充	環境部 事業ごみ指導課
3-1③	食品廃棄物リサイクル等の推進	事業ごみ減量対策事業	●業種別ごみ減量マニュアルの作成及び活用	環境部 事業ごみ指導課
3-1③	イベント系ごみの発生抑制および再使用の推進	事業ごみ減量対策事業	●エコイベントマニュアルの活用及びリサイクルBOXの貸出	環境部 事業ごみ指導課
3-1③	ごみ処理費用負担の適正化	―	●ごみ処理施設使用料の改定を決定	豊中市伊丹市 クリーンランド 再資源・搬入課

4-3-2　廃棄物の適正処理の推進

①分別収集およびリサイクル、適正処理の推進

3-2①	時代の要請に応じた分別収集体制の推進	ひと声ふれあい収集事業	●高齢社会等へ対応した収集サービスの推進（ふれあい収集の定着）実施件数（427世帯）	環境部 家庭ごみ事業課
3-2①	中間処理施設である豊中市伊丹市クリーンランドおよび最終処分先である大阪湾環境整備センター埋立処分場の安定した施設運用	―	●ごみ減量化の推進による最終処分量の削減	豊中市伊丹市 クリーンランド 施設課

環境 基本計画 体系番号	環境基本計画 主な施策・事業	2019年度の実施状況		2019年度 担当課
		所管部局事業名称 （細事業名称）	事業内容・実施状況	

4-3-3 災害廃棄物の適正処理

①災害廃棄物処理対応の推進

3-3①	災害廃棄物処理計画の実効性の確保	廃棄物関連計画の推進	●災害時における広域連携の強化や職員の対応力の向上	環境部 減量計画課
3-3①	収集運搬業務等における災害時対応マニュアルの整備	廃棄物関連計画の推進	●災害時対応マニュアルの見直し	環境部 減量計画課

4-3-4 産業廃棄物の適正処理

①産業廃棄物の減量化・適正処理の推進

3-4①	排出事業者、処理業者に対する産業廃棄物適正処理についての指導・啓発	産業廃棄物処理業許可事務等	●定期的な立入指導の実施	環境部 事業ごみ指導課
3-4①	ポリ塩化ビフェニル（PCB）廃棄物の適正処理	PCB廃棄物処理業	●高濃度PCB廃棄物の令和3年3月末迄の処理完了指導 ●低濃度PCB廃棄物の令和9年3月末迄の処理完了指導	環境部 事業ごみ指導課
3-4①	不法投棄等の防止対策の推進	産業廃棄物処理業許可事務等	●解体現場への立入検査、指導の実施	環境部 事業ごみ指導課

(4) 都市における自然との共生をめざした社会づくり

環境 基本計画 体系番号	環境基本計画 主な施策・事業	2019年度の実施状況		2019年度 担当課
		所管部局事業名称 （細事業名称）	事業内容・実施状況	
4-4-1　受け継がれてきたみどりの保全や育成				
①まとまりのあるみどりの保全や育成　　②生物多様性の保全　　③連続性や水面のあるみどりの保全や育成　　④農地の保全				
4-1①	公園・緑地のみどりの保全や育成	自然環境保全事業 公園施設維持管理事業	●公園・緑地の適正な維持管理や整備の実施等 ●水質浄化機能などを有する緑地などの適正管理等 ●緑地や農地の保全と活用等	環境部 公園みどり推進課
4-1①	歴史や文化を伝えるみどりの保全や育成	自然環境保全事業	●社寺林等の保護樹・保護樹林の指定及び助成等	環境部 公園みどり推進課
4-1①	風致保安林の保全や育成（森林整備計画に基づく森林の保全や育成）	自然環境保全事業 公園施設維持管理事業	●森林整備計画の運用や宮山つつじ園の維持管理等	環境部 公園みどり推進課
4-1①	民有地の樹林・樹木の保全に対する支援	自然環境保全事業	●民有地の保護樹・保護樹林の指定及び助成や松くい虫防除助成の実施等	環境部 公園みどり推進課
4-1②	エコロジカル・ネットワークの形成	自然環境啓発事業	●ビオトープの推進や自然環境啓発イベントの実施等	環境部 公園みどり推進課
4-1②	ヒメボタルの生息地の保全	ヒメボタル保全事業	●市民と協働による特別緑地保全地区の保全管理やヒメボタル発光数調査等	環境部 公園みどり推進課
4-1②	島熊山緑地の保全	自然環境保全事業	●市民と協働による島熊山緑地保全管理の実施	環境部 公園みどり推進課
4-1③	街路樹の保全や育成	維持補修事業 緑化推進事業	●街路樹の適正な維持管理や樹木の更新等	環境部 公園みどり推進課

環境 基本計画 体系番号	環境基本計画 主な施策・事業	2019年度の実施状況		2019年度 担当課
		所管部局事業名称 （細事業名称）	事業内容・実施状況	
4-1③	河川のみどりの保全	―	実施なし	都市基盤部 基盤管理課
4-1③	水路のみどりの保全や育成	親水水路緑道維持管理事業	●親水水路管理業務委託	都市基盤部 基盤保全課
4-1③	ため池のみどりの保全	公園維持管理事業	●適正な維持管理の実施	環境部 公園みどり推進課
4-1④	生産緑地地区制度の活用	都市計画策定業務	●追加指定の実施、特定生産緑地に係る説明会の実施	都市計画推進部 都市計画課
4-1④	市民農園の活用	市民農園	●市民農園栽培講習会を2回実施	都市活力部 産業振興課

4-4-2　都市のみどりや地域の身近なみどりの創出

①公有地の緑化　　②民有地の緑化　　③景観を形成するみどりづくり

4-2①	駅前や道路における特色のある緑化	花いっぱい運動事業	●駅前や道路における花壇やフラワーポットの維持管理等の実施等	環境部 公園みどり推進課
4-2①	多様な手法による公共施設の緑化	環境保全条例推進	●環境配慮協議による緑地面積2,052㎡	環境部 環境政策課
4-2①	市民の交流拠点となるポケットパークの緑化	花いっぱい運動事業	●市民との協働によるポケットパークの緑化の推進等	環境部 公園みどり推進課
4-2①	教育施設や保育施設における緑化	緑化推進事業 緑と食品のリサイクルプラザ主催事業	●小・中学校やこども園等に緑化用バークを配付 ●小・中学校やこども園等に市民協同緑化樹を配付	環境部 公園みどり推進課
4-2①		―	●緑のカーテン作りや花壇、プランター、農園の整備などによる緑化活動を推進	こども未来部 こども事業課
4-2①			●緑のカーテン作りや花壇、プランター、農園の整備などによる緑化活動を推進	教育委員会 学校教育課

環境 基本計画 体系番号	環境基本計画 主な施策・事業	2019年度の実施状況		2019年度 担当課
		所管部局事業名称 （細事業名称）	事業内容・実施状況	
4-2②	環境配慮指針に基づく緑化	環境保全条例推進	●環境配慮協議による緑地面積13,746㎡	環境部 環境政策課
4-2②	住宅地における緑化	緑化推進事業	●緑化樹木の配付や生垣緑化助成等の実施等	環境部 公園みどり推進課
4-2②	商業地における緑化	緑化推進事業	●緑化樹木の配付や生垣緑化助成等の実施等	環境部 公園みどり推進課
4-2②	工業地における緑化	緑化推進事業	●緑化樹木の配付や生垣緑化助成等の実施	環境部 公園みどり推進課
4-2②			●豊中市企業立地促進条例に基づく奨励金による届出	都市活力部 産業振興課
4-2②		環境保全条例推進	●工場立地法による届出	環境部 環境政策課
4-2②	道路沿線における緑化	緑化推進事業	●大阪府によるみどりの風の道形成事業への支援等	環境部 公園みどり推進課
4-2③	風致地区におけるみどりと調和した都市景観づくり	風致地区内行為許可業務	●風致地区内における行為の許可	都市計画推進部 都市計画課
4-2③	良好なみどりの景観を形成する制度を活用した地域づくり	緑化推進事業	●地区計画、緑地協定等の取り組みへの支援等	環境部 公園みどり推進課
4-2③	花とみどりの名所づくり	緑化推進事業 花いっぱい運動事業	●市民との協働による花とみどりの名所マップづくりについて検討等 ●バラ園・花しょうぶ園の育成管理等の実施等	環境部 公園みどり推進課
4-2③	みどりを見渡す眺望点づくり	緑化推進事業 公園施設維持管理事業	●眺望点設置箇所の検討及び適正な維持管理の実施等	環境部 公園みどり推進課

環境 基本計画 体系番号	環境基本計画 主な施策・事業	2019年度の実施状況		2019年度 担当課
		所管部局事業名称 （細事業名称）	事業内容・実施状況	
4-2③	草花による美しいまちなみづくり	花いっぱい運動事業	●市民と協働による花いっぱい運動の実施や市内における花壇やフラワーポットの適正な維持管理等 ●レンゲ畑や花いっぱい運動団体に対する種子の配付 ●農業祭における種子の配付 ●花いっぱい運動写真展の開催	環境部 公園みどり推進課
4-2③	屋上や壁面を活用したみどりづくり	みどりの交流会運営事業	●市民と協働による小学校や公共施設等でのみどりのカーテンづくりの推進等（64か所）	環境部 公園みどり推進課
4-2③		環境保全条例推進	●環境配慮協議による屋上、壁面緑化の推進 ●緑地面積（屋上3,783㎡・壁面381㎡）	環境部 環境政策課

4-4-3　みどりを活かした安全で快適なくらしの実現

①魅力的で利便性の高い公園づくり　　②防災・減災に資するみどりづくり　　③みどりの保全や緑化活動に対する支援　　④みどりの普及啓発

4-3①	長期未整備の都市計画公園・緑地の見直し	公園等有効活用事業	●未整備の都市計画公園・緑地の見直しの実施等	環境部 公園みどり推進課
4-3①	安全で特色のある公園づくり	公園安全安心対策事業	●市内3か所（平成30年度4か所）の公園にて、公園施設のバリアフリー化再整備工事を実施 ●公園施設の再整備等の実施等	環境部 公園みどり推進課
4-3①		公園安全安心対策事業 公園整備・小改良事業	●安全安心対策事業にて、施設再整備工事を3件(平成30年度4件)、公園数5か所 ●公園整備・小改良事業にて施設改修工事を5件(平成30年度2件)、公園数10か所	環境部 公園みどり推進課
4-3①		公園等自主管理協定制度事業	●自主管理協定を地域の団体と締結し、公園等の管理を協働で実施（217件）	環境部 公園みどり推進課
4-3①	開発許可制度および土地区画整理事業による身近な公園づくり	公園に関する開発許可関連事務	●開発行為における公園・広場等の設置にかかる協議の実施等	環境部 公園みどり推進課
4-3①	地域住民との連携による愛着が持てる公園づくり	公園維持管理事業	●長寿命化計画に基づく遊具180基の修繕等 ●自主管理協定制度による公園の適正な維持管理等	環境部 公園みどり推進課

環境 基本計画 体系番号	環境基本計画 主な施策・事業	2019年度の実施状況		2019年度 担当課
		所管部局事業名称 （細事業名称）	事業内容・実施状況	
4-3②	公園・緑地における防災機能の強化	公園等有効活用事業	●公園・緑地の防災施設設置の適正な維持管理等	環境部 公園みどり推進課
4-3②	庄内・豊南町地区における防災機能の強化	維持補修事業	●延焼防止効果を高める街路樹の適正な維持管理や樹木の更新等	都市基盤部 基盤保全課
4-3②		緑化推進事業	●延焼防止効果を高める街路樹の適正な維持管理や樹木の更新等	環境部 公園みどり推進課
4-3②	地域防災計画に基づく市街地の緑化	維持補修事業	●延焼防止効果を高める街路樹の適正な維持管理や樹木の更新等	都市基盤部 基盤保全課
4-3②		緑化推進事業	●延焼防止効果を高める街路樹の適正な維持管理や樹木の更新等	環境部 公園みどり推進課
4-3②	公共施設一体型公園づくり	公園等有効活用事業	●他の公共施設と一体となった公園整備の実施等	環境部 公園みどり推進課
4-3③	みどりに関する活動を広げる交流の場の活用	みどりの交流会運営事業	●市民参加による豊中みどりの交流会の活動実施等	環境部 公園みどり推進課
4-3③		生ごみ・剪定枝堆肥化事業	●堆肥「とよっぴー」を製造し、環境学習等での使用や市民と協働による頒布等を実施等	環境部 公園みどり推進課
4-3③	花とみどりの相談所の活用	花とみどりの相談所主催事業	●花とみどりに関する相談の対応や花とみどりの講習会の開催等	環境部 公園みどり推進課
4-3③	緑化リーダーの養成	花とみどりの相談所主催事業	●緑化リーダー養成講座の開催等	環境部 公園みどり推進課
4-3③	生ごみ・剪定枝の堆肥化および堆肥の活用	生ごみ・剪定枝堆肥化事業 緑と食品のリサイクルプラザ主催事業	●市民と協働による堆肥「とよっぴー」の配布等	環境部 公園みどり推進課

環境 基本計画 体系番号	環境基本計画 主な施策・事業	2019年度の実施状況		2019年度 担当課
		所管部局事業名称 （細事業名称）	事業内容・実施状況	
4-3③	緑化樹木見本園および記念樹の森の活用	緑化推進事業	●緑化樹木見本園、記念樹の森の適正な維持管理等	環境部 公園みどり推進課
4-3③	みどりに関する活動発表の場や表彰制度の活用	緑化推進事業 花いっぱい運動事業	●みどりに関する各種表彰制度の支援や花いっぱい運動写真展の開催等	環境部 公園みどり推進課
4-3③	みどりの保全・創出（壁面・屋上・沿道緑化など）	緑化推進事業 みどりの交流会運営事業	●市民と協働による小学校や公共施設等でのみどりのカーテンづくりの推進等（64か所） ●環境配慮協議による緑地面積（屋上3,783㎡・壁面381㎡）	環境部 公園みどり推進課
4-3③		花とみどりの相談所主催事業	●市民と協働による小学校や公共施設等でのみどりのカーテンづくりの推進等 ●みどりのカーテンづくりの講習会を5回開催し、参加者は78人	環境部 公園みどり推進課
4-3④	みどりに関するイベントの開催	みどりの交流会運営事業	●みどりのフォーラム、みどりのつどい等のにイベントの開催等	環境部 公園みどり推進課
4-3④	みどりに関する情報発信	緑化推進事業 みどりの交流会運営事業	●ホームページ等によるみどりに関する情報の発信等	環境部 公園みどり推進課
4-3④	自然体験および野外活動の場の活用	公園施設維持管理業務	●千里中央公園野外炊さん場の活用や適正な維持管理等	環境部 公園みどり推進課
4-3④	緑化事業基金の活用	緑化事業基金事業	●みどりに対する理解や関心を深めるための事業への基金の有効活用	環境部 公園みどり推進課

4-4-4 生物多様性の総合的な保全と利用

①生物多様性の総合的な保全と利用

4-4①	ヒメボタルの生息地の保全	ヒメボタル保全事業	●市民と協働による特別緑地保全地区の保全管理やヒメボタル発光数調査等	環境部 公園みどり推進課
4-4①	島熊山緑地の保全	自然環境保全事業	●市民と協働による島熊山緑地保全管理の実施等	環境部 公園みどり推進課

環境 基本計画 体系番号	環境基本計画 主な施策・事業	2019年度の実施状況		2019年度 担当課
		所管部局事業名称 （細事業名称）	事業内容・実施状況	
4-4①	化学物質による生態系への影響防止	大気汚染関係業務	●PRTR法と府条例により指定化学物資の排出量等と把握 ●イベント等での啓発の実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）
4-4①	特定外来生物の対策	鳥獣保護管理事業 自然環境保全事業	●特定外来生物に関する情報発信や適正措置の実施等	環境部 公園みどり推進課
4-4①	鳥獣保護管理（有害鳥獣の捕獲許可、飼養登録等）	鳥獣保護管理事業	●鳥獣捕獲許可証の発行や鳥獣飼養登録事務及びカラスの巣の撤去業務等の実施等	環境部 公園みどり推進課
4-4①	生物多様性認知度向上に向けた取組み	自然環境啓発事業	●自然観察会や自然環境学習等の啓発イベント等の実施	環境部 公園みどり推進課

4-4-5 都市景観・歴史環境、快適環境の保全・創出

①良好な都市景観の保全・創出　②環境美化活動の促進　③歴史的遺産および原風景の保全　④開発行為等における環境配慮の推進　⑤環境影響評価制度の推進

4-5①	都市景観形成推進地区の指定	都市景観形成推進事業	●指定に向けた取組みの推進	都市計画推進部 都市計画課
4-5①	景観にかかわる各種協定等の推進	景観法・都市景観条例に基づく景観指導	●大規模建築物や都市景観形成推進地区における新築等において、良好な都市景観の形成を進めるため、市民等への助言・指導や基準に基づく制限を実施 ●2地区の景観形成協定地区における景観に対する取組みとして、各々の景観形成協定に基づき、良好な景観を守り・育てるため、市民等への指導・啓発を実施	都市計画推進部 都市計画課
4-5①	都市景観形成建築物等の指定	都市景観形成推進事業	●都市景観形成建築物は1件指定済み（2019年度は新規指定なし） ●指定に向けた取組みの推進	都市計画推進部 都市計画課
4-5①	啓発・普及（都市景観セミナー・ホームページの活用など）	都市景観形成推進事業	●ホームページを活用した啓発・普及を継続して実施 ●スマートフォン等を活用したスタンプラリーを通じて「とよなか百景」の周知・PRを実施 ●「豊中かいわいをスケッチしよう講座」および「豊中かいわいスケッチ展」の実施 ●中高生対象「景観スポットまちあるき」実施（第十四中学校、桜塚高校）、「発見！とよなか景観スケッチブック」「とよなか景観まちあるきブック」発行 ●「とよなか♪まちづくり手帖－景観特集－」発行 ●景観学習の実施（原田小学校）	都市計画推進部 都市計画課

環境 基本計画 体系番号	環境基本計画 主な施策・事業	2019年度の実施状況		2019年度 担当課
		所管部局事業名称 （細事業名称）	事業内容・実施状況	
4-5①	景観計画区域内における行為の届出制度	景観法・都市景観条例に基づく景観指導	●景観計画区域内の行為の届出における助言・指導	都市計画推進部 都市計画課
4-5②	地域のみどりの愛護活動の推進	公園等自主管理協定制度事業	●愛護活動や自主管理協定制度による公園等の適正な維持管理等	環境部 公園みどり推進課
4-5②		美しいまちづくりの推進に関する条例事業	●愛護活動や自主管理協定制度による公園等の適正な維持管理等	環境部 公園みどり課
4-5②	美化推進重点地区協力員（まち美化名人）活動の推進		●美化推進重点地区協力員の美化清掃	環境部 美化推進課
4-5②	まち美化活動協定	美しいまちづくりの推進に関する条例事業	●地域の多数の支持による「まち美化活動協定」を締結し、不法投棄・ポイ捨て防止、防犯活動などを実施 ●締結数7件	環境部 美化推進課
4-5②	まちを美しくする運動	美化啓発行事	●豊中市まちを美しくする運動連絡会議開催、環境月間、環境美化月間の美化啓発行事を実施 ●地域での美化活動の推進	環境部 美化推進課
4-5②		子ども環境美化学習事業	●環境美化ポスター、かべ新聞コンクール、幼児図画の募集 ●幼少期から始める美化清掃活動（愛称：まちびかキッズクラブ）の試行実施	環境部 美化推進課
4-5②		パトロール事業と散乱ごみ・不法投棄対策事業	●不法投棄が頻発する場所のパトロール、散乱ごみ・不法投棄物の処理、青色防犯パトロールの実施 ＊子供の安全・安心を守り、該当犯罪を防止するためのパトロール（市内41小学校区で実施）	環境部 美化推進課
4-5②		地域美化活動事業	●地域清掃活動団体による美化活動と行政による清掃用具の貸出・ごみ回収等の支援。環境美化功労者への感謝状の贈呈及び憲法記念日市長表彰への推薦	環境部 美化推進課
4-5②		路上喫煙対策推進事業	●路上喫煙およびポイ捨て禁止の啓発及び巡回指導を実施（豊中駅周辺、千里中央駅周辺路、庄内駅周辺禁止区域及びその他駅周辺） ※庄内駅西側周辺の路上喫煙禁止区域の指定	環境部 美化推進課
4-5②		美化啓発行事業	●豊中市まちを美しくする運動連絡会議開催 ●環境月間、環境美化月間の美化啓発行事を実施	環境部 美化推進課

環境 基本計画 体系番号	環境基本計画 主な施策・事業	2019年度の実施状況		2019年度 担当課
		所管部局事業名称 （細事業名称）	事業内容・実施状況	
4-5②	路上喫煙防止の推進	路上喫煙対策推進事業	●路上喫煙およびポイ捨て禁止の啓発及び巡回指導を実施（豊中駅周辺、千里中央駅周辺路、庄内駅周辺禁止区域及びその他駅周辺）	環境部 美化推進課
4-5②	情報の提供・啓発	美化啓発行事	●豊中市まちを美しくする運動連絡会議開催 ●環境月間、環境美化月間の美化啓発行事を実施	環境部 美化推進課
4-5②	アダプト制度の推進	地域美化活動事業	●アダプトシステム事業参加団体による美化清掃活動、掃除用具貸出、ごみ回収、活動団体数24団体	環境部 美化推進課
4-5②	違法簡易広告物追放推進団体制度（とよなか美はり番）	美しいまちづくりの推進に関する条例事業	●登録団体7団体	環境部 美化推進課
4-5②	啓発看板の設置	美しいまちづくりの推進に関する条例事業	●ポイ捨て及び犬ふん放置の防止	環境部 美化推進課
4-5②	空き地の適正管理の促進	美しいまちづくりの推進に関する条例事業	●空き地の所有者等に対し適正な管理を行うように指導	環境部 美化推進課
4-5③	都市景観形成建築物等の指定	都市景観形成推進事業	●都市景観形成建築物は1件指定済み（2019年度は新規指定なし） ●指定に向けた取組みの推進	都市計画推進部 都市計画課
4-5③	景観重要建造物等の指定	都市景観形成推進事業	●指定に向けた取組みの推進	都市計画推進部 都市計画課
4-5③	歴史的遺産などの啓発看板等の設置	市有文化財等の維持管理	●文化財の保護と史跡景観・環境の保全を目的とした市有文化財の適切な維持管理（樹木剪定や園内清掃など） ●既設看板の維持管理	教育委員会 社会教育課
4-5③	文化財の保護、活用及び啓発	文化財の保護、活用及び啓発	●国登録記念物西山氏庭園が国指定名勝西山氏庭園（青龍庭）に指定替え	教育委員会 社会教育課

環境 基本計画 体系番号	環境基本計画 主な施策・事業	2019年度の実施状況		2019年度 担当課
		所管部局事業名称 （細事業名称）	事業内容・実施状況	
4-5③	市有文化財等の維持管理 文化財の保護、活用及び啓発	市有文化財等の維持管理 文化財の保護、活用及び啓発	●指定・登録文化財の保存活用に向けた調査等	教育委員会 社会教育課
4-5③	説明板の設置		●既設説明板の維持管理	教育委員会 社会教育課
4-5③	文化財の保護、活用及び啓発	文化財の保護、活用及び啓発	●「歴史・文化財ガイドマップ」等刊行物の販促・情報発信 ●史跡見学・講座・公開等（総参加者数3,535人） ●主催・共催事業実施回数（24回）	教育委員会 社会教育課
4-5④	環境配慮指針の運用	環境保全条例推進	●環境配慮申出書47件	環境部 環境政策課
4-5⑤	環境影響評価制度の運用	環境保全条例推進	●環境影響評価計画書1件 ●環境影響評価準備書2件 ●環境影響評価方法書1件	環境部 環境政策課

(5) 安全で快適な都市環境づくり

環境 基本計画 体系番号	環境基本計画 主な施策・事業	2019年度の実施状況		2019年度 担当課
		所管部局事業名称 （細事業名称）	事業内容・実施状況	
4-5-1　環境汚染防止対策の充実				
①典型公害対策の充実　　②環境監視と情報提供　　③土壌汚染対策の推進　　④アスベスト飛散防止対策				
5-1①	工場および事業場に対する届出指導等、立入検査、規制基準遵守確認検査（排水、排ガス、騒音、振動など）	水質汚濁関係業務 騒音・振動関係業務 大気汚染関係業務	●水質汚濁防止法に基づく立入検査：44件 ●騒音規制法・振動規制法及び大阪府生活環境の保全等に関する条例に基づく立入検査46件 ●大気汚染防止法及び大阪府生活環境の保全等に関する条例に基づく立入検査：64件	環境部 環境政策課 （環境保全係）
5-1①	事業者による指定化学物質の排出量、移動量、取扱量の把握等の支援	大気汚染関係業務	●第一種指定化学物質の排出量及び移動量の届出50件 ●第一種管理化学物質排出量等届出37件	環境部 環境政策課 （環境保全係）
5-1①	事業者による化学物質管理計画及び管理目標の策定の支援	大気汚染関係業務	●化学物質管理計画書作成（変更）届出2件 ●化学物質管理目標決定及び達成状況届出32件	環境部 環境政策課 （環境保全係）
5-1①	国等からの最新情報の収集および提供	水質汚濁関係業務 騒音・振動関係業務 大気汚染関係業務 土壌汚染関係業務	●「豊中市の環境保全」の発刊とHPへの掲載 ●各種通知のHPへの掲載・周知	環境部 環境政策課 （環境保全係）
5-1①		アスベスト対策事業	●民間建築物の吹付けアスベスト調査除去補助件数：調査2件、除去0件、計2件	都市計画推進部 建築審査課
5-1②	環境汚染物質の常時監視（大気汚染、公共用水域水質、アスベスト、ダイオキシン類（大気、河川水質及び底質、地下水、土壌））	水質汚濁関係業務 騒音・振動関係業務 大気汚染関係業務 土壌汚染関係業務	●公共用水域水質常時監視（8地点・のべ56回） ●地下水質を広域的に把握するため年度ごとに選定した地点で行う概況調査(5地点・年1回) ●過去に環境基準を超過した井戸の継続監視調査：(3地点・年1回) ●大気汚染（環境基準項目）常時監視（3地点・24時間366日） ●有害大気汚染物質濃度常時監視（2地点・年12回） ●PM2.5の成分分析：1地点・年4回 ●一般大気中アスベスト濃度調査（3地点・年1回） ●ダイオキシン類河川水質濃度常時監視（底質を含む）河川水質(1地点・年2回)・河川底質(1地点・年1回) ●ダイオキシン類地下水水質濃度常時監視　地下水質(1地点・年1回) ●ダイオキシン類大気濃度常時監視　大気(2地点・年4回) ●ダイオキシン類土壌中濃度常時監視　土壌(1地点・年1回)	環境部 環境政策課 （環境保全係）

環境 基本計画 体系番号	環境基本計画 主な施策・事業	2019年度の実施状況		2019年度 担当課
		所管部局事業名称 （細事業名称）	事業内容・実施状況	
5-1②	大気汚染常時監視測定局の維持管理	測定局舎維持管理業務	●千里局・市役所局・千成局の局舎、設備の維持管理 ●千里局・千成局の植栽管理	環境部 環境政策課 （環境保全係）
5-1②	ホームページ等による情報提供および注意喚起	大気汚染関係業務	●HP「豊中市の大気環境情報」等を活用したPM2.5、光化学スモッグ等の情報提供および注意喚起	環境部 環境政策課 （環境保全係）
5-1③	土壌汚染防止等に向けた立入検査および指導	土壌汚染関係業務	●土壌汚染対策法及び大阪府生活環境の保全等に関する条例に基づく立入検査6件	環境部 環境政策課 （環境保全係）
5-1③	土壌汚染に関する履歴調査および届出等の指導	土壌汚染関係業務	●形質変更届出等(16件)、その他届出(7件)、申請(3件)、報告(0件) ●土壌汚染に関する相談（55件）	環境部 環境政策課 （環境保全係）
5-1③	土壌汚染に係る地下水調査	土壌汚染関係業務	●2地点	環境部 環境政策課 （環境保全係）
5-1③	土壌汚染に係る情報提供	土壌汚染関係業務	●有害物質使用特定施設等有無の問合せ：445件 ●要措置区域等の情報の窓口での閲覧および、HPへの掲載	環境部 環境政策課 （環境保全係）
5-1④	解体現場パトロールの実施	大気汚染関係業務	●解体パトロール158件 ●アスベスト除去現場立入調査：17件	環境部 環境政策課 （環境保全係）
5-1④	アスベスト濃度測定	大気汚染関係業務	●市による建築物解体作業等の作業現場においてのアスベスト濃度測定回数0件	環境部 環境政策課 （環境保全係）

環境 基本計画 体系番号	環境基本計画 主な施策・事業	2019年度の実施状況		2019年度 担当課
		所管部局事業名称 （細事業名称）	事業内容・実施状況	

4-5-2　都市・生活型公害対策の推進

①都市・生活空間における環境対策の推進　　②ヒートアイランド対策の推進

5-2①	低公害車（次世代自動車等）の普及	地球温暖化防止地域計画の推進	●市役所敷地で電気自動車・プラグインハイブリッド車用急速充電器を運用	環境部 環境政策課
5-2①	道路騒音測定	騒音・振動関係業務	●自動車騒音常時監視（道路に面する地域7地点・道路に面する地域以外の地域3地点・年1回）	環境部 環境政策課 （環境保全係）
5-2①	航空機騒音測定	騒音・振動関係業務	●航空機騒音常時監視（3地点・24時間366日）	環境部 環境政策課 （環境保全係）
5-2①	航空機騒音防止対策	空港周辺対策事業	●空港設置管理者や各航空会社などに対して、低騒音機材の導入促進や騒音軽減運航の徹底、騒音被害の防止と軽減に向けた制度の拡充などを要望	都市活力部 空港課
5-2①	カラオケ、深夜営業規制	騒音・振動関係業務	●事業者への周知、啓発の実施 ●夜間立入の実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）
5-2①	光化学オキシダント対策	大気汚染関係業務	●光化学スモッグ予報等の発令日数（5日） ●HP「豊中市の大気環境情報」による情報の提供	環境部 環境政策課 （環境保全係）
5-2①	PM2.5（微小粒子状物質）対策	大気汚染関係業務	●高濃度が予想される日は大阪府がHPや防災メールで注意喚起を実施 ●HP「豊中市の大気環境情報」による情報の提供・周知	環境部 環境政策課 （環境保全係）
5-2①	公害苦情対応	公害関係苦情処理業務	●苦情対応129件	環境部 環境政策課 （環境保全係）
5-2②	クールビズ・ウォームビズなどエコスタイルの普及・啓発	地球温暖化防止地域計画の推進	●クールビズ（5/1～10/31）、ウォームビズ（12/1～3/31）の実施	環境部 環境政策課

環境 基本計画 体系番号	環境基本計画 主な施策・事業	2019年度の実施状況		2019年度 担当課
		所管部局事業名称 （細事業名称）	事業内容・実施状況	
5-2②	建物の省エネ化推進	建築基準法審査等事業	●建築物省エネ法の届出（111件） ●低炭素建築物新築等計画の認定（19件）	都市計画推進部 建築審査課
5-2②		地球温暖化対策実行計画の推進	●環境推進員作業部会での周知（研修会2回　通信発行1回）	環境部 環境政策課
5-2②	透水性舗装の推進	環境保全条例推進	●環境配慮指針に基づく協議により、透水性舗装および、緑地などを含めた雨水浸透の指導を実施	環境部 環境政策課
5-2②			●歩道舗装は、降雨時の通行性の向上や、雨水浸透、ヒートアイランド現象等の効果がある透水性舗装を基本とし、整備を実施	都市基盤部 基盤整備課
5-2②	みどりの保全・創出（壁面・屋上・沿道緑化など）	自然環境保全事業	●保護樹6本指定・5本解除。保護樹138本、保護樹林10か所に対し、助成金を交付 ●自然環境保全のために、松くい虫防除事業助成金を0件交付 ●島熊山緑地の管理作業を17回実施 ●島熊山緑地を活用した自然環境環境学習を1回実施 ●市民協同緑化樹6,409本を配付 ●生垣緑化助成金を5件、29.8m、106本に交付 ●市民と協働による小学校や公共施設等でのみどりのカーテンづくりの推進等	環境部 公園みどり推進課
5-2②		地球温暖化対策実行計画の推進	●議会棟壁面緑化事業	環境部 環境政策課
5-2②		みどりの基本計画施策推進事業 花とみどりの相談所主催事業	●豊中みどりの交流会において、小学校30校、こども園や授産施設など35施設を対象に、みどりのカーテンづくりの取組みを支援 ●みどりのカーテンづくりの講習会を5回開催し、参加者は79人	環境部 公園みどり推進課
5-2②	マップや市のホームページを利用したクールスポットの周知、活用	地球温暖化防止地域計画の推進	●SNS活用の検討	環境部 環境政策課
5-2②	気候変動への適応策の推進	地球温暖化防止地域計画の推進	●第2次豊中市地球温暖化防止地域計画（チャレンジ－70プラン）の推進	環境部 環境政策課

環境 基本計画 体系番号	環境基本計画 主な施策・事業	2019年度の実施状況		2019年度 担当課
		所管部局事業名称 （細事業名称）	事業内容・実施状況	

4-5-3 健全な水環境・水循環の創出

①都市における水循環の保全　　②環境にやさしい上下水道事業の展開

5-3①	雨水貯留タンクの助成	雨水貯留タンク設置助成事業	●助成件数6件	環境部 環境政策課
5-3①	環境影響評価、環境配慮指針の運用	環境保全条例推進	●環境配慮申出書47件 ●環境影響評価計画書1件 ●環境影響評価準備書2件 ●環境影響評価方法書1件	環境部 環境政策課
5-3①	緑地や農地の保全と活用	花畑開放	●レンゲ畑の開放を11ヶ所で実施、参加者は1,560名	都市活力部 産業振興課
5-3①	水辺空間・親水空間の保全・創出	―	●親水水路管理業務委託	都市基盤部 基盤保全課
5-3①			●（原田処理場） 下水処理水の場外再利用 場外再利用水量：1,973,420㎥／年（平成30年度1,722,271㎥／年）	上下水道局技術部 猪名川流域下水道事務所 維持課
5-3②	環境負荷の低減に向けた施策の実施と公表	―	●局内に構築した環境マネジメントシステム（EMS）に基づく環境負荷の低減 ●局全体の環境保全の取組みとその結果を取りまとめた「環境報告書」の策定・公表 ●環境に配慮した活動を推進するため、環境推進委員会を開催（2回） ●（原田処理場） FIT制度を適用した民間事業者による消化ガス発電事業を導入 供給した消化ガス量1,935,450N㎥／年	上下水道局経営部 経営企画課
5-3②	エネルギーの新たな活用や新技術の導入に向けた調査・検討	―	●マイクロ水力発電事業の可能性について調査	上下水道局経営部 経営企画課

環境 基本計画 体系番号	環境基本計画 主な施策・事業	2019年度の実施状況		2019年度 担当課
		所管部局事業名称 （細事業名称）	事業内容・実施状況	
5-3②	放流水における水質基準の確保と公表	―	●既存施設の適正な運転管理に努めるとともに、水質基準の結果を取りまとめた「放流水質検査結果」を公表	上下水道局経営部 経営企画課
5-3②			●（庄内下水処理場） 平成17年4月1日より供用開始 処理水量：7,326,200㎥/年(平成30年度6,536,100㎥/年）	上下水道局技術部 下水道施設課
5-3②			●（原田処理場） 3系列処理水量 81,297,469㎥/年(平成29年度高度処理79,871,180㎥/年）	上下水道局技術部 猪名川流域下水道事務所 維持課
5-3②	合流区域における汚濁負荷量の改善	―	●スクリーンの設置と遮集接続管の設置時期について、大阪府と引き続き協議を実施	上下水道局経営部 経営企画課
5-3②	直結式給水の普及促進	―	●小規模貯水槽水道の現地調査の際に直結給水切替えをお勧めするとともに、広報誌やホームページを通じて広く情報提供 ●小学校2校に飲み水栓を設置するとともに、出前教室を通じて飲み水栓設置の活動をPRするなど、水道水を直接飲む文化を広げる取組みを実施	上下水道局経営部 経営企画課
5-3②	漏水防止対策の推進	―	●計画的な漏水調査と配水小ブロックの流量監視を行い、漏水の早期発見・修繕を実施	上下水道局経営部 経営企画課
5-3②	処理場・ポンプ場の改築更新	―	●庄内下水処理場の改築更新並びにポンプ場の改築更新は計画どおり実施	上下水道局経営部 経営企画課

2．モニター指標一覧

モニター指標は、環境施策の達成状況や効果を定量的な指標として毎年継続的に把握することで、計画の進行管理に役立てようとするものです。

持続可能な社会を築くためには、環境(負荷の削減や生物多様性の向上)だけでなく、経済(雇用の確保など)と社会(地域コミュニティ)を統合した取組みが重要であるといわれています。

実際に、そのための施策を推進していく際には、環境、経済、社会のバランスを考えることが重要であり、そのバランスはケース・バイ・ケースで、その地域の自然的・歴史的特性や住んでいる人の年齢構成などによってもさまざまな意見や評価があるため異なります。このことは、まさに今日の環境問題の複雑さと多様性を表しています。

このような時代にあって、総合的な環境の質の向上を図るために、私たちのさまざまな活動や生活を見直すための資料として、本市が把握している数値データを公表することで、新しい時代の新しい評価につなげて行こうというのが、モニター指標のもつ意味です。したがって、各指標データの数値の高低・推移の上昇下降を、施策達成状況や効果との関係で見る場合は、環境施策の方向性・視点や評価者の立場によって異なる評価があることに留意しておく必要があります。

また本章では、モニター指標のデータ数値について、平成 26 年度(2014 年度)以降把握できる最新年度までの数値を表示しています。ところがこの数値には、国勢調査や市内の緑被率のように、数年に一度しか調査されないものもあります。空欄の箇所はこうした事情あることをご理解ください。

※第 3 次豊中市環境基本計画の各章立てごとにモニター指標を並べています。

(1) 環境政策を推進するための総合的なしくみづくり

主な施策・事業	指標名	説明や数式	令和元年度担当課	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参考数値										
環境委員会の開催	豊中市環境委員会の開催回数		環境部 環境政策課	回	―	―	―	3	3	1
環境交流センターの運営	環境交流センターのHPアクセス数（ページビュー数）		環境部 環境政策課	回	―	―	―	17,564	18,355	20,579
環境関連イベントの開催	イベント参加者数	地球温暖化防止イベント（①地球温暖化防止イベント②協働の取組みに関する意見交換会）	環境部 環境政策課	人	―	―	―	①115 ②0	①154 ②62	①101 ②67
環境フォーラムなど環境関連イベントの開催	イベント参加者数	みどりに関するイベント（目標4のイベント数とおなじ（環境展含む））	環境部 公園みどり推進課	人	―	―	―	13,762	13,919	13,667
環境フォーラムなど環境関連イベントの開催	イベント参加者数	ごみ減量に関するイベント（①減量フォーラム、②フードドライブ、③こども服リユース、④美化啓発行事）	環境部 減量計画課 家庭ごみ事業課 美化推進課	人	①111 ②ー ③ー ④12,624	①105 ②ー ③ー ④12,114	①93 ②30 ③ー ④15,512	①118 ②139 ③371 ④13,763	①103 ②112 ③565 ④9,709	①ー ②128 ③637 ④12,076
環境関連イベントの開催	イベント参加者数	環境の保全に関するイベント	環境部 環境政策課	人	―	―	―	0	0	0
環境基本計画の推進	市民団体・事業者などの環境活動の取組み事例数		環境部 環境政策課	件	233	234	225	232	192	77
1-1環境政策の総合的・計画的な推進										
環境審議会	環境審議会の回数		環境部 環境政策課	回	2	2	5	4	4	3
環境審議会	環境審議会各部会の回数		環境部 環境政策課	回	1	2	11	9	3	3
1-2環境情報の提供										
とよなか市民環境展	とよなか市民環境展参加者数	目標：人口の0.5%	環境部 環境政策課	人	3,107	2,974	3,085	3,247	3,812	3,600
1-3環境に関する教育・学習と意識啓発の推進										
課題別講座	公民館における環境問題の事業数		教育委員会 中央公民館	件	16	17	17	12	14	9
課題別講座	公民館における環境問題の事業数（環境問題事業数内、生活環境）		教育委員会 中央公民館	件	7	10	10	5	6	3
課題別講座	公民館における環境問題の事業数（環境問題事業数内、自然環境）		教育委員会 中央公民館	件	9	7	7	7	8	6
消費生活相談業務	市民生活（消費生活相談件数）		市民協働部 くらし支援課	件	2,926	2,945	2,876	2,593	2,727	2,847
1-4協働とパートナーシップに基づく施策の推進										
とよなかの環境（豊中市環境報告書）に対する市民意見の募集	とよなかの環境に対する市民意見の数	とよなかの環境への掲載数	環境部 環境政策課	件	42	30	30	29	25	192
環境交流センターの運営	環境交流センター来館者数	環境情報サロンとリサイクル交流センターは、平成25年度より環境交流センターに機能統合	環境部 環境政策課	人	15,493	17,545	19,083	17,306	18,458	18,354
第3次豊中アジェンダ21の普及促進	「とよなか市民環境会議」構成団体数		環境部 環境政策課	団体	142	142	140	139	138	139
第3次豊中アジェンダ21の普及促進	とよなか市民環境会議総会参加者数		環境部 環境政策課	人	129	152	128	143	108	167
地球温暖化防止基金事業	寄付件数		環境部 環境政策課	件	3	2	3	2	4	82
豊中市環境審議会の市民公募委員の起用	環境審議会市民委員数		環境部 環境政策課	人	2	2	2	2	2	2

（２）持続可能な低炭素社会づくり

主な施策・事業	指標名	説明や数式	令和元年度担当課	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
代表指標・指標										
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	1人あたり温室効果ガス排出量平成2年度比	算定に用いる電気の排出係数は固定値	環境部 環境政策課	% 登録地	-10.5%	-16.5%	-13.2%	-14.1%	-17.6%	集計中
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	部門別温室効果ガス排出量（家庭部門）平成2年度比	算定に用いる電気の排出係数は固定値	環境部 環境政策課	%	2.8%	-1.5%	14.6%	11.2%	0.3%	集計中
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	部門別温室効果ガス排出量（業務部門）平成2年度比	算定に用いる電気の排出係数は固定値	環境部 環境政策課	%	36.9%	29.2%	6.9%	5.6%	4.7%	集計中
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	部門別温室効果ガス排出量（運輸部門）平成2年度比	算定に用いる電気の排出係数は固定値	環境部 環境政策課	% 登録地	-22.5%	-28.3%	-25.7%	-27.9%	-28.3%	集計中
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	部門別温室効果ガス排出量（産業部門）平成2年度比	算定に用いる電気の排出係数は固定値	環境部 環境政策課	%	-58.8%	-61.8%	-54.0%	-54.6%	-52.5%	集計中
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	部門別温室効果ガス排出量（廃棄物部門）平成2年度比	算定に用いる電気の排出係数は固定値	環境部 環境政策課	%	5.4%	-17.6%	-1.8%	23.2%	9.7%	集計中
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	家庭部門市民１人あたりエネルギー消費量		環境部 環境政策課	GJ/人	13.716	13.090	14.683	14.383	12.978	集計中
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	業務部門の床面積1㎡あたりのエネルギー消費量		環境部 環境政策課	GJ/m2	1.651	1.561	1.300	1.275	1.238	集計中
第3次地球温暖化防止地域計画の推進	再生可能エネルギー等設備導入量		環境部 環境政策課	kW	3,361.95	3,879.36	4,237.48	4,499.88	4,851.02	集計中
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	市民１人あたり自家用車の登録台数		環境部 環境政策課	台/人	0.244	0.237	0.245	0.244	0.246	集計中
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	市内に登録された自動車１台あたりの温室効果ガス排出量		環境部 環境政策課	t-CO2/台	1.611	1.526	1.516	1.491	1.474	集計中
2-1　省資源・省エネルギーを通じた低炭素社会の実現										
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	市域の温室効果ガス総排出量	算定に用いる電気の排出係数は固定値	環境部 環境政策課	$t-CO_2$ 登録地	1,354,922	1,265,520	1,285,176	1,309,071	1,248,060	集計中
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	市域の温室効果ガス排出量（産業部門）	算定に用いる電気の排出係数は固定値	環境部 環境政策課	$t-CO_2$	198,279	183,994	180,420	218,529	227,965	集計中
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	市域の温室効果ガス排出量（業務部門）	算定に用いる電気の排出係数は固定値	環境部 環境政策課	$t-CO_2$	442,530	417,584	354,587	341,263	337,363	集計中
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	市域の温室効果ガス排出量（家庭部門）	算定に用いる電気の排出係数は固定値	環境部 環境政策課	$t-CO_2$	440,808	422,304	491,176	476,497	420,615	集計中
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	市域の温室効果ガス排出量（運輸部門）	算定に用いる電気の排出係数は固定値	環境部 環境政策課	$t-CO_2$ 登録地	195,635	180,885	187,605	181,993	180,934	集計中
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	市域の温室効果ガス排出量（廃棄物部門）	算定に用いる電気の排出係数は固定値	環境部 環境政策課	$t-CO_2$	77,670	60,753	72,413	90,788	80,859	集計中
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	1人あたり温室効果ガス総排出量	算定に用いる電気の排出係数は固定値	環境部 環境政策課	$t-CO_2$ ／人 登録地	3.43	3.20	3.33	3.29	3.13	集計中
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	エネルギー使用量（ガス：産業用）	豊中市統計書	総務部 行政総務課	千m^3	41,423	40,275	41,964	41,016	37,489	非公開
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	エネルギー使用量（ガス：家庭用）	豊中市統計書	総務部 行政総務課	千m^3	60,904	58,265	58,896	60,696	53,301	非公開
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	エネルギー使用量（電灯需要）	豊中市統計書	総務部 行政総務課	千kWh	783,668	751,755	非公表	非公表	非公表	非公開
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	エネルギー使用量（電力需要）	豊中市統計書	総務部 行政総務課	千kWh	74,334	70,975	非公表	非公表	非公表	非公開
第4次地球温暖化対策実行計画の推進	市役所の事務事業から排出される温室効果ガス排出量平成12年度比	年度毎に市の各部局のエネルギー使用量を集計し、事務事業別の温室効果ガス排出量の増減を報告	環境部 環境政策課	%	-2.7	-6.5	-4.4	-13	-22.1	-22.7
第4次地球温暖化対策実行計画の推進	市役所の温室効果ガス総排出量	年度毎に市の各部局のエネルギー使用量を集計し、市の事業活動で発生する温室効果ガス排出量の総量を報告	環境部 環境政策課	$t-CO_2$	44,055	42,362	44,324	39,411	35,306	35,021

（2）持続可能な低炭素社会づくり

主な施策・事業	指標名	説明や数式	令和元年度担当課	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
第4次地球温暖化対策実行計画の推進	市役所事務事業 燃料使用量（ガソリン）		環境部 環境政策課	ｷﾛﾘｯﾄﾙ	282	279	246	243	233	239
第4次地球温暖化対策実行計画の推進	市役所事務事業 燃料使用量（灯油）		環境部 環境政策課	ｷﾛﾘｯﾄﾙ	150	5	2	1	2	1
第4次地球温暖化対策実行計画の推進	市役所事務事業 燃料使用量（軽油）		環境部 環境政策課	ｷﾛﾘｯﾄﾙ	279	276	228	236	236	216
第4次地球温暖化対策実行計画の推進	市役所事務事業 燃料使用量（重油）		環境部 環境政策課	ｷﾛﾘｯﾄﾙ	41	50	40	37	58	36
第4次地球温暖化対策実行計画の推進	市役所事務事業 燃料使用量（液化石油ガス）		環境部 環境政策課	t	2	2	2	2	2	2
第4次地球温暖化対策実行計画の推進	市役所事務事業　電気使用量総計		環境部 環境政策課	千kWh	62,634	62,215	63,431	63,344	63,291	62,595
第4次地球温暖化対策実行計画の推進	市役所事務事業　都市ガス使用量総計		環境部 環境政策課	千m^3	3,527	3,437	4,146	3,929	3,623	3,520
第4次地球温暖化対策実行計画の推進	市役所事務事業　他人から供給された熱の使用		環境部 環境政策課	GJ	2,521	2,380	2,641	2,744	2,719	2,607
本庁舎管理事業	エネルギー使用量 （電気：第一庁舎）		総務部 行政総務課	kWh	807,932	805,371	795,051	777,548	805,173	727,639
本庁舎管理事業	エネルギー使用量 （電気：第二庁舎）		総務部 行政総務課	kWh	916,186	904,201	955,664	941,939	962,364	900,753
市役所別館管理業務／ 旧子育て支援センター施設管理	エネルギー使用量 （電気：その他別館等）	市役所別館、旧子育て支援センター（平成22年～）	総務部 行政総務課	kWh	184,152	185,596	153,505	124,612	107,184	104,487
庄内駅前庁舎	エネルギー使用量 （電気：庄内駅前庁舎）	庄内駅前庁舎（平成30年～）	総務部 行政総務課	kWh	—	—	—	—	77,349	80,746
本庁舎管理事業	エネルギー使用量（市役所内） 第一庁舎（単位面積当電気使用量）		総務部 行政総務課	kWh /m^2	80.33	80.07	79.05	77.31	80.05	72.34
本庁舎管理事業	エネルギー使用量（市役所内） 第二庁舎（単位面積当電気使用量）		総務部 行政総務課	kWh /m^2	80.66	79.60	84.13	82.92	84.72	79.30
市役所別館管理業務／ 旧子育て支援センター施設管理	エネルギー使用量（市役所内） その他別館（単位面積当電気使用量）	市役所別館、旧子育て支援センター（平成22年～）	総務部 行政総務課	kWh /m^2	62.87	63.36	52.41	42.54	36.59	35.67
本庁舎管理事業	エネルギー使用量（市役所内） 使用量計（単位面積当電気使用量）		総務部 行政総務課	kWh /m^2	78.38	77.84	81.74	80.12	82.53	76.03
庄内駅前庁舎	エネルギー使用量（市役所内） 庄内駅前庁舎（単位面積当電気使用量）	庄内駅前庁舎（平成30年～）	総務部 行政総務課	kWh /m2	—	—	—	—	65.16	68.03
本庁舎管理事業	エネルギー使用量（市役所内） 第一・第二庁舎（ガス）		総務部 行政総務課	m^3	102,522	94,264	111,155	108,372	103,887	110,198
市役所別館管理業務／ 旧子育て支援センター施設管理	エネルギー使用量（市役所内） その他別館等（ガス）	市役所別館、旧子育て支援センター（平成22年～）	総務部 行政総務課	m^3	6,127	5,515	6,724	6,316	5,791	6,190
本庁舎管理事業	エネルギー使用量（市役所内） 第一・第二庁舎（単位面積当ガス使用量）		総務部 行政総務課	m^3/m^2	4.79	4.40	5.19	5.06	4.85	5.15
市役所別館管理業務／ 旧子育て支援センター施設管理	エネルギー使用量（市役所内） その他別館等（単位面積当ガス使用量）	市役所別館、旧子育て支援センター（平成22年～）	総務部 行政総務課	m^3/m^2	2.09	1.88	2.30	2.16	1.98	2.11
本庁舎管理事業	水道使用量（第一・第二庁舎）		総務部 行政総務課	m^3	22,363	21,651	22,194	20,516	25,740	23,526
本庁舎管理事業	水道使用量（第一・第二庁舎）（単位面積当）		総務部 行政総務課	m^3/m^2	1.04	1.01	1.04	0.96	1.20	0.91
第4次地球温暖化対策実行計画の推進	自動車通勤率（市役所内）四輪	年度末算出数値	総務部 職員課	%	14.5	14.5	12.8	12.2	12.1	12.2
第4次地球温暖化対策実行計画の推進	ESCO事業（第一・第二庁舎） エネルギー削減率		環境部 環境政策課	%	31.6	32.0	30.6	31.1	—	—
第4次地球温暖化対策実行計画の推進	ESCO事業（第一・第二庁舎） CO_2削減率		環境部 環境政策課	%	0.1	3.4	2.2	0.1	—	—
地球温暖化防止基金事業	エコポイントチケット「とよか」使用枚数	一般家庭向けの省エネ支援・アドバイス事業を実施した際、参加者への謝礼に渡すエコポイントチケット「とよか」の原資に利用	環境部 環境政策課	枚	1,288	3,227	3,516	3,895	5,572	6,849

（2）持続可能な低炭素社会づくり

主な施策・事業	指標名	説明や数式	令和元年度担当課	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
2-2　再生可能エネルギー等の活用促進										
太陽光発電システム、太陽熱利用システムの普及促進	太陽光発電導入量（ただし市補助分）	単年度	環境部 環境政策課	kW	550.82	517.41	358.12	262.40	351.14	296.35
再生可能エネルギーに関する普及・啓発	再生可能エネルギー等を導入している市有施設の数	新たに再生可能エネルギー設備を市有施設に設置する際、情報提供	環境部 環境政策課	件	26	34	38	39	37	36
再生可能エネルギーに関する普及・啓発	市有施設の再生可能エネルギー等の導入量		環境部 環境政策課	kW	159.2	978.3	1011.4	1021.4	1020.9	1068.8
再生可能エネルギーに関する普及・啓発	下水処理水の熱利用（ヒートポンプ運転時間）	ヒートポンプ運転時間	上下水道局 技術部猪名川流域下水道事務所 維持課／下水道施設課	時間	5,350	4,846	5,087	4,275	4,577	4,536
—	クリーンランド売電量	売電量	豊中市伊丹市クリーンランド 施設課	千kWh	11,903	19,703	65,880	66,495	68,470	64,858
—	クリーンランド売電収入	売電収入	豊中市伊丹市クリーンランド 施設課	千円	213,474	326,486	961,884	867,946	988,410	928,749
—	クリーンランド発電量	自家発電量	豊中市伊丹市クリーンランド 施設課	千kWh	33,383	41,130	95,344	95,091	96,700	91,318
—	クリーンランド廃プラスチック類比率	可燃ごみ中廃プラスチック類比率（DRY基準）	豊中市伊丹市クリーンランド 施設課	%	21.6	17.6	21.6	28.0	24.3	27.2
—	エネルギー使用量（病院内）	使用量計(電気)	市立豊中病院 病院総務課	kWh	13,183,870	13,179,650	13,430,936	13,323,199	12,776,023	11,503,375
—	エネルギー使用量（病院内）	買受使用量	市立豊中病院 病院総務課	kWh	12,826,088	11,590,690	11,604,882	11,457,562	11,912,365	11,200,500
—	エネルギー使用量（病院内）	ｺｰｼﾞｪﾈﾚｰｼｮﾝｼｽﾃﾑによる発電量	市立豊中病院 病院総務課	kWh	357,782	1,588,960	1,826,054	1,865,637	863,658	302,875
—	エネルギー使用量（病院内）	使用量(ガス)	市立豊中病院 病院総務課	m^3	1,101,181	1,311,508	1,523,472	1,418,767	1,218,640	1,050,171
—	水道使用量（病院内）	使用量(m^3)	市立豊中病院 病院総務課	m^3	94,138	97,346	101,424	98,438	96,103	99,372
—	燃料使用量（病院内）	ガソリン	市立豊中病院 病院総務課	ﾘｯﾄﾙ	2,236	2,068	1,984	1,715	1,828	1,549
2-3　環境に配慮した運輸部門における施策の推進										
放置自転車等防止事業	自転車駐車場収容台数	延べ	都市基盤部 交通政策課	台	24,266	24,618	24,276	24,409	24,105	23,641
放置自転車等防止事業	放置自転車撤去台数		都市基盤部 交通政策課	台	14,908	15,518	13,411	11,649	7,515	3,997
放置自転車等防止事業	自転車駐車場設置数	延べ	都市基盤部 交通政策課	ヵ所	45	45	45	45	45	46
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	交通環境学習実施校等数	クルマ大集合	環境部 環境政策課	校、園、所	0	1	0	1	1	2
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	自動車保有台数（原付自転車）	総数(統計書)	総務部 行政総務課	台	41,869	41,278	40,103	34,176	32,977	31,783
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	自動車保有台数（小型）	総数(統計書)	総務部 行政総務課	台	4,525	4,586	4,592	3,834	3,882	3,810
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	自動車保有台数（軽自動車）	総数(統計書)	総務部 行政総務課	台	33,484	33,932	34,704	31,990	32,204	32,673
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	自動車保有台数（乗用車）	総数(統計書)	総務部 行政総務課	台	78,686	75,208	77,835	77,990	78,143	78,107
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	自動車保有台数（トラック）	総数(統計書)	総務部 行政総務課	台	5,742	5,552	5,627	5,661	5,694	5,449
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	自動車保有台数（バス）	総数(統計書)	総務部 行政総務課	台	680	628	684	701	777	753
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	自動車保有台数（特殊）	総数(統計書)	総務部 行政総務課	台	480	290	487	492	491	451
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	自動車保有台数総数	総数(統計書)	総務部 行政総務課	台	165,466	161,474	164,033	154,845	154,169	153,027
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	公共交通利用者数	総数(統計書)	総務部 行政総務課	千人／日	257	264	256	258	261	集計前
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	中国自動車道中国豊中・中国池田インターチェンジの利用状況	総数(統計書)	総務部 行政総務課	台	15,996,977	16,186,275	16,246,744	16,250,227	15,947,463	集計前
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	名神高速道路豊中インターチェンジの利用状況	総数(統計書)	総務部 行政総務課	台	14,706,834	14,767,261	14,893,025	14,988,666	14,464,295	集計前
第2次地球温暖化防止地域計画の推進	阪神高速道路の利用状況	総数(統計書)	総務部 行政総務課	台	15,904,561	16,019,964	16,000,005	15,887,301	15,805,344	集計前

（3）廃棄物の減量および適正処理を通じた循環型社会づくり

主な施策・事業	指標名	説明や数式	令和元年度担当課	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
代表指標・指標										
廃棄物関連計画の推進	焼却処理量	豊中市伊丹市クリーンランドにおいて焼却処理されるごみ（可燃＋選別可燃物）の年度合計量	環境部 減量計画課	t	102,836	103,820	103,584	103,967	104,700	103,041
廃棄物関連計画の推進	家庭系ごみ１人１日あたり排出量（再生資源を除く）	豊中市伊丹市クリーンランドへの家庭系ごみ搬入量（資源除く）の1人1日あたり量	環境部 減量計画課	g		―	414	415	420	415
廃棄物関連計画の推進	事業系ごみ排出量（再生資源を除く）	豊中市伊丹市クリーンランドへの事業系ごみ搬入量（資源除く）の年度合計量	環境部 減量計画課	t	―	―	43,099	43,462	42,068	40,848
廃棄物関連計画の推進	リサイクル率	ごみの総量（発生量（資源含む））（年度）に対する家庭系および事業系ごみのうち資源化されるごみの合計量（年度）の割合	環境部 減量計画課	%	―	―	15.7	15.5	15.1	15.2
3-1廃棄物の減量に向けた発生抑制・再使用と質の高いリサイクルの推進										
廃棄物関連計画の推進	ごみの量	資源化されずに焼却・破砕等されるごみ	環境部 減量計画課	t	103,674	104,738	104,978	105,331	106,403	104,535
廃棄物関連計画の推進	家庭系ごみ量	豊中市伊丹市クリーンランドへの家庭系ごみ（可燃・不燃・粗大ごみ）搬入量（再生資源を除く）の年度合計量	環境部 減量計画課	t	―	―	59,838	60,191	61,074	60,872
エコショップ	豊中エコショップ制度認定店舗数	年度末時点の店舗数	環境部 減量計画課	店	75	94	109	115	128	142
ごみ減量普及啓発事業	マイバッグ持参率	「豊中市におけるマイバックの持参促進及びレジ袋の削減に関する協定」の協定締結事業者からの提供データに基づき算出 （平成25年度～） 9事業者 （平成28年度～） 8事業者	環境部 減量計画課	%	47	47	47	48	73	81
再生資源集団回収報奨金交付事業	集団回収量		環境部 家庭ごみ事業課	t	6,709	6,484	6,060	5,726	5,513	5,192
再生資源集団回収報奨金交付事業	再生資源集団回収活動登録団体数		環境部 家庭ごみ事業課	団体	456	467	493	504	506	515
ペットボトル他分別収集事業	ペットボトル回収量（拠点回収）		環境部 家庭ごみ事業課	kg	262,410	258,260	259,500	250,600	249,500	243,150
ペットボトル他分別収集事業	ペットボトル回収拠点場所		環境部 家庭ごみ事業課	ヵ所	274	270	269	266	259	256
廃棄物関連計画の推進	紙ごみの再資源化量（市役所内一般文書（新聞紙、雑誌、段ボール、PPC用紙）		環境部 事業ごみ指導課	kg	106,180	100,870	96,520	87,480	97,640	88,560
廃棄物関連計画の推進	紙ごみの再資源化量（出先施設の一般文書(新聞紙、雑誌、段ボール））		環境部 事業ごみ指導課	kg	211,460	221,860	235,460	233,710	193,830	218,430
廃棄物関連計画の推進	紙ごみの再資源化量（市役所内機密文書）		環境部 事業ごみ指導課	kg	62,020	80,540	68,280	72,830	63,120	76,030
廃棄物関連計画の推進	紙・布資源化量（家庭系ごみ収集分）		環境部 減量計画課	t	2,526	2,732	6,136	6,159	5,946	5,977
廃棄物関連計画の推進	ガラスビン資源化量		環境部 減量計画課	t	2,158	2,177	2,046	2,024	1,979	1,957
廃棄物関連計画の推進	プラスチック製容器包装資源化量		環境部 減量計画課	t	3,151	3,073	3,001	2,865	2,881	2,975
廃棄物関連計画の推進	缶資源化量		環境部 減量計画課	t	429	401	473	523	530	558
廃棄物関連計画の推進	リサイクルプラザでの選別鉄資源化量		環境部 減量計画課	t	375	384	516	571	650	586
廃棄物関連計画の推進	ペットボトル資源化量		環境部 減量計画課	t	604	619	631	636	674	684

（3）廃棄物の減量および適正処理を通じた循環型社会づくり

主な施策・事業	指標名	説明や数式	令和元年度担当課	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
―	クリーンランド見学者数	小中学校関係(人)	豊中市伊丹市クリーンランド 再資源・搬入課	人	5,474	5,385	5,507	5,639	5,795	5,896
―	クリーンランド見学者数	その他(人)	豊中市伊丹市クリーンランド 再資源・搬入課	人	1,872	1,851	4,284	3,877	3,211	3,027
―	クリーンランド見学者数	合計(人)	豊中市伊丹市クリーンランド 再資源・搬入課	人	7,346	7,236	9,791	9,516	9,006	8,923
―	ごみ組成(ｸﾘｰﾝﾗﾝﾄﾞ ごみﾋﾟｯﾄ内)	台所ごみ	豊中市伊丹市クリーンランド 施設課	%	24.0	23.0	24.4	24.3	20.5	27.4
―	ごみ組成(ｸﾘｰﾝﾗﾝﾄﾞ ごみﾋﾟｯﾄ内)	紙など	豊中市伊丹市クリーンランド 施設課	%	52.0	40.3	44.5	39.0	44.9	41.5
―	ごみ組成(ｸﾘｰﾝﾗﾝﾄﾞ ごみﾋﾟｯﾄ内)	木・草など	豊中市伊丹市クリーンランド 施設課	%	3.0	10.8	6.9	7.9	8.7	3.7
―	ごみ組成(ｸﾘｰﾝﾗﾝﾄﾞ ごみﾋﾟｯﾄ内)	繊維類	豊中市伊丹市クリーンランド 施設課	%	4.6	11.1	7.0	7.4	6.1	6.6
―	ごみ組成(ｸﾘｰﾝﾗﾝﾄﾞ ごみﾋﾟｯﾄ内)	プラスチック・ゴム類 （※H24年度以降、収集形態の変更により分類変更）	豊中市伊丹市クリーンランド 施設課	%	15.4	14.0	15.8	20.1	17.8	19.8
―	ごみ組成(ｸﾘｰﾝﾗﾝﾄﾞ ごみﾋﾟｯﾄ内)	焼却不適物 （※H24年度以降、収集形態の変更により分類変更）	豊中市伊丹市クリーンランド 施設課	%	1.0	0.8	1.4	1.3	2.1	1.0
―	一般廃棄物最終処分量（伊丹市分含む）	焼却・不燃残渣	豊中市伊丹市クリーンランド 施設課	t	26,817	24,281	21,784	21,072	20,977	20,770

（4）都市における自然との共生をめざした社会づくり

主な施策・事業	指標名	説明や数式	令和元年度担当課	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
代表指標・指標										
豊中市みどりの基本計画	みどり率	平成17年度以降は未調査（平成17年度　みどり率23.2%）（樹林・樹木＋草地＋水面＋農地＋屋上緑化）／市域面積	環境部 公園みどり推進課	%	—	25.7	—	—	—	—
豊中市みどりの基本計画	緑被率	樹林・樹木／市域面積	環境部 公園みどり推進課	%	—	14.4	—	—	—	—
豊中市市民意識調査	みどりに対する満足度	豊中市市民意識調査(平成23年度開始、2年度に1回実施)	環境部 公園みどり推進課	%	—	67.2	—	78.3	—	—
豊中市みどりの基本計画	市民１人あたりの公園・緑地面積	公園・緑地/市域面積	環境部 公園みどり推進課	㎡/人	6.89	6.91	7.17	7.13	7.13	7.08
豊中市みどりの基本計画	みどりに関するイベント参加者数	環境展、ヒメボタル学習会・観察会、自然環境啓発イベント、とよっぴーフェスタ、とよっぴー展、みどりのフォーラム、みどりの交流会展、みどりのつどい、花いっぱい運動写真展、ふれあい緑地フェスティバル、スプリングフェスタ、緑化リーダー会展、花とみどりの講習会、島熊山緑地管理活動・自然観察会の参加者数	環境部 公園みどり推進課	人	13,488	14,112	14,341	13,762	13,769	13,670
自然環境啓発事業	市民参加による生物調査の参加者数	環境交流センター指定管理委託事業	環境部 公園みどり推進課	人	190	199	166	86	112	78
環境基本計画の推進	生物多様性の認知度	※環境展においてアンケート調査をおこなったもの	環境部 環境政策課	%	—	—	—	—	—	—
都市景観形成推進事業	景観に関する項目が盛込まれている地区計画・協定等の数	都市景観形成推進地区、景観形成協定、景観地区・協定、地区計画、緑地協定、建築協定、風致地区	都市計画推進部 都市計画課	件	33	35	41	43	44	46
4-1受け継がれてきたみどりの保全や育成										
豊中市みどりの基本計画	樹林・樹木緑被面積		環境部 公園みどり推進課	ha	480	526	—	—	—	—
公園維持管理事業	開設公園数		環境部 公園みどり推進課	ヵ所	490	483	481	477	478	476
自然環境啓発事業	ビオトープヵ所数	5年毎の調査。前回、平成22年度実施（35ヵ所）	環境部 公園みどり推進課	ヵ所	—	41	—	—	—	—
自然環境啓発事業	公共施設ビオトープ設置数	5年毎の調査。前回、平成22年度実施（18ヵ所）	環境部 公園みどり推進課	ヵ所	—	22	—	—	—	—
自然環境啓発事業	民間施設ビオトープ設置数	5年毎の調査。前回、平成22年度実施（17ヵ所）	環境部 公園みどり推進課	ヵ所	—	19	—	—	—	—
親水水路緑道維持管理	親水水路延長		都市基盤部 基盤管理課	m	5,662	5,662	5,662	5,662	5,662	5,662
市民農園	面積		農業委員会事務局	㎡	26,889	25,598	23,426	21,127	18,940	17,704
市民農園	申込者数		農業委員会事務局	人	2,114	2,069	2,093	2,072	761	913
市民農園	申込倍率		農業委員会事務局	倍	1.6	1.8	2.1	2.3	2.1	2.2
市民農園	区画数		農業委員会事務局	区画	1,195	1,136	1,008	910	820	781
市民農園	農園数		農業委員会事務局	農園	29	27	25	23	22	21
市民農園	市民農園栽培講習会		農業委員会事務局	回	2	2	2	2	2	2

（4）都市における自然との共生をめざした社会づくり

主な施策・事業	指標名	説明や数式	令和元年度担当課	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
4-2都市のみどりや地域の身近なみどりの創出										
屋上や壁面を活用したみどりづくり	屋上・壁面緑化施設数(環境配慮指針に基づく累計数)		環境部 環境政策課	ヵ所	24	24	25	30	35	36
緑化推進事業	生垣助成件数		環境部 公園みどり推進課	件	1	2	2	4	2	5
緑化推進事業	生垣緑化助成（延長）		環境部 公園みどり推進課	m	12.5	24.0	9.0	18.0	58.5	29.8
緑化推進事業	生垣緑化助成（本数）		環境部 公園みどり推進課	本	30	74	30	67	190	106
屋上や壁面を活用したみどりづくり	樹木の保存件数(環境配慮分)		環境部 環境政策課	件	5	5	3	3	6	2
緑化推進事業	緑化樹配付本数		環境部 公園みどり推進課	本	11,856	5,015	5,063	4,801	5,536	6,409
花いっぱい運動事業	花いっぱい運動写真展応募点数		環境部 公園みどり推進課	点	140	157	134	143	168	266
自然事業環境保全事業	保護樹指定本数		環境部 公園みどり推進課	本	125	128	133	140	138	139
自然事業環境保全事業	保護樹林指定ヵ所数		環境部 公園みどり推進課	ヵ所	10	10	10	10	10	10
自然事業環境保全事業	松くい虫防除事業助成件数		環境部 公園みどり推進課	件	2	0	2	1	1	0
4-3みどりを活かした安全で快適なくらしの実現										
みどりの交流会運営事業	みどりのカーテンづくり参加団体数		環境部 公園みどり推進課	団体	68	66	69	65	64	64
都市のみどりの創造	住民により管理が行われている公園緑地のヵ所数	住民により管理が行われている公園緑地のヵ所数	環境部 公園みどり推進課	ヵ所	334	262	327	326	324	334
公園維持管理事業	公園総面積	公園総面積	環境部 公園みどり推進課	ha	273.14	272.23	283.94	283.72	283.73	283.79
公園等自主管理協定制度事業	愛護活動数	愛護活動数	環境部 公園みどり推進課	ヵ所	110	110	106	107	109	117
公園等自主管理協定制度事業	自主管理協定数	自主管理協定数	環境部 公園みどり推進課	件	224	216	221	219	215	217
公園等自主管理協定制度事業	自主管理・愛護活動登録団体数	自主管理・愛護活動登録団体数	環境部 公園みどり推進課	団体	282	276	268	265	266	270
公園等自主管理協定制度事業	活動ヵ所数（自主管理・愛護活動含む）（緑道）	活動ヵ所数（自主管理・愛護活動含む）（緑道）	環境部 公園みどり推進課	ヵ所	25	23	24	25	25	26
公園等自主管理協定制度事業	活動公園数（自主管理・愛護活動含む）（公園）	活動公園数（自主管理・愛護活動含む）（公園）	環境部 公園みどり推進課	ヵ所	311	303	303	301	299	308
みどりの交流会運営事業	花苗生産・活用数		環境部 公園みどり推進課	株	6,613	10,398	10,624	11,973	12,754	59,128
生ごみ・剪定枝堆肥化事業	地域産野菜等の学校等給食提供回数		環境部 公園みどり推進課	回	62	80	119	133	181	164
生ごみ・剪定枝堆肥化事業	講座型環境学習参加者数		環境部 公園みどり推進課	人	1,777	2,637	2,551	3,070	406	1,982
生ごみ・剪定枝堆肥化事業	堆肥化講習会参加者数	栽培講習会参加人数含	環境部 公園みどり推進課	人	167	205	88	151	162	239
生ごみ・剪定枝堆肥化事業	地域産野菜頒布購入者数		環境部 公園みどり推進課	人	1,961	1,815	2,107	2,033	1,807	2,548
生ごみ・剪定枝堆肥化事業	とよっぴーフェスタ参加者数	平成26年度までは「とよっぴー祭り」として開催	環境部 公園みどり推進課	人	1,226	1,468	900	311	707	750
生ごみ・剪定枝堆肥化事業	堆肥化容器等助成件数		環境部 公園みどり推進課	件	30	28	22	21	29	45
生ごみ・剪定枝堆肥化事業	農体験学習参加者数		環境部 公園みどり推進課	人	3,070	2,801	3,193	2,943	1,522	2,727

（4）都市における自然との共生をめざした社会づくり

主な施策・事業	指標名	説明や数式	令和元年度担当課	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
緑と食品のリサイクルプラザ主催事業	堆肥化施設見学者数		環境部 公園みどり推進課	人	678	565	451	327	608	459
緑と食品のリサイクルプラザ主催事業	堆肥の配布・頒布量		環境部 公園みどり推進課	t	115	90	96	107	106	89
緑と食品のリサイクルプラザ主催事業	とよっぴー展参加者数		環境部 公園みどり推進課	人	555	650	350	242	232	0
自然環境啓発事業	自然環境保全に関するイベントへの参加者数	自然観察会等参加者数	環境部 公園みどり推進課	人	683	693	564	503	440	449
4-4生物多様性の総合的な保全と利用										
ヒメボタル保全事業	ヒメボタル学習会・観察会参加者数	平成27年度から2日間開催	環境部 公園みどり推進課	人	104	183	190	101	123	222
ヒメボタル保全事業	ヒメボタルの生息状況	ヒメボタルの発光（発生）数	環境部 公園みどり推進課	匹	4,266	3,182	1,177	2,633	6,096	7,034
自然環境保全事業	島熊山緑地維持管理活動参加者数		環境部 公園みどり推進課	人	416	352	423	476	440	383
自然環境保全事業	島熊山緑地自然観察会参加者数		環境部 公園みどり推進課	人	25	18	9	6	1	3
鳥獣保護管理事業	鳥獣に関する苦情等の相談件数		環境部 公園みどり推進課	件	445	628	722	713	778	621
鳥獣保護管理事業	鳥獣捕獲許可件数		環境部 公園みどり推進課	件	65	57	93	115	93	74
鳥獣保護管理事業	鳥獣飼養登録件数		環境部 公園みどり推進課	件	6	5	3	2	2	1
4-5 都市景観・歴史環境、快適環境の保全・創出										
地区計画等推進事業	地区計画の件数	庄内・豊南町地区防災街区整備地区計画は除く	都市計画推進部 都市計画課	件	12	13	18	20	22	23
都市景観形成推進事業	都市景観形成建築物等の保存指定物件		都市計画推進部 都市計画課	件	1	1	1	1	1	1
景観法・都市景観条例に基づく景観指導	景観に関する協定等件数	都市景観形成推進地区、景観形成協定、景観地区・協定	都市計画推進部 都市計画課	件	4	4	6	6	6	6
都市景観形成推進事業	デザイン賞受賞物件数(延べ)		都市計画推進部 都市計画課	件	44	44	56	56	56	56
都市景観形成推進事業	大阪まちなみ賞表彰件数（延べ）	大阪府事業	都市計画推進部 都市計画課	件	15	15	15	15	16	16
風致地区内行為許可業務	風致地区件数		都市計画推進部 都市計画課	件	4	4	4	4	4	4
建築審査・指導事業	建築協定件数		都市計画推進部 建築審査課	件	11	12	11	11	10	10
緑化推進事業	緑地協定件数		環境部 公園みどり推進課	件	2	2	2	2	2	2
地域美化活動事業	地域清掃活動状況		環境部 美化推進課	回数	3,413	4,060	3,310	3,687	1,841	1,865

（4）都市における自然との共生をめざした社会づくり

主な施策・事業	指標名	説明や数式	令和元年度担当課	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
パトロール事業と散乱ごみ・不法投棄対策事業	不法投棄等啓発台数 洗濯機（啓発後の回収分、リサイクルできない物も含む）	平成21年度から乾燥機含む	環境部 美化推進課	台	7	12	15	11	8	7
パトロール事業と散乱ごみ・不法投棄対策事業	不法投棄等啓発台数 冷蔵庫（啓発後の回収分、リサイクルできない物も含む）	平成16年度から電気冷凍庫含む	環境部 美化推進課	台	30	18	24	59	30	22
パトロール事業と散乱ごみ・不法投棄対策事業	不法投棄等啓発台数 テレビ（啓発後の回収分、リサイクルできない物も含む）	平成21年度からプラズマ・液晶テレビ含む	環境部 美化推進課	台	107	98	49	48	62	40
パトロール事業と散乱ごみ・不法投棄対策事業	不法投棄等啓発台数 エアコン（啓発後の回収分、リサイクルできない物も含む）		環境部 美化推進課	台	0	1	1	0	0	1
パトロール事業と散乱ごみ・不法投棄対策事業	不法投棄等啓発台数 家電4品目合計（啓発後の回収分、リサイクルできない物も含む）		環境部 美化推進課	台	144	129	89	118	100	70
文化財の保護、活用及び啓発	指定文化財数		教育委員会 社会教育課	件	81	81	84	86	86	87
文化財の保護、活用及び啓発	登録文化財数		教育委員会 社会教育課	件	36	36	36	39	41	40
アダプトシステム事業制度（大阪府のｱﾄﾞﾌﾟﾄ活動団体を含む）	締結数		環境部 美化推進課	件	42	43	43	43	43	45
違法簡易広告物追放推進団体制度（とよなか美はり番）	活動団体数		環境部 美化推進課	団体	9	9	9	7	7	7
講座、講演、史跡見学などの啓発事業	史跡見学・講座等の実施		教育委員会 社会教育課	回	66	60	65	49	46	47
講座、講演、史跡見学などの啓発事業	一般市民を対象とした文化財の公開		教育委員会 社会教育課	回	9	13	14	13	7	19
環境配慮指針の運用	環境配慮申出書		環境部 環境政策課	件	58	38	40	40	48	47
環境影響評価制度の運用	計画書		環境部 環境政策課	件	2	4	2	1	3	1
環境影響評価制度の運用	準備書		環境部 環境政策課	件	1	4	4	1	0	2

（５）安全で快適な都市環境づくり

主な施策・事業	指標名	説明や数式	令和元年度担当課	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
代表指標・指標										
環境汚染対策の充実	大気の環境基準 達成状況		環境部 環境政策課 （環境保全係）	%	80.0	84.0	88.0	88.0	88.0	88.0
上段の項目別進捗状況：	大気汚染に係わるもの	３地点、最大８項目	環境部 環境政策課 （環境保全係）	%				15/18	15/18	15/18
	有害大気汚染物質に係わるもの	２地点、最大４項目	環境部 環境政策課 （環境保全係）	%				5/5	5/5	5/5
	微小粒子状物質	１地点	環境部 環境政策課 （環境保全係）	%				2/2	2/2	2/2
環境汚染対策の充実	水質の環境基準 達成状況		環境部 環境政策課 （環境保全係）	%	97.2	97.2	97.6	97.2	97.4	97.2
上段の項目別進捗状況：	生物化学的酸素要求量の75%値	４地点	環境部 環境政策課 （環境保全係）	%				4/4	4/4	4/4
	BOD以外の利用目的に係る生活環境項目	４地点、最大４項目	環境部 環境政策課 （環境保全係）	%				10/15	10/15	10/15
	水生生物に係る生活環境項目	４地点、最大３項目	環境部 環境政策課 （環境保全係）	%				12/12	12/12	12/12
	健康項目	４地点、最大２７項目	環境部 環境政策課 （環境保全係）	%				104/104	104/104	104/104
	地下水汚染	最大２８項目	環境部 環境政策課 （環境保全係）	%				183/187	170/173	143/146
環境汚染対策の充実	ダイオキシン類の環境基準達成状況		環境部 環境政策課 （環境保全係）	%	90.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
環境汚染対策の充実	道路騒音の環境基準達成状況		環境部 環境政策課 （環境保全係）	%	92.4	91.4	91.9	92.2	94.1	95.0
環境汚染対策の充実	航空機騒音の環境基準達成状況		環境部 環境政策課 （環境保全係）	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
環境汚染対策の充実	大気に関する注意喚起回数	光化学スモッグ予報・注意報、PM2.5（微小粒子状物質）等の注意喚起発令回数を想定	環境部 環境政策課 （環境保全係）	回	4	5	5	2	6	5
環境汚染対策の充実	熱帯夜数	1日の最低気温が25℃を上回った日数。 （千里局）	環境部 環境政策課 （環境保全係）	日	37	26	28	39	48	35
環境汚染対策の充実		1日の最低気温が25℃を上回った日数。 （市役所局）	環境部 環境政策課 （環境保全係）	日	33	30	46	49	53	43
環境汚染対策の充実		1日の最低気温が25℃を上回った日数。 （千成局）	環境部 環境政策課 （環境保全係）	日	44	28	47	51	55	41
透水性舗装の延長	透水性舗装の延長		環境部 環境政策課	㎡	8,804	15,809	23,840	26,445	32,005	35,196
雨水貯留タンクの助成	雨水貯留タンク設置件数（助成に係るもの）	設置件数（単年）	環境部 環境政策課	件	284	299	310	319	334	340
		容量（単年）	環境部 環境政策課	ℓ	55,079	60,059	62,216	64,671	68,341	69,571
環境保全条例推進	環境配慮のうち雨水利用に関するもの	雨水利用の件数（単年）	環境部 環境政策課	件	1	2	4	7	8	9
		容量（単年）	環境部 環境政策課	ℓ	48,205	54,205	54,485	54,835	158,835	178,435

（5）安全で快適な都市環境づくり

主な施策・事業	指標名	説明や数式	令和元年度担当課	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
5-1環境汚染防止対策の充実										
大気汚染関係業務	大気汚染常時観測局数		環境部 環境政策課 （環境保全係）	ヵ所	3	3	3	3	3	0
大気汚染関係業務	二酸化いおう濃度 日平均値の2%除外値 （市役所局）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	ppm	0.007	0.006	0.005	0.006	0.007	19
大気汚染関係業務	二酸化いおう濃度 日平均値の2%除外値 （千成局）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	ppm	0.009	0.007	0.007	0.007	0.008	0.008
大気汚染関係業務	一酸化炭素濃度 日平均値の2%除外値 （市役所局）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	ppm	0.7	0.7	0.6	0.7	0.6	0.6
大気汚染関係業務	浮遊粒子状物質濃度 日平均値2%除外値 （千里局）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/m^3	0.044	0.042	0.033	0.040	0.038	0.034
大気汚染関係業務	浮遊粒子状物質濃度 日平均値2%除外値 （市役所局）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/m^3	0.045	0.044	0.035	0.044	0.039	0.038
大気汚染関係業務	浮遊粒子状物質濃度 日平均値2%除外値 （千成局）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/m^3	0.045	0.049	0.036	0.044	0.043	0.038
大気汚染関係業務	浮遊粒子状物質 環境基準超過時間数 （千里局）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	時間	0	0	0	0	0	0
大気汚染関係業務	浮遊粒子状物質 環境基準超過時間数 （市役所局）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	時間	0	0	0	0	0	0
大気汚染関係業務	浮遊粒子状物質 環境基準超過時間数 （千成局）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	時間	0	0	0	0	0	0
大気汚染関係業務	光化学オキシダント濃度 昼間時間の年平均値 （千里局）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	ppm	0.028	0.028	0.030	0.027	0.029	0.032
大気汚染関係業務	光化学オキシダント濃度 昼間時間の年平均値 （市役所局）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	ppm	0.031	0.032	0.032	0.032	0.032	0.032
大気汚染関係業務	光化学オキシダント濃度 昼間時間の年平均値 （千成局）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	ppm	0.032	0.035	0.035	0.033	0.033	0.034
大気汚染関係業務	光化学オキシダント濃度 昼間の1時間値の年間 最高値（千里局）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	ppm	0.116	0.116	0.105	0.098	0.110	0.108
大気汚染関係業務	光化学オキシダント濃度 昼間の1時間値の年間 最高値（市役所局）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	ppm	0.120	0.127	0.109	0.098	0.125	0.116
大気汚染関係業務	光化学オキシダント濃度 昼間の1時間値の年間 最高値（千成局）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	ppm	0.134	0.113	0.116	0.116	0.125	0.125
大気汚染関係業務	光化学オキシダント 環境基準超過時間数 （千里局）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	時間	137	206	212	178	212	286
大気汚染関係業務	光化学オキシダント 環境基準超過時間数 （市役所局）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	時間	291	429	316	297	293	333
大気汚染関係業務	光化学オキシダント 環境基準超過時間数 （千成局）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	時間	287	530	484	391	344	420
大気汚染関係業務	二酸化窒素濃度 日平均値の98%値 （千里局）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	ppm	0.040	0.043	0.037	0.042	0.035	0.033
大気汚染関係業務	二酸化窒素濃度 日平均値の98%値 （市役所局）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	ppm	0.034	0.036	0.032	0.036	0.033	0.031
大気汚染関係業務	二酸化窒素濃度 日平均値の98%値 （千成局）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	ppm	0.034	0.034	0.032	0.037	0.034	0.031
大気汚染関係業務	二酸化炭素日平均値が 0.06ppmを超えた日数 （千里局）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	日	0	0	0	0	0	0
大気汚染関係業務	二酸化炭素日平均値が 0.06ppmを超えた日数 （市役所局）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	日	0	0	0	0	0	0
大気汚染関係業務	二酸化炭素日平均値が 0.06ppmを超えた日数 （千成局）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	日	0	0	0	0	0	0
大気汚染関係業務	微小粒子状物質（PM2.5） 濃度日平均値の98%値 （千成局）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	$\mu g/m^3$	36.4	36.6	28.9	32.3	31	23.5
大気汚染関係業務	微小粒子状物質（PM2.5） 濃度年平均値 （千成局）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	$\mu g/m^3$	16.5	14.7	13.2	14.1	12	9.6
大気汚染関係業務	有害大気汚染物質の濃度 （ベンゼン） （市役所局）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/m^3	0.0012	0.0017	0.00095	0.00090	0.00110	0.00076
大気汚染関係業務	有害大気汚染物質の濃度 （ベンゼン） （千成局）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/m^3	0.00092	0.0014	0.00078	0.00075	0.00091	0.00063

（５）安全で快適な都市環境づくり

主な施策・事業	指標名	説明や数式	令和元年度担当課	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
大気汚染関係業務	有害大気汚染物質の濃度（トリクロロエチレン）（千成局）		環境部 環境政策課（環境保全係）	mg/m^3	0.00055	0.00047	0.00039	0.00033	0.00022	0.00032
大気汚染関係業務	有害大気汚染物質の濃度（テトラクロロエチレン）（千成局）		環境部 環境政策課（環境保全係）	mg/m^3	0.00022	0.00033	0.00026	0.00030	0.00019	0.00021
大気汚染関係業務	有害大気汚染物質の濃度（ジクロロメタン）（千成局）		環境部 環境政策課（環境保全係）	mg/m^3	0.0022	0.0014	0.0013	0.0018	0.0013	0.0023
大気汚染関係業務	有害大気汚染物質の濃度（アセトアルデヒド）（市役所局）		環境部 環境政策課（環境保全係）	mg/m^3	0.0021	0.0022	0.0017	0.0038	0.0032	0.0023
大気汚染関係業務	有害大気汚染物質の濃度（アセトアルデヒド）（千成局）		環境部 環境政策課（環境保全係）	mg/m^3	0.0021	0.0027	0.0024	0.0033	0.0036	0.0024
大気汚染関係業務	有害大気汚染物質の濃度（1,3-ブタジエン）（市役所局）		環境部 環境政策課（環境保全係）	mg/m^3	0.00015	0.00017	0.00012	0.00011	0.00010	0.000068
大気汚染関係業務	有害大気汚染物質の濃度（1,3-ブタジエン）（千成局）		環境部 環境政策課（環境保全係）	mg/m^3	0.000091	0.000130	0.000086	0.000078	0.000074	0.000048
大気汚染関係業務	有害大気汚染物質の濃度（トルエン）（市役所局）		環境部 環境政策課（環境保全係）	mg/m^3	0.0094	0.0082	0.0061	0.0081	0.0080	0.0080
大気汚染関係業務	有害大気汚染物質の濃度（トルエン）（千成局）		環境部 環境政策課（環境保全係）	mg/m^3	0.014	0.020	0.011	0.014	0.010	0.012
大気汚染関係業務	有害大気汚染物質の濃度（ベンゾ[a]ピレン）（市役所局）		環境部 環境政策課（環境保全係）	μg/m^3	0.00013	0.000092	0.000073	0.00011	0.00004	0.000096
大気汚染関係業務	有害大気汚染物質の濃度（ベンゾ[a]ピレン）（千成局）		環境部 環境政策課（環境保全係）	μg/m^3	0.00015	0.00015	0.000088	0.00014	0.00006	0.00010
大気汚染関係業務	有害大気汚染物質の濃度（ホルムアルデヒド）（市役所局）		環境部 環境政策課（環境保全係）	mg/m^3	0.0029	0.0020	0.0023	0.0035	0.0033	0.0028
大気汚染関係業務	有害大気汚染物質の濃度（ホルムアルデヒド）（千成局）		環境部 環境政策課（環境保全係）	mg/m^3	0.0027	0.0021	0.0027	0.0032	0.0036	0.0028
大気汚染関係業務	有害大気汚染物質の濃度（アクリロニトリル）（千成局）	新規項目（平成27年度～）	環境部 環境政策課（環境保全係）	mg/m^3	—	0.000027	0.000023	0.000030	0.000021	0.000019
大気汚染関係業務	有害大気汚染物質の濃度（塩化ビニルモノマー）（千成局）	新規項目（平成27年度～）	環境部 環境政策課（環境保全係）	mg/m^3	—	0.000023	0.000023	0.000017	0.000021	0.000010
大気汚染関係業務	有害大気汚染物質の濃度（塩化メチル）（千成局）	新規項目（平成27年度～）	環境部 環境政策課（環境保全係）	mg/m^3	—	0.0018	0.0014	0.0014	0.0013	0.0012
大気汚染関係業務	有害大気汚染物質の濃度（酸化エチレン）（千成局）	新規項目（平成27年度～）	環境部 環境政策課（環境保全係）	mg/m^3	—	0.000091	0.00015	0.00011	0.00009	0.000084
大気汚染関係業務	有害大気汚染物質の濃度（1,2-ジクロロエタン）（千成局）	新規項目（平成27年度～）	環境部 環境政策課（環境保全係）	mg/m^3	—	0.00018	0.00011	0.00012	0.00021	0.00012
大気汚染関係業務	有害大気汚染物質の濃度（クロロホルム）（千成局）	新規項目（平成27年度～）	環境部 環境政策課（環境保全係）	mg/m^3	—	0.00035	0.00028	0.00033	0.00044	0.00036
大気汚染関係業務	有害大気汚染物質の濃度（クロム及びその化合物）（千成局）	新規項目（平成27年度～）	環境部 環境政策課（環境保全係）	μg/m^3	—	0.0048	0.0036	0.0073	0.0071	0.0061
大気汚染関係業務	有害大気汚染物質の濃度（ニッケル化合物）（千成局）	新規項目（平成27年度～）	環境部 環境政策課（環境保全係）	μg/m^3	—	0.0037	0.0034	0.0084	0.0076	0.0046
大気汚染関係業務	有害大気汚染物質の濃度（ヒ素及びその化合物）（千成局）	新規項目（平成27年度～）	環境部 環境政策課（環境保全係）	μg/m^3	—	0.001	0.0012	0.0011	0.0014	0.00085
大気汚染関係業務	有害大気汚染物質の濃度（ベリリウム及びその化合物）（千成局）	新規項目（平成27年度～）	環境部 環境政策課（環境保全係）	μg/m^3	—	0.00001	0.000010	0.000014	0.000018	0.000016
大気汚染関係業務	有害大気汚染物質の濃度（マンガン及びその化合物）（千成局）	新規項目（平成27年度～）	環境部 環境政策課（環境保全係）	μg/m^3	—	0.019	0.016	0.027	0.024	0.024
大気汚染関係業務	有害大気汚染物質の濃度（水銀及びその化合物）（千成局）	新規項目（平成27年度～）	環境部 環境政策課（環境保全係）	μg/m^3	—	0.0022	0.0019	0.0026	0.0030	0.0018
大気汚染関係業務	特定工場・事業場数		環境部 環境政策課（環境保全係）	ヵ所	270	241	237	242	216	216

（5）安全で快適な都市環境づくり

主な施策・事業	指標名	説明や数式	令和元年度担当課	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
大気汚染関係業務	アスベスト解体受付件数	大気汚染防止法に基づく届出書受付件数と大阪府生活環境の保全等に関する条例に基づく届出書受付件数の合計件数	環境部 環境政策課 （環境保全係）	件	20	22	17	47	55	55
大気汚染関係業務	真夏日日数（千里局）	日中の最高気温が30℃を超えた日数	環境部 環境政策課 （環境保全係）	日	65	47	59	61	65	67
大気汚染関係業務	真夏日日数（市役所局）	日中の最高気温が30℃を超えた日数	環境部 環境政策課 （環境保全係）	日	62	56	72	65	69	73
大気汚染関係業務	真夏日日数（千成局）	日中の最高気温が30℃を超えた日数	環境部 環境政策課 （環境保全係）	日	73	52	75	65	70	65
大気汚染関係業務	ダイオキシン類濃度 （市役所局）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	pg-TEQ/m^3	0.011	0.013	0.0063	0.012	0.0064	0.010
大気汚染関係業務	ダイオキシン類濃度 （千成局）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	pg-TEQ/m^3	0.024	0.035	0.012	0.022	0.0089	0.017
水質汚濁関係業務	ダイオキシン類濃度 （河川水質） （千里川猪名川合流直前）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	pg-TEQ/ℓ	0.084	0.087	0.11	0.10	0.14	0.14
水質汚濁関係業務	ダイオキシン類濃度 （河川底質） （千里川猪名川合流直前）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	pg-TEQ/g	0.17	0.33	0.81	0.64	0.62	0.48
水質汚濁関係業務	ダイオキシン類濃度 （河川水質） （神崎川新三国橋）	府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	pg-TEQ/ℓ	1.1	0.82	0.37	0.39	0.54	0.87
水質汚濁関係業務	ダイオキシン類濃度 （河川底質） （神崎川新三国橋）	府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	pg-TEQ/g	27	6.6	12	12	18	33
水質汚濁関係業務	ダイオキシン類濃度 （河川水質） （猪名川利倉）	国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	pg-TEQ/ℓ	0.093	0.080	0.082	0.073	0.150	0.071
水質汚濁関係業務	ダイオキシン類濃度 （河川底質） （猪名川利倉）	国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	pg-TEQ/g	0.25	0.25	0.29	0.26	0.43	0.31
水質汚染関係業務	ダイオキシン類濃度 （地下水質）	市内1地点	環境部 環境政策課 （環境保全係）	pg-TEQ/ℓ	0.018	0.057	0.061	0.063	0.062	0.084
土壌汚染関係業務	ダイオキシン類濃度 （土壌）	市内1地点	環境部 環境政策課 （環境保全係）	pg-TEQ/g	2.7	0.039	0.017	0.52	0.06	0.021
大気汚染関係業務	低公害車台数 （市役所） （電気）		環境部 環境政策課	台	1	4	4	3	4	4
大気汚染関係業務	低公害車台数 （市役所） （天然ガス）		環境部 環境政策課	台	2	0	0	0	0	0.0
大気汚染関係業務	低公害車台数 （市役所） （ハイブリッド）		環境部 環境政策課	台	13	20	20	14	19	19.0
大気汚染関係業務	低公害車台数 （市役所）（電気･天然ガス・ハイブリッド）		環境部 環境政策課	台	16	24	24	17	23	23.0
水質汚濁関係業務	水質汚濁測定地点		環境部 環境政策課 （環境保全係）	ヵ所	8	8	8	8	8	8
水質汚濁関係業務	生物化学的酸素要求量 75%値（千里川流末）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	1.1	1.1	1.2	1.4	1.4	1.7
水質汚濁関係業務	生物化学的酸素要求量 75%値（天竺川流末）	※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	—	—	—	1.6	1.9	2.1
水質汚濁関係業務	生物化学的酸素要求量 75%値（猪名川利倉）	国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	8.1	8.1	4.3	2.3	2.8	3.3
水質汚濁関係業務	生物化学的酸素要求量 75%値（神崎川新三国橋）	府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	1.3	1.5	1.7	2.6	3.0	2.0
水質汚濁関係業務	BOD以外の利用目的に係る生活環境項目（pH・千里川流末）		環境部 環境政策課 （環境保全係）		7.9～9.5	8.3～9.3	8.0～9.9	8.0～9.3	8.0～9.6	8.0～9.0
水質汚濁関係業務	BOD以外の利用目的に係る生活環境項目（pH・天竺川流末）	※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）		—	—	—	7.8～8.9	7.9～9.1	8.1～8.9
水質汚濁関係業務	BOD以外の利用目的に係る生活環境項目（pH・猪名川利倉）	国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）		7.3～7.7	7.3～7.8	7.4～7.8	7.1～8.4	7.0～7.8	6.8～7.2
水質汚濁関係業務	BOD以外の利用目的に係る生活環境項目（pH・神崎川新三国橋）	府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）		7.1～8.0	7.3～7.9	7.3～7.8	7.2～7.9	7.3～8.1	7.2～7.9
水質汚濁関係業務	BOD以外の利用目的に係る生活環境項目（DO・千里川流末）	年間の最小値	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	7.8	7.7	7.4	7.8	8.1	11
水質汚濁関係業務	BOD以外の利用目的に係る生活環境項目（DO・天竺川流末）	年間の最小値 ※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	—	—	—	9.1	9.4	10

（５）安全で快適な都市環境づくり

主な施策・事業	指標名	説明や数式	令和元年度担当課	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
水質汚濁関係業務	BOD以外の利用目的に係る生活環境項目（DO・猪名川利倉）	年間の最小値 国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	6.0	7.0	7.0	7.5	6.4	7.7
水質汚濁関係業務	BOD以外の利用目的に係る生活環境項目（DO・神崎川新三国橋）	年間の最小値 府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	5.2	6.6	6.0	6.9	5.8	5.2
水質汚濁関係業務	BOD以外の利用目的に係る生活環境項目（SS・千里川流末）	年間の最大値	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	4	2	14	12	9	6
水質汚濁関係業務	BOD以外の利用目的に係る生活環境項目（SS・天竺川流末）	年間の最大値 ※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	—	—	—	5	5	3
水質汚濁関係業務	BOD以外の利用目的に係る生活環境項目（SS・猪名川利倉）	年間の最大値 国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	7.8	7.4	15	11	10	4
水質汚濁関係業務	BOD以外の利用目的に係る生活環境項目（SS・神崎川新三国橋）	年間の最大値 府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	11	13	14	24	12	13
水質汚濁関係業務	BOD以外の利用目的に係る生活環境項目（大腸菌群数・千里川流末）	年間の最大値	環境部 環境政策課 （環境保全係）	MPN /100mℓ	17,000	130,000	1,300,000	24,000	49,000	49,000
水質汚濁関係業務	BOD以外の利用目的に係る生活環境項目（大腸菌群数・天竺川流末）	年間の最大値 ※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）	MPN /100mℓ	—	—	—	13,000	130,000	33,000
水質汚濁関係業務	BOD以外の利用目的に係る生活環境項目（大腸菌群数・猪名川利倉）	年間の最大値 国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	MPN /100mℓ	4,900	7,900	2,200	4,900	3,300,000	4,900
水質汚濁関係業務	BOD以外の利用目的に係る生活環境項目（大腸菌群数・神崎川新三国橋）	年間の最大値 府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	MPN /100mℓ	79,000	14,000	490,000	330,000	490,000	130,000
水質汚濁関係業務	水生生物に係る生活環境項目（全亜鉛・千里川流末）	年間の平均値	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	0.006	0.009	0.008	0.008	0.007	0.007
水質汚濁関係業務	水生生物に係る生活環境項目（全亜鉛・天竺川流末）	年間の平均値 ※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	—	—	—	0.008	0.012	0.010
水質汚濁関係業務	水生生物に係る生活環境項目（全亜鉛・猪名川利倉）	年間の平均値 国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	0.018	0.018	0.020	0.023	0.023	0.030
水質汚濁関係業務	水生生物に係る生活環境項目（全亜鉛・神崎川新三国橋）	年間の平均値 府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	0.016	0.016	0.016	0.015	0.015	0.015
水質汚濁関係業務	水生生物に係る生活環境項目（ノニルフェノール・千里川流末）	年間の平均値	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	0.00007
水質汚濁関係業務	水生生物に係る生活環境項目（ノニルフェノール・天竺川流末）	年間の平均値 ※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	—	—	—	0.00006	0.00006	<0.00006
水質汚濁関係業務	水生生物に係る生活環境項目（ノニルフェノール・猪名川利倉）	年間の平均値 国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	0.06	0.07	<0.06	<0.06	<0.06	<0.00006
水質汚濁関係業務	水生生物に係る生活環境項目（ノニルフェノール・神崎川新三国橋）	年間の平均値 府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	0.00015	0.0012	0.00006	0.00008	<0.00006	<0.00006
水質汚濁関係業務	水生生物に係る生活環境項目（LAS・千里川流末）	年間の平均値	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	0.0014	0.0011	0.0046	0.0015	0.0017	0.0010
水質汚濁関係業務	水生生物に係る生活環境項目（LAS・天竺川流末）	年間の平均値 ※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	—	—	—	0.0014	0.0031	0.0012
水質汚濁関係業務	水生生物に係る生活環境項目（LAS・猪名川利倉）	年間の平均値 国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	0.0016	0.0038	0.0013	0.0016	0.0025	0.0022
水質汚濁関係業務	水生生物に係る生活環境項目（LAS・神崎川新三国橋）	年間の平均値 府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	0.0008	0.0020	0.0042	0.0016	0.022	0.0040
水質汚濁関係業務	健康項目（カドミウム・千里川流末）	年間の平均値	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
水質汚濁関係業務	健康項目（カドミウム・天竺川流末）	年間の平均値 ※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	—	—	—	<0.0003	<0.0003	<0.0003
水質汚濁関係業務	健康項目（カドミウム・猪名川利倉）	年間の平均値 国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
水質汚濁関係業務	健康項目（カドミウム・神崎川新三国橋）	年間の平均値 府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003

（5）安全で快適な都市環境づくり

主な施策・事業	指標名	説明や数式	令和元年度担当課	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
水質汚濁関係業務	健康項目（全シアン・千里川流末）	年間の平均値	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
水質汚濁関係業務	健康項目（全シアン・天竺川流末）	年間の平均値 ※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	—	—	—	<0.1	<0.1	<0.1
水質汚濁関係業務	健康項目（全シアン・猪名川利倉）	年間の平均値 国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
水質汚濁関係業務	健康項目（全シアン・神崎川新三国橋）	年間の平均値 府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
水質汚濁関係業務	健康項目（鉛・千里川流末）	年間の平均値	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.005	<0.005	<0.005	<0.001	<0.001	<0.005
水質汚濁関係業務	健康項目（鉛・天竺川流末）	年間の平均値 ※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	—	—	—	<0.001	<0.001	<0.005
水質汚濁関係業務	健康項目（鉛・猪名川利倉）	年間の平均値 国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
水質汚濁関係業務	健康項目（鉛・神崎川新三国橋）	年間の平均値 府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
水質汚濁関係業務	健康項目（六価クロム・千里川流末）	年間の平均値	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.02	<0.02	<0.02	<0.005	<0.005	<0.02
水質汚濁関係業務	健康項目（六価クロム・天竺川流末）	年間の平均値 ※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	—	—	—	<0.005	<0.005	<0.02
水質汚濁関係業務	健康項目（六価クロム・猪名川利倉）	年間の平均値 国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
水質汚濁関係業務	健康項目（六価クロム・神崎川新三国橋）	年間の平均値 府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
水質汚濁関係業務	健康項目（砒素・千里川流末）	年間の平均値	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.005	<0.005	<0.005	0.002	0.004	0.002
水質汚濁関係業務	健康項目（砒素・天竺川流末）	年間の平均値 ※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	—	—	—	0.001	0.001	0.002
水質汚濁関係業務	健康項目（砒素・猪名川利倉）	年間の平均値 国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
水質汚濁関係業務	健康項目（砒素・神崎川新三国橋）	年間の平均値 府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
水質汚濁関係業務	健康項目（総水銀・千里川流末）	年間の平均値	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
水質汚濁関係業務	健康項目（総水銀・天竺川流末）	年間の平均値 ※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
水質汚濁関係業務	健康項目（総水銀・猪名川利倉）	年間の平均値 国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
水質汚濁関係業務	健康項目（総水銀・神崎川新三国橋）	年間の平均値 府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
水質汚濁関係業務	健康項目（PCB・千里川流末）	年間の平均値	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
水質汚濁関係業務	健康項目（PCB・天竺川流末）	年間の平均値 ※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
水質汚濁関係業務	健康項目（PCB・猪名川利倉）	年間の平均値 国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
水質汚濁関係業務	健康項目（PCB・神崎川新三国橋）	年間の平均値 府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
水質汚濁関係業務	健康項目（ジクロロメタン・千里川流末）	年間の平均値	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
水質汚濁関係業務	健康項目（ジクロロメタン・天竺川流末）	年間の平均値 ※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002

（５）安全で快適な都市環境づくり

主な施策・事業	指標名	説明や数式	令和元年度担当課	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
水質汚濁関係業務	健康項目（ジクロロメタン・猪名川利倉）	年間の平均値 国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0001	0.0002	0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
水質汚濁関係業務	健康項目（ジクロロメタン・神崎川新三国橋）	年間の平均値 府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
水質汚濁関係業務	健康項目（四塩化炭素・千里川流末）	年間の平均値	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
水質汚濁関係業務	健康項目（四塩化炭素・天竺川流末）	年間の平均値 ※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	—	—	—	<0.0002	<0.0002	<0.0002
水質汚濁関係業務	健康項目（四塩化炭素・猪名川利倉）	年間の平均値 国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
水質汚濁関係業務	健康項目（四塩化炭素・神崎川新三国橋）	年間の平均値 府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
水質汚濁関係業務	健康項目（1,2-ジクロロエタン・千里川流末）	年間の平均値	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004
水質汚濁関係業務	健康項目（1,2-ジクロロエタン・天竺川流末）	年間の平均値 ※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	—	—	—	<0.0004	<0.0004	<0.0004
水質汚濁関係業務	健康項目（1,2-ジクロロエタン・猪名川利倉）	年間の平均値 国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
水質汚濁関係業務	健康項目（1,2-ジクロロエタン・神崎川新三国橋）	年間の平均値 府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004
水質汚濁関係業務	健康項目（1,1-ジクロロエチレン・千里川流末）	年間の平均値	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
水質汚濁関係業務	健康項目（1,1-ジクロロエチレン・天竺川流末）	年間の平均値 ※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
水質汚濁関係業務	健康項目（1,1-ジクロロエチレン・猪名川利倉）	年間の平均値 国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
水質汚濁関係業務	健康項目（1,1-ジクロロエチレン・神崎川新三国橋）	年間の平均値 府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
水質汚濁関係業務	健康項目（シス-1,2-ジクロロエチレン・千里川流末）	年間の平均値	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
水質汚濁関係業務	健康項目（シス-1,2-ジクロロエチレン・天竺川流末）	年間の平均値 ※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	—	—	—	<0.004	<0.004	<0.004
水質汚濁関係業務	健康項目（シス-1,2-ジクロロエチレン・猪名川利倉）	年間の平均値 国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
水質汚濁関係業務	健康項目（シス-1,2-ジクロロエチレン・神崎川新三国橋）	年間の平均値 府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
水質汚濁関係業務	健康項目（1,1,1-トリクロロエタン・千里川流末）	年間の平均値	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
水質汚濁関係業務	健康項目（1,1,1-トリクロロエタン・天竺川流末）	年間の平均値 ※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
水質汚濁関係業務	健康項目（1,1,1-トリクロロエタン・猪名川利倉）	年間の平均値 国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
水質汚濁関係業務	健康項目（1,1,1-トリクロロエタン・神崎川新三国橋）	年間の平均値 府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
水質汚濁関係業務	健康項目（1,1,2-トリクロロエタン・千里川流末）	年間の平均値	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006

（5）安全で快適な都市環境づくり

主な施策・事業	指標名	説明や数式	令和元年度担当課	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
水質汚濁関係業務	健康項目（1,1,2-トリクロロエタン・天竺川流末）	年間の平均値 ※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	—	—	—	<0.0006	<0.0006	<0.0006
水質汚濁関係業務	健康項目（1,1,2-トリクロロエタン・猪名川利倉）	年間の平均値 国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
水質汚濁関係業務	健康項目（1,1,2-トリクロロエタン・神崎川新三国橋）	年間の平均値 府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
水質汚濁関係業務	健康項目（トリクロロエチレン・千里川流末）	年間の平均値	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
水質汚濁関係業務	健康項目（トリクロロエチレン・天竺川流末）	年間の平均値 ※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	—	—	—	<0.001	<0.001	<0.001
水質汚濁関係業務	健康項目（トリクロロエチレン・猪名川利倉）	年間の平均値 国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0001	0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
水質汚濁関係業務	健康項目（トリクロロエチレン・神崎川新三国橋）	年間の平均値 府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
水質汚濁関係業務	健康項目（テトラクロロエチレン・千里川流末）	年間の平均値	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
水質汚濁関係業務	健康項目（テトラクロロエチレン・天竺川流末）	年間の平均値 ※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	—	—	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005
水質汚濁関係業務	健康項目（テトラクロロエチレン・猪名川利倉）	年間の平均値 国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
水質汚濁関係業務	健康項目（テトラクロロエチレン・神崎川新三国橋）	年間の平均値 府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
水質汚濁関係業務	健康項目（1,3-ジクロロプロペン・千里川流末）	年間の平均値	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
水質汚濁関係業務	健康項目（1,3-ジクロロプロペン・天竺川流末）	年間の平均値 ※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	—	—	—	<0.0002	<0.0002	<0.0002
水質汚濁関係業務	健康項目（1,3-ジクロロプロペン・猪名川利倉）	年間の平均値 国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
水質汚濁関係業務	健康項目（1,3-ジクロロプロペン・神崎川新三国橋）	年間の平均値 府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
水質汚濁関係業務	健康項目（チウラム・千里川流末）	年間の平均値	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
水質汚濁関係業務	健康項目（チウラム・天竺川流末）	年間の平均値 ※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	—	—	—	<0.0006	<0.0006	<0.0006
水質汚濁関係業務	健康項目（チウラム・猪名川利倉）	年間の平均値 国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
水質汚濁関係業務	健康項目（チウラム・神崎川新三国橋）	年間の平均値 府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
水質汚濁関係業務	健康項目（シマジン・千里川流末）	年間の平均値	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
水質汚濁関係業務	健康項目（シマジン・天竺川流末）	年間の平均値 ※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	—	—	—	<0.0003	<0.0003	<0.0003
水質汚濁関係業務	健康項目（シマジン・猪名川利倉）	年間の平均値 国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
水質汚濁関係業務	健康項目（シマジン・神崎川新三国橋）	年間の平均値 府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
水質汚濁関係業務	健康項目（チオベンカルブ・千里川流末）	年間の平均値	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
水質汚濁関係業務	健康項目（チオベンカルブ・天竺川流末）	年間の平均値 ※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002

（5）安全で快適な都市環境づくり

主な施策・事業	指標名	説明や数式	令和元年度担当課	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
水質汚濁関係業務	健康項目（チオベンカルブ・猪名川利倉）	年間の平均値 国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
水質汚濁関係業務	健康項目（チオベンカルブ・神崎川新三国橋）	年間の平均値 府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
水質汚濁関係業務	健康項目（ベンゼン・千里川流末）	年間の平均値	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
水質汚濁関係業務	健康項目（ベンゼン・天竺川流末）	年間の平均値 ※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	—	—	—	<0.001	<0.001	<0.001
水質汚濁関係業務	健康項目（ベンゼン・猪名川利倉）	年間の平均値 国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
水質汚濁関係業務	健康項目（ベンゼン・神崎川新三国橋）	年間の平均値 府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
水質汚濁関係業務	健康項目（セレン・千里川流末）	年間の平均値	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
水質汚濁関係業務	健康項目（セレン・天竺川流末）	年間の平均値 ※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	—	—	—	<0.002	<0.002	<0.002
水質汚濁関係業務	健康項目（セレン・猪名川利倉）	年間の平均値 国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
水質汚濁関係業務	健康項目（セレン・神崎川新三国橋）	年間の平均値 府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
水質汚濁関係業務	健康項目（硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素・千里川流末）	年間の平均値	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	0.53	0.44	0.55	0.18	0.23	0.15
水質汚濁関係業務	健康項目（硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素・天竺川流末）	年間の平均値 ※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	—	—	—	0.31	0.46	0.17
水質汚濁関係業務	健康項目（硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素・猪名川利倉）	年間の平均値 国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	4.1	3.7	5.1	5.1	6.8	7.8
水質汚濁関係業務	健康項目（硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素・神崎川新三国橋）	年間の平均値 府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	2.3	2.6	2.0	2.2	2.3	2.3
水質汚濁関係業務	健康項目（ふっ素・千里川流末）	年間の平均値	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	0.18	0.25	0.12	0.29	0.36	0.32
水質汚濁関係業務	健康項目（ふっ素・天竺川流末）	年間の平均値 ※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	—	—	—	0.12	0.14	0.18
水質汚濁関係業務	健康項目（ふっ素・猪名川利倉）	年間の平均値 国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	0.19	0.19	0.20	0.20	0.22	0.18
水質汚濁関係業務	健康項目（ふっ素・神崎川新三国橋）	年間の平均値 府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	0.10	0.13	0.15	0.16	0.13	0.16
水質汚濁関係業務	健康項目（ほう素・千里川流末）	年間の平均値	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	0.10	0.12	0.09	0.11	0.15	0.18
水質汚濁関係業務	健康項目（ほう素・天竺川流末）	年間の平均値 ※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	—	—	—	0.03	<0.02	0.06
水質汚濁関係業務	健康項目（ほう素・猪名川利倉）	年間の平均値 国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	0.08	0.07	0.09	0.09	0.12	0.09
水質汚濁関係業務	健康項目（ほう素・神崎川新三国橋）	年間の平均値 府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	0.06	0.12	0.17	0.50	0.14	0.20
水質汚濁関係業務	健康項目（1,4-ジオキサン・千里川流末）	年間の平均値	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
水質汚濁関係業務	健康項目（1,4-ジオキサン・天竺川流末）	年間の平均値 ※平成29年1月から環境基準の水域類型指定。	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	—	—	—	<0.005	<0.005	<0.005
水質汚濁関係業務	健康項目（1,4-ジオキサン・猪名川利倉）	年間の平均値 国実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
水質汚濁関係業務	健康項目（1,4-ジオキサン・神崎川新三国橋）	年間の平均値 府実施	環境部 環境政策課 （環境保全係）	mg/ℓ	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
水質汚濁関係業務	地下水汚染 （環境基準超過地点数／測定地点数）	ダイオキシン類調査　1地点を含む	環境部 環境政策課 （環境保全係）	%	13	20	13	15	18	20

（5）安全で快適な都市環境づくり

主な施策・事業	指標名	説明や数式	令和元年度担当課	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
5-2都市・生活型公害対策の推進										
騒音・振動関係業務	自動車騒音測定 地点数		環境部 環境政策課 （環境保全係）	ヵ所	6	6	7	7	7	7
騒音・振動関係業務	道路に面する地域の環境基準達成率 （面的評価）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	%	92.4	91.4	91.9	92.2	94.1	95.0
騒音・振動関係業務	環境騒音評価住居等戸数		環境部 環境政策課 （環境保全係）	戸	33,283	33,337	33,188	33,157	25,577	25,577
騒音・振動関係業務	昼夜とも環境基準値以下の戸数		環境部 環境政策課 （環境保全係）	戸	30,738	30,483	30,483	30,574	24,064	24,292
騒音・振動関係業務	環境騒音平均値 （道路：住居系 昼間）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	dB	69	69	70	69	68	68
騒音・振動関係業務	環境騒音平均値 （道路：住居系 夜間）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	dB	65	65	67	65	64	64
騒音・振動関係業務	環境騒音平均値 （道路：商工業系 昼間）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	dB	69	68	70	70	70	70
騒音・振動関係業務	環境騒音平均値 （道路：商工業系 夜間）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	dB	66	64	65	65	66	66
騒音・振動関係業務	航空機騒音測定 地点数		環境部 環境政策課 （環境保全係）	ヵ所	8	8	8	8	8	8
騒音・振動関係業務	航空機騒音平均値 （ローズ文化ホール）	平成25年度から評価方法がWECPNLからLden[dB]に変更 【参考】 平成2年度値：86.6WECPNL	環境部 環境政策課 （環境保全係）	WECPNL	79.7	79.8	79.9	80.1	79.8	79.5
				dB	65	65	65	65	65	65
騒音・振動関係業務	航空機騒音平均値 （服部寿センター）	平成25年度から評価方法がWECPNLからLden[dB]に変更 【参考】 平成2年度値：81.1WECPNL	環境部 環境政策課 （環境保全係）	WECPNL	75.6	75.7	75.7	76.0	76.0	75.7
				dB	62	62	62	62	62	62
騒音・振動関係業務	航空機騒音平均値 （青年の家いぶき）	平成25年度から評価方法がWECPNLからLden[dB]に変更 【参考】 平成2年度値：80.2WECPNL	環境部 環境政策課 （環境保全係）	WECPNL	75.5	75.4	75.4	75.6	75.9	75.8
				dB	61	61	61	61	61	61
騒音・振動関係業務	航空機騒音平均値 （豊島温水プール）	府実施 平成25年度から評価方法がWECPNLからLden[dB]に変更 【参考】 平成2年度値：89.4WECPNL	環境部 環境政策課 （環境保全係）	WECPNL	80	80	81	81	81	81
				dB	65	65	65	65	65	65
騒音・振動関係業務	航空機騒音平均値 （野田センター）	府実施 平成25年から評価方法がWECPNLからLden[dB]に変更 【参考】 平成2年度値：82.7WECPNL	環境部 環境政策課 （環境保全係）	WECPNL	78	78	78	78	78	77
				dB	63	63	63	63	63	63
騒音・振動関係業務	航空機騒音平均値 （原田センター）	関西エアポート㈱実施 （年間値） 平成25年度から評価方法がWECPNLからLden[dB]に変更 【参考】 平成2年度値：79.6WECPNL	環境部 環境政策課 （環境保全係）	WECPNL	77.3	77.0	76.7	76.8	77.7	77.7
				dB	62	61	61	61	62	62
騒音・振動関係業務	航空機騒音平均値 （利倉センター）	関西エアポート㈱実施 （年間値） 平成25年度から評価方法がWECPNLからLden[dB]に変更 【参考】 平成2年度値：88.2WECPNL	環境部 環境政策課 （環境保全係）	WECPNL	83.2	83.3	83.6	83.9	83.9	83.6
				dB	67	67	67	67	67	67
騒音・振動関係業務	航空機騒音平均値 （豊南小学校）	関西エアポート㈱実施 （年間値） 平成25年度から評価方法がWECPNLからLden[dB]に変更 【参考】 平成2年度値：79.5WECPNL	環境部 環境政策課 （環境保全係）	WECPNL	74.7	75.1	75.5	75.6	75.6	75.3
				dB	61	61	62	62	62	62
公害関係苦情処理業務	苦情件数（大気汚染）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	件	25	15	20	21	19	27
公害関係苦情処理業務	苦情件数（水質汚濁）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	件	0	3	1	0	1	0
公害関係苦情処理業務	苦情件数（騒音）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	件	51	54	51	62	66	73
公害関係苦情処理業務	苦情件数（悪臭）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	件	16	16	19	16	29	23
公害関係苦情処理業務	苦情件数（振動）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	件	9	6	3	4	7	5
公害関係苦情処理業務	苦情件数（その他）		環境部 環境政策課 （環境保全係）	件	1	0	2	5	1	1

（5）安全で快適な都市環境づくり

主な施策・事業	指標名	説明や数式	令和元年度担当課	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
環境保全条例推進	環境配慮実績 緑地面積、届出（開発面積比）（除敷地造成工事・増築工事）	豊中市環境の保全等の推進に関する条例に基づく	環境部 環境政策課	%	15.3	22.1	19.9	13	18.6	10.9
環境保全条例推進	環境配慮実績 緑地面積、届出（開発面積）（除敷地造成工事・増築工事）	豊中市環境の保全等の推進に関する条例に基づく	環境部 環境政策課	㎡	115,680	87,641	81,435	70,350	140,594	125,486
環境保全条例推進	環境配慮実績 緑地面積、届出（緑地面積）（除敷地造成工事・増築工事）	豊中市環境の保全等の推進に関する条例に基づく	環境部 環境政策課	㎡	17,755	19,455	16,247	9,186	26,230	13,746
環境保全条例推進	環境配慮実績（除敷地造成・増築）（緑地等を含む透水面積）	豊中市環境の保全等の推進に関する条例に基づく	環境部 環境政策課	㎡	31,847	26,743	29,653	15,730	34,138	24,054
環境保全条例推進	環境配慮実績（除敷地造成・増築）（透水性舗装）	豊中市環境の保全等の推進に関する条例に基づく	環境部 環境政策課	㎡	8,804	7,005	8,031	2,605	5,560	3,191
環境保全条例推進	環境配慮実績（除敷地造成・増築）（浸透マス）	豊中市環境の保全等の推進に関する条例に基づく	環境部 環境政策課	基	340	53	135	163	116	150
環境保全条例推進	環境配慮実績（除敷地造成・増築）（トレンチ）	豊中市環境の保全等の推進に関する条例に基づく	環境部 環境政策課	m	2,073	235	320	290	467	297

5-3健全な水環境・水循環の創出

透水性舗装の延長	透水性舗装の延長		環境部 環境政策課	㎡	8,804	7,005	8,031	2,605	5,560	3,191
雨水貯留タンクの助成	雨水貯留タンク設置件数（助成に係るもの）	設置件数（単年）	環境部 環境政策課	件	36	15	11	9	15	6
		容量（単年）	環境部 環境政策課	ℓ	9,298	4,980	2,157	2,455	3,670	1,230
環境保全条例推進	環境配慮のうち雨水利用に関するもの	雨水利用の件数（単年）	環境部 環境政策課	件	1	1	2	3	1	1
		容量（単年）	環境部 環境政策課	ℓ	10,000	6,000	280	350	104,000	19,600
環境保全条例推進	雨水再利用件数（年度ごと）（民間事業）		環境部 環境政策課	件	1	1	1	3	0	0
環境保全条例推進	雨水再利用件数（年度ごと）（公共事業）		環境部 環境政策課	件	0	0	1	0	1	1
環境保全条例推進	雨水再利用量（年度ごと）（民間事業）		環境部 環境政策課	t	10	6	0.08	0.35	0.00	0.00
環境保全条例推進	雨水再利用量（年度ごと）（公共事業）		環境部 環境政策課	t	0	0	0.2	0	104	19.6
—	水処理の高度処理	庄内処理場：処理水量	上下水道局 技術部 下水道施設課	m^3/年	5,818,400	7,046,000	6,631,400	7,697,600	6,536,100	7,326,200
—	下水処理場の水質（庄内処理場）	BOD流入水（年度平均値）	上下水道局 技術部 下水道施設課	mg/ℓ	140.00	130.00	140.00	120.00	133.00	137.00
—	下水処理場の水質（庄内処理場）	BOD放流水（年度平均値）	上下水道局 技術部 下水道施設課	mg/ℓ	4.70	4.60	4.20	4.00	5.80	4.40
—	下水処理場の水質（庄内処理場）	COD流入水（年度平均値）	上下水道局 技術部 下水道施設課	mg/ℓ	77.00	76.00	73.00	73.00	76.00	79.00
—	下水処理場の水質（庄内処理場）	COD放流水（年度平均値）	上下水道局 技術部 下水道施設課	mg/ℓ	9.10	8.90	8.20	7.90	8.80	7.80
—	下水処理場の水質（庄内処理場）	SS流入水（年度平均値）	上下水道局 技術部 下水道施設課	mg/ℓ	97.00	103.00	96.00	106.00	111.00	111.00
—	下水処理場の水質（庄内処理場）	SS放流水（年度平均値）	上下水道局 技術部 下水道施設課	mg/ℓ	2.40	2.60	1.60	1.70	2.10	1.60
—	下水処理場の水質（庄内処理場）	T-P流入水（年度平均値）	上下水道局 技術部 下水道施設課	mg/ℓ	2.20	2.60	2.70	2.70	2.70	2.60
—	下水処理場の水質（庄内処理場）	T-P放流水（年度平均値）	上下水道局 技術部 下水道施設課	mg/ℓ	0.52	0.57	0.64	0.60	0.50	0.52
—	下水処理場の水質（庄内処理場）	T-N流入水（年度平均値）	上下水道局 技術部 下水道施設課	mg/ℓ	24.00	25.00	25.00	26.00	26.00	26.00
—	下水処理場の水質（庄内処理場）	T-N放流水（年度平均値）	上下水道局 技術部 下水道施設課	mg/ℓ	6.50	6.30	6.20	6.70	6.60	6.20
—	下水処理場の水質（庄内処理場）	日平均水量（年度平均値）	上下水道局 技術部 下水道施設課	m^3/日	55,700	56,400	55,900	56,000	56,000	58,600
—	小水力発電販売電力量		上下水道局 経営部 経営企画課	千kWh	808	806	923	904	910	913

（５）安全で快適な都市環境づくり

主な施策・事業	指標名	説明や数式	令和元年度担当課	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
—	地下水使用量	事業場等　※平成14年2月から大阪国際空港が池田市の上水道に切り替っている府農林水産環境部	上下水道局 経営部 お客さまセンター 窓口課	m^3/年	740,296	762,188	785,112	739,104	769,155	739,246
—	地下水使用量	事業場等　府農林水産環境部	上下水道局 経営部 お客さまセンター 窓口課	ヵ所	25	27	27	27	25	29
—	1人1日平均給水量		上下水道局 経営部 お客さまセンター 窓口課	ℓ	307	305	303	301	300	296
—	1件(戸)1ヵ月当平均水道使用量	家事用	上下水道局 経営部 お客さまセンター 窓口課	m^3	16.03	15.84	15.78	15.74	16.6	16.3
—	1件(戸)1ヵ月当平均水道使用量	官公署用	上下水道局 経営部 お客さまセンター 窓口課	m^3	131.47	131.9	129.15	129.75	85.81	78.2
—	1件(戸)1ヵ月当平均水道使用量	業務用	上下水道局 経営部 お客さまセンター 窓口課	m^3	73.59	73.99	72.19	73.83	35.97	40.3
—	1件(戸)1ヵ月当平均水道使用量	会社用	上下水道局 経営部 お客さまセンター 窓口課	m^3	223.44	219.18	208.94	202.48	126.58	120.6
—	1件(戸)1ヵ月当平均水道使用量	計	上下水道局 経営部 お客さまセンター 窓口課	m^3	17.53	17.23	17.12	17.02	18.6	18.3
—	家事用1人1日当平均水道使用量		上下水道局 経営部 お客さまセンター 窓口課	ℓ	258	258	257	258	241	239
—	水処理の高度処理	原田処理場：処理水量	上下水道局 技術部 猪名川流域下水道 事務所 維持課	m^3/年	77,961,081	79,260,179	80,035,707	79,871,180	81,297,469	80,360,481
—	下水処理場の水質 (原田処理場)	BOD流入水（年度平均値）	上下水道局 技術部 猪名川流域下水道 事務所 維持課	mg/ℓ	140	180	170	160	170	140
—	下水処理場の水質 (原田処理場)	BOD放流水（年度平均値）	上下水道局 技術部 猪名川流域下水道 事務所 維持課	mg/ℓ	2.8	2.6	2.5	2.4	5.0	4.9
—	下水処理場の水質 (原田処理場)	SS放流水（年度平均値）	上下水道局 技術部 猪名川流域下水道 事務所 維持課	mg/ℓ	2	2	2	1.4	2.9	3
—	下水処理場の水質 (原田処理場)	T-P流入水（年度平均値）	上下水道局 技術部 猪名川流域下水道 事務所 維持課	mg/ℓ	3.7	3.8	3.7	3.5	3.4	3.5
—	下水処理場の水質 (原田処理場)	T-P放流水（年度平均値）	上下水道局 技術部 猪名川流域下水道 事務所 維持課	mg/ℓ	1.1	1.0	1.0	1.0	1.0	1.1
—	下水処理場の水質 (原田処理場)	T-N流入水（年度平均値）	上下水道局 技術部 猪名川流域下水道 事務所 維持課	mg/ℓ	29	30	30	29	29	28
—	下水処理場の水質 (原田処理場)	T-N放流水（年度平均値）	上下水道局 技術部 猪名川流域下水道 事務所 維持課	mg/ℓ	12	12	9.3	8.6	9.6	10
—	下水処理場の水質 (原田処理場)	日平均水量（年度平均値）	上下水道局 技術部 猪名川流域下水道 事務所 維持課	m^3/日	294,383	301,153	296,970	294,280	292,760	290,475

その他

指標名	説明や数式	令和元年度担当課	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人口総数	豊中市統計書	総務部 行政総務課	人	394,983	394,495	396,014	397,490	398,295	400,329
世帯数	豊中市統計書	総務部 行政総務課	世帯	172,225	170,274	171,791	173,442	174,578	176,976
市役所面積 （第一庁舎）		総務部 行政総務課	㎡	10,058	10,058	10,058	10,058	10,058	10,058
市役所面積 （第二庁舎）		総務部 行政総務課	㎡	11,359	11,359	11,359	11,359	11,359	11,359
市役所面積 （その他別館等）	市役所別館、旧子育て支援センター （平成22年～）	総務部 行政総務課	㎡	2,929	2,929	2,929	2,929	2,929	2,929
市役所面積 （庄内駅前庁舎）	庄内駅前庁舎（平成30年度～）	総務部 行政総務課	㎡2	1,187	1,187	1,187	1,187	1,187	1,187
市役所面積 （合計）		総務部 行政総務課	㎡	24,346	24,346	24,346	24,346	24,346	24,346

3．市民・事業者の取組み状況

市民団体、事業者、NPO のみなさんからお知らせいただいた、令和元年度（2019 年度）の環境活動の概要を掲載しています。

環境目標１から５に分類して掲載しております。関連する環境目標が、複数ある取組みもありますが、環境目標番号の早い方に掲載し、表の右に同番号を示しています。

環境目標① よりよい環境をめざして多様な主体のパートナーシップで取り組む

団体名	活動概略	関連環境目標				
		1	2	3	4	5
一般社団法人豊中青年会議所	◆とよなか万博の開催 地域発展のため、音楽の提供と飲食ブースを展開し、それに合わせＳＤＧｓブースも展開し、市民のみなさまにＳＤＧｓを周知した。	○				
	◆自治会大会議 地域の自治会の代表の方に集まっていただき、地域での課題の話し合いを実施した。	○				
	◆ＳＤＧｓの勉強 体内向けに、ＳＤＧｓを一から勉強し、さらにそれらを企業や個人でどのように実践していけるかを学ぶ機会を設けた。	○				
大阪府立桜塚高等学校	◆清掃活動 野球部が阪急岡町駅から本校までとその周辺を週に２，３度ゴミ拾い。	○				
	◆清掃活動 令和元年１１月 に豊中市立第３中学校地域教育協議会の清掃活動に自治会と有志クラブが参加。	○				
ガールスカウト豊中地区協議会	◆とよなか市民環境展へ出展 １１月１５日（金）・１６日（土）豊中市立豊島体育館で開催された「とよなか市民環境展」の展示コーナーで、活動紹介・展示とクラフト体験を行った。	○				
	◆報告会 「ガールスカウトいきいき発表会」の実践報告会。 通年、大阪府下のスカウトが発表。各地域の中・高校生年代が中心となり「みどり」をテーマとして、環境問題について調査・研究し、地域の方々と一緒に考える活動を継続して行う。	○			○	
株式会社日水コン大阪支所	◆社会貢献活動（環境学習） 8月に全国上下水道コンサルタント協会の環境学習活動として、交野市内で実施した「しぜん探検隊」の企画・運営を中心となって行った。	○				○
株式会社阪急阪神百貨店千里阪急	◆豊中市主催の清掃キャンペンに参加 11/8に行われた美化推進重点地区駅頭キャンペーンに参加し清掃活動を行った。	○				
	◆周辺地域の清掃活動 毎月第２木曜日に千里阪急周辺地域の清掃活動を行っている。	○				
関西電力送配電株式会社 大阪支社 北摂コミュニケーショングループ	◆とよなか市民環境展へ出展 11/15～16、豊島体育館で開催された、「とよなか市民環境展2019」参加。電気と環境クイズ、電気の働きパネルなど体験コーナーを出展	○				
	◆事業所周辺清掃ならびに構内清掃 事業所周辺ならびに構内清掃を１回／月実施	○				
近畿地方整備局猪名川河川事務所園田出張所	◆いながわ体験フェスタ R1年8月24日（土）アステ川西アステホルにて猪名川水環境交流会を開催。 神崎川水質汚濁対策連絡協議会猪名川分科会主催	○				○
	◆猪名川流域のアユの産卵場づくり R1年11月10日(日)藻川・中園橋付近（左岸）で、アユの産卵場をつくる体験をする。 猪名川漁協と水濁協猪名川分科会主催	○			○	
近畿地方整備局猪名川河川事務所園田出張所	◆猪名川公園のヒメボタル幼虫調査観察会 R1年12月7日(土)、14日(土)、猪名川公園でヒメボタルの幼虫をつかまえるためのトラップの設置と回収。 水濁協猪名川分科会主催	○				
生活協同組合コープこうべ	◆アジェンダ２１への参加 アジェンダ21に理事として参加しています。	○				
とよなか消費者協会	◆環境に関するパネル展示 「地産地消の推進と大阪産農産物」（6月1日～29日）、「上下水道のこれまでとこれから」（8月1日～9月16日）、「災害に備えて」（9月18日～30日）、「省エネのくらし」（2月1日～27日）、「循環型社会の構築」（3月1日～30日）	○				
	◆とよなか市民環境展2019参加 11月15･16日「食品ロスの削減について」のパネル展示	○		○		

団体名	活動概略	関連環境目標				
		1	2	3	4	5
豊中市立せんなりこども園（こども未来部　こども事業課）	◆とよなか市民環境展へ出展 ・11/15～16 豊島体育館で開催された「とよなか市民環境展２０１９」の展示コーナーで、南部7園のこども園の中の一部として取り組みを掲示した。 ・ゴーヤを育てる取り組みを「豊中市民環境展2019」で掲示した。	○			○	
豊中千里ロータリークラブ	◆社会を美しくする運動 千里中央駅にて「社会を明るくする運動」街頭啓発活動に参加した。	○				
豊中造園建設業組合	◆とよなか市民環境展へ出展 11/16～17、豊島体育館で開催された、「とよなか市民環境展2018」の展示コーナーで、各事業所にて余った造園資材（肥料や植物等）の無料頒布を行いました。	○				
豊中ヒメボタルを守る会	◆「とよなか市民環境展2019」 11月15日　10:30～15:30 11月16日　10:00～15:30 出展説明者　4名参加	○				
豊中南ライオンズクラブ	◆庄内駅近辺清掃活動 11/30（土）豊友少年軟式野球チームと北摂少年少女サッカーチームの児童及び父兄と一緒に野田中央公園から庄内駅付近一帯を清掃した。	○				
日本郵便株式会社 豊中南郵便局	◆局周辺の清掃活動 当郵便局周辺のゴミ拾いを行った。	○				
パンダッコ	◆豊中産業フェア	○				

環境目標② 1人あたり温室効果ガス排出量（t-CO_2）を令和9年度（2027年度）までに平成2年度（1990年度）比32.1%削減し、低炭素社会をめざす

団体名	活動概略	関連環境目標				
		1	2	3	4	5
一般財団法人日本気象協会関西支社	◆節電の実施 昼休みの1/2消灯の実施、冷・暖房の適温運用、クールビズの実施、夜間コピー機の主電源OFFを実行しています。		○			
	◆気象予測サービスを通じた、省エネ・省資源社会への貢献 気象予測に基づく商品需要予測の提供、エネルギー事業者に対するコンサルティング、気候変動適応策・緩和策支援等の事業活動を通じて、CO2削減や食ロス削減等の省エネ・省資源社会推進に貢献しています。		○	○		
医療法人篤友会　坂本病院	◆節電の実施 30年度比±3%の範囲を目標に、空調機の運転時間・微調整による節電を実施した。		○			
株式会社日水コン大阪支所	◆電力使用量の抑制 前年度と比較して12.2%の大幅削減となり、目標（前年度水準）を達成した。		○			
公益財団法人とよなか国際交流協会	◆断熱素材、カーテンの設置 窓に断熱素材を貼り付けたり、カーテンをつけることにより、省エネに取り組んでいる。		○			
	◆エアコンの適温使用 エアコンの使用について、適温で使用していただくよう施設利用の市民に呼び掛けている。		○			
阪急電鉄株式会社豊中駅管区	◆節電の実施 春秋（端境期）における社内温度について、なるべく空調を使用せずに車窓開放を基本として調節し節電に取り組んでいる。		○			
	◆節電の実施 駅構内の従業員スペースにおいても、不要な照明は「切」を徹底し、節電に対する意識を高めている。		○			
履正社学園豊中中学校・履正社高等学校	◆節電の実施 教室の電灯と空調機の設定温度、冷房28℃・暖房20℃へのはたらきかけと節電のお願い。		○			

環境目標③発生抑制・再使用と質の高いリサイクル（再生利用）の推進により、ごみの焼却処理量を令和9年度（2027年度）まで平成28年度（2016年度）比8%削減し、循環型社会の構築をめざす

団体名	活動概略	関連環境目標				
		1	2	3	4	5
一般財団法人日本気象協会関西支社	◆３Rの促進 分別用のゴミ箱を配置して、リサイクルを促進しています。			○		
株式会社ダイエー	◆フードバンク活動への実施 毎月第３月曜日から翌日曜日まで実施しているフードドライブでお客さまにご協力いただいた食品と、店舗で発生した販売期限切れ商品（賞味期内）をマッチングして社会福祉協議会へ寄付			○		
	◆店頭での資源回収の実施 牛乳パック、アルミ缶、レジ袋、食品トレー、ペットボトルの回収促進 ※回収物は店舗によって異なる			○		
	◆食品残差のリサイクル実施 食品残渣を堆肥にして（リサイクルして）、その堆肥を使用して生産された野菜を店舗で販売			○		
株式会社日水コン大阪支所	◆コピー用紙使用の削減 前年度と比較して、2.3%の削減を達成した。			○		
株式会社二葉　ホテルアイボリー	◆食品ロスの削減 真空パックや冷蔵冷凍庫の利用、提供食数、量の適正化、残食品の持帰り			○		
	◆配食の包装の簡易化 レジ袋をテープなどに変更			○		
公益財団法人とよなか国際交流協会	◆子ども服のリサイクルコーナーの設置 事務所前に子ども服のリサイクルコーナーを設置している（常設）。			○		
社会福祉法人豊中市社会福祉協議会	◆食品ロスの取り組み 豊中市環境部減量計画課等と連携した、フードドライブの取り組みを行っている。提供された食材等は校区福祉委員会活動や市内のこども食堂、生活困窮者支援にも活用している。			○		
生活協同組合コープこうべ	◆とよなか市民環境展へ出展 ・リサイクル事業の内容のパネル展示 ・リサイクルした物が何に生まれ変わるのか？のクイズを実施 ・SDGs のパネル展示			○		
豊中エコショップ制度運営協議会	◆豊中エコショップ制度運営協議会役員会の開催 新規申請店舗を認定するとともに、制度及び認定店舗の周知に係る協議を行った。（7/31、11/12、1/29、3/31（書面会議））			○		
	◆豊中エコショップ意見交換会の開催 エコショップ認定店舗間で取組み内容等の情報を共有するとともに、事業者同士の横のつながりを育むことを目的に、意見交換会を開催した。（9/6、2/14）			○		
	◆イベントへの出店 くらしかん祭り（10/26）、とよなか市民環境展（11/15、16）、豊中市立生活情報センターくらしかん「生活情報広場」におけるパネル展（3/1～3/31）などにてパネル展示を行った。			○		
豊中市商店会連合会	◆エコバッグ等の活動・推進 個店レベルでは、エコバッグ等の活動・推進をしております。			○		
とよなか消費者協会	◆牛乳パック・ダンボル・布の回収 毎月第2・第4水曜日に市内量販店約5店およびくらしかんリユースバザー等で回収。牛乳パック4,040kg回収。			○		
	◆くらしかんリユースバザーの開催 年5回（4・7・9・11・2月）実施、14人×5回＝70人従事。			○		
豊中市消防団	◆会議 昨年１０月頃から会議用のお茶をペットボトルから紙パックに変更した。			○		
	◆訓練 ごみの分別徹底とごみの削減に努めている。			○		
パンダッコ	◆エコバック エコバックを年２回ほどコッペパンを2,500円以上お買い上げのお客様へ進呈			○		
履正社学園豊中中学校・履正社高等学校	◆ごみの分別 ごみの分別による、リサイクルでのできるかぎりの試み			○		

環境目標④ みどり率27%で心豊かな豊中らしいまちをめざす

団体名	活動概略	関連環境目標				
		1	2	3	4	5
一般社団法人豊中青年会議所	◆農業体験 農園を使用し、子供たちに野菜を育て、収穫、料理までを体験していただき、食の大切さを知っていただいた。				○	
ガールスカウト豊中地区協議会	◆緑の募金活動実施 緑の募金活動（春季４・５月 秋季 ９・１０月）の実施				○	
	◆地域に緑をふやそう ２００８年度より新千里東町こぼれび通りに、紫陽花を植える運動に参加。６月に２ﾘｯﾄﾙのペットボトルに紫陽花の挿し木をし、１１月にこぼれび通りに植える。				○	
	◆自然に親しむ キャンプ、ハイキングなどを通して、自然との共生を学ぶ				○	
	◆里山活動 刀根山高校裏山の里山活動支援				○	
島熊山の雑木林を守る会	◆毎月第３日曜14:00～16:00 林内の清掃、溝の落ち葉除去、自然調査を実施。				○	
	◆毎月第４水曜14:00～15:00 緑丘配水場内のビオトープ池で自然調査と池の掃除を実施。				○	
	◆毎月第２日曜10:00～12:30 林内の竹林間伐、草刈り、林床整備などを実施。				○	
	◆自然観察会 11月に西丘小学校３年生の自然観察会を依頼され実施				○	
豊中生物同好会	◆島熊山緑地の保全活動 毎月の幹事会、里山の雑木林の保全活動。年3回発行のニュースレターに「島熊山の自然」記事執筆。				○	
	◆自然観察会での解説等 4/12島熊山の自然 7/10八中２年生の島熊山竹間伐実習指導 9/20服部緑地での「秋の鳴く虫」				○	
	◆勝尾寺での探鳥会 5/18～5/19 夕方集合、宿坊にて野鳥の話、翌日早朝4時起床、夜明けとともに始まる小鳥のコーラスを楽しむ				○	
	◆サイエンスフェスタ 1/25蛍池の教育センターにて「北摂の野鳥」 標本を中心に展示発表。				○	
	◆標本整理 毎月蛍池の教育センターの科学教室にて、植物や昆虫、野鳥の標本の作製や整理作業。				○	
豊中ヒメボタルを守る会	◆ヒメボタル発光数調査 4月27日調査開始～6月20日調査終了、調査日数55日、 初見日5月11日～最終日6月18日、発行日数39日間、 発光数合計7,034匹、1日平均発光数180匹、400匹以上6日間、 最高発行日6月3日　703匹、調査員延べ110名、多数のカメラマンが長時間居座り観察者と混雑し、危険な日がある。				○	
	◆ヒメボタル市民学習会、観察会 5月18日　学習会・・野畑図書館2階集会室　18:45～19:00 現地観察会・・春日町3丁目の現地　20:10～21:00 参加者・・112名（子供41名、大人71名） 5月19日　学習会・・野畑図書館2階集会室　18:45～19:00 現地観察会・・春日町3丁目の現地　20:10～21:00 参加者・・110名（子供35名、大人75名）				○	
	◆ヒメボタル保護者会の会議 野畑図書館２階集会室 4月17日・出席11名・7月10日・出席9名、9月11日・出席12名、12月11日・出席9名、2月12日・出席11名 合計5回実施・出席者52名				○	
	◆生息地の管理作業 2019年4月22日・11名、6月17日・13名、6月22日・5名、9月27日・17名、11月6日・17名、2020年1月17日・16名、2月14日・17名、2月21日・15名 合計17回実施				○	
	◆生息地の管理小作業 2019年4月26，28日，10月18，21，25日，11月２，９日，12月8，12，15，16，17，1月11，13日，3月8，9日 合計17回実施				○	
	◆児童「ヒメボタル幼虫調査」 11月23日　参加者　幼児4名、子供14名、大人8名、援助者10名 12月7日　参加者　幼児4名、子供14名、大人9名、援助者10名、幼虫17匹捕獲Ｃ地区に放す				○	

環境目標⑤ 環境基準の達成状況 100 %で快適な都市環境をめざす

団体名	活動概略	関連環境目標				
		1	2	3	4	5
大阪ガス株式会社	◆豊中市民環境展に出展 11/15～16 豊島体育館で開催された「とよなか市民環境展２０１９」に出展。小学生向けの環境パネルの展示と展示に基づいたクイズを実施した。					○
	◆市内小学校で環境授業実施 小学校４校１１クラスにエコクッキング、１校４クラスに環境教育授業を実施					○

4．「とよなかの環境 2019 年度速報版」への主な市民意見

●市民意見募集 結果 まとめ

ホームページ、イベント（とよなか市民環境展等）にて公表し、意見募集を行いました。

192 件（159 人）の意見がありました。市民意見は自由記述であったため、環境目標ごとに分類し、意見の一部を掲載しています。

環境目標	内容および件数	
目標 1 4 件	• 協働の必要性について	3 件
	• 普及啓発について	1 件
目標 2 9 件	• CO_2削減に向けた取組みについて	4 件
	• 普及啓発について	3 件
	• 行政への要望について	2 件
目標 3 16 件	• ごみの分別について	2 件
	• リサイクル等の推進について	4 件
	• 食品ロス削減の推進について	3 件
	• ごみの減量について	2 件
	• 行政への要望について	5 件
目標 4 8 件	• 緑化の推進について	5 件
	• 普及啓発について	1 件
	• 行政への要望について	1 件
	• その他（目標 4）	1 件
目標 5 7 件	• 取組み内容について	3 件
	• 都市環境について	4 件
その他 14 件		14 件

(1) 目標１　～環境政策を推進するための総合的なしくみづくり～

◎協働の必要性について ----------

- 市民協働の取り組みで、主体的に取り組んでもらうことが大事だと思います。
- 目標１が進み、規模が大きくなることで目標２～５もおのずと強化されていくと考えるため、市民の理解はもちろんのこと、行動していただく動機が必要不可欠な分野だと思う。

◎普及啓発について ----------

- パートナーシップのことはほとんど知らなかったがよい取り組みだと思った。ユーチューブだけでなく広報でも取り上げて、特集などで周知を図ってほしい

(2) 目標２　～持続可能な低炭素社会づくり～

◎CO_2削減に向けた取組みについて ----------

- できる限りパッケージの管理をする（紙製品のパッケージを増やす）ことが必要
- 省エネルギー対策として、空調・照明・OA 機器の適正利用が必要
- 自然の力を利用する技術開発が必要
- しっかり取り組んでいかないと実生活に支障が出ることが最近の暑さからも実感できる。

◎普及啓発について ----------

- 買い物の過剰包装はしないほうがいいと思うがレジ袋削減（＝ビニール袋削減）はやり方間違えていると思います。レジ袋を紙にするとかマイバックの人へのご褒美（ポイントなど）がないと効果がないです。
- １人１人ができることは限られているとしてもたくさんの人が具体的な取り組みをするなら少しは役立つと思う。
- 地球温暖化防止（現状報告）と SDGs の関係や、SDGs の取組みについて、積極的な広報活動をしてほしい。小中学校への環境問題に関する教育も必要である。

◎行政への要望について ----------

- 豊中市役所は行政機関として多種多様な事業を行うため、自ら大規模な温室効果ガス排出事業者と考えられる。市民に対し、市役所内の自主的かつ積極的なアピールをし賛同してもらう必要がある。
- 温暖化防止は地球規模の問題。パネルは家庭での努力が強調されているが、プラスチックの製造を規制するなど、作る側にも売る側にも問題があると思う。

（3） 目標３　～廃棄物の減量および適正処理を通じた循環型社会づくり～

◎ごみの分別について ----------

- プラスチックごみの選別が必要

◎リサイクル等の推進について ----------

- 豊中市は住んでる市民が大阪でも多いと思うので、ゴミが資源にかわる真価が進むととても地球に貢献できる、見本になれると思います。
- プラスチックごみのリサイクルが必要
- 子供服の回収ボックスはどこにありますか？たくさんあって捨てるのももったいなくて困っています。
- 高齢者が片付けられずごみ屋敷になっているところがあるので資源の再利用ができればと思います。

◎食品ロス削減の推進について ----------

- 食品ロスの取り組みが重要だと思う。
- フードドライブなど、家庭で不要なものを必要な方に使っていただく取り組みはいいと思う。
- フードドライブを知らなかった。②③について、何らかのポイントを付与すればごみを減らすことができると思った。（現実的にはコストがかかるので不可能ですが）

◎ごみの減量について ----------

- コロナの影響でごみが増えていると思うので、ごみの減量をがんばってください。

◎行政への要望について ----------

- 家庭で出るごみを減らす努力だけでなく、企業もはがしやすいラベル、分別しやすい容器などを使うよう市で協力を求めてほしい。
- ごみの分別が分かりにくい。ある程度の大型ゴミも無料で回収してほしい
- ごみ袋のタイプを増やしてほしい。袋の口が結びにくいので、手のついているタイプなどを作ってほしい。
- 家庭ごみ削減のためにゴミの分別をより明確化してほしい。
- ごみの集積場所での猫、カラスなどのごみ荒らしが多いのでゴミステーション制度を作り、管理してもらえる市民や団体へごみ袋の無料配布をして、ごみが正しくきれいに出されるようにしてみてはどうでしょうか？

（4） 目標４　～都市における自然との共生をめざした社会づくり～

◎緑化の推進について ----------

- 高層マンションが増え、相対的にみどりが激減している。決して緑が多い街とは言えない。公園も箕面市に比べると小規模なものばかり。
- 最近緑が少なく感じます。公園や憩いの場に緑を！
- 連続した広大な空き地の取得・緑化が必要
- みどりが多くて環境もいい方だと思うので、いっそう続けることが大事だと思う。

◎普及啓発について ----------

- 公園にゴミが多いことが気になります。（タバコなど）小さい子供たちが遊んだりするので１人１人の意識を高めたほうがいいと思います。

◎行政への要望について ----------

- 街路樹にもっと水や肥料をやってほしい。

（5） 目標５　～安全で快適な都市環境づくり～

◎都市環境について ----------

- 空港の騒音は螢池地域もかなりひどく、自動車の音すら聞こえないほどです。
- 空き家があったりするので持ち主の管理をきれいにするようにしてほしい。道路横や溝が汚い所を歩いていると気になるので、時々きれいにしてほしい。
- 全国的に高温の都市で有名になっている。取り組みで気温が下がれば、効果をアピールできる。
- 水路や川にゴミが目に付くことがある。個人個人の心掛けが大事だが、市の取り組みとして、川の掃除など市民に呼び掛けたりしてはどうか。安全対策も必要となる。

◎取組み内容について ----------

- 子供がいても安心して暮らせるぐらいの環境を作ることに資源を投入することが必要。
- 安全な生活に向けてもっと力を入れてほしい

５．Ｒ１年度(2019 年度)環境関連審議会等の開催経過および委員名簿

○環境審議会の開催経過

会　議　名	開催月日	会　議　内　容
第 12 期第 5 回　環境審議会	令元 7/26	◇第３次豊中市環境基本計画の進行管理について ◇協働の取組みに関する意見交換会について
第 12 回第 6 回環　境審議会	令元 10/31	◇第３次豊中市環境基本計画の進行管理について ・協働の取組みに関する意見交換会の実施結果について ・とよなかの環境（中間報告）案について ◇その他
第 12 回第 7 回　環境審議会	令 2 2/5	◇第３次豊中市環境基本計画の進行管理について ・令和元年度「協働の取組みに関する意見交換会」のアンケート結果について ・豊中市環境報告書「とよなかの環境（2018 年度評価と今後に向けて)」（案）について ◇令和 2 年度（2020 年度）「協働の取組みに関する意見交換会」のテーマについて ◇その他

○環境基本計画推進部会の開催経過＊

会　議　名	開催月日	会　議　内　容
第 12 期第 4 回 環境基本計画推進部会	令元 7/8	◇第３次豊中市環境基本計画の進行管理について ◇協働の取組みに関する意見交換会について
第 12 期第 5 回 環境基本計画推進部会	令元 10/18	◇第３次豊中市環境基本計画の進行管理について ・協働の取組みに関する意見交換会の実施結果について ・とよなかの環境（中間報告）案について ◇その他
第 12 期第 6 回 環境基本計画推進部会	令 2 1/17	◇第３次豊中市環境基本計画の進行管理について ・協働の取組みに関する意見交換会のアンケート結果について ・とよなかの環境（本編）案について ◇令和２年度（2020 年度)「協働の取組みに関する意見交換会」のテーマについて

第 12 期　環境審議会委員名簿(順不同)

令和 2 年（2020 年）3 月末日現在

区　　分	氏　　名	所　属　等
学識経験者	猪井　博登	富山大学都市デザイン部 都市・交通デザイン学科准教授
	大久保　規子	大阪大学大学院 法学研究科教授
	上甫木　昭春	大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科教授
	下田　吉之	大阪大学大学院 工学研究科教授
	田中　晃代	近畿大学 総合社会学部総合社会学科 環境・まちづくり系専攻准教授
	花嶋　温子	大阪産業大学 デザイン工学部環境理工学科准教授
事業者	三河　俊樹	豊中青年会議所副理事長
	山西　洋一	豊中商工会議所副会頭
市民	上村　有里	市民公募委員
	籔本　圭一	市民公募委員
市民団体	松本　敏明	日本労働組合総連合会豊中地区協議会幹事
	熊本　英子	とよなか消費者協会副会長
	廣田　学	特定非営利活動法人 とよなか市民環境会議アジェンダ２１事務局長

第 12 期　環境基本計画推進部会委員名簿(順不同) *

令和 2 年（2020 年）3 月末日現在

区　　分	氏　　名	所　属　等
学識経験者	猪井　博登	富山大学都市デザイン部 都市・交通デザイン学科准教授
	大久保　規子	大阪大学大学院 法学研究科教授
	上甫木　昭春	大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科教授
	下田　吉之	大阪大学大学院 工学研究科教授
	田中　晃代	近畿大学 総合社会学部総合社会学科 環境・まちづくり系専攻准教授
	花嶋　温子	大阪産業大学 デザイン工学部環境理工学科講師

○廃棄物減量等推進審議会の開催経過

会　議　名	開催月日	会　議　内　容
第 11 期第 3 回 廃棄物減量等推進審議会	令元 7/11	◇第２回豊中市廃棄物減量等推進審議会における振り返りについて ◇平成30年度（2018年度）事業等報告書（速報版））（案）について ◇「一般廃棄物の減量の促進及び適正処理に関する事項等について」の諮問に係る答申（案）について ◇令和元年度（2019年度）第11期豊中市廃棄物減量等推進審議会の審議日程について ◇その他について
第 11 期第 4 回 廃棄物減量等推進審議会	令 2 1/27	◇第3回豊中市廃棄物減量等推進審議会における振り返りについて ◇「一般廃棄物の減量の促進及び適正処理に関する事項等について」に係る答申の報告について ◇平成30年度（2018年度）事業等報告書（確定版）（案）について ◇その他について

第 11 期　廃棄物減量等推進審議会委員名簿(順不同)

令和 2 年（2020 年）3 月末日現在

区　　分	氏　　名	所　属　等
学識経験者	渡辺　信久	大阪工業大学 工学部教授
	浅利　美鈴	京都大学大学院 地球環境学堂准教授
	花嶋　温子	大阪産業大学 デザイン工学部環境理工学科講師
市民	下村　浩	公募市民
	池本　えり	公募市民
	原田　八重子	公募市民
市民団体	新開　悦子	特定非営利活動法人 とよなか市民環境会議アジェンダ２１
	中澤　和子	とよなか消費者協会
	長谷川　清道	廃棄物減量等推進員
事業者	神保　利博	日本チェーンストア協会関西支部
	吉田　哲平	豊中商工会議所 事務局長
	岡田　佳男	マリンフード株式会社 常務取締役 生産本部長
再生資源業者	米田　弘樹	大阪再生資源業界近代化協議会 豊中支部長
廃棄物処理業者	澤村　正良	豊中環境事業協同組合 副理事長
市長が特に必要と認める者	大西　悟	連合大阪豊中地区協議会

•

○環境保全審査会の開催経過

会　議　名	開催月日	会　議　内　容
第１回　環境保全審査会	令元 7/24	◇会長・職務代理者の選任について ◇環境影響評価準備書の事業概要について （仮称）北緑丘計画に係る環境影響評価準備書 （仮称）北校、（仮称）南部コラボセンター建設工事に係る環境影響評価準備書 ◇その他

環境保全審査会委員名簿（順不同）

令和２年（2020 年）３月末日現在

区　　分	氏　　名	所　属　等
学識経験者	金﨑　正行	関西学院大学 非常勤講師
	佐山　浩	関西学院大学 総合政策学部教授
	澤木　昌典	大阪大学大学院 工学研究科教授
	中山　祐一郎	大阪府立大学大学院 人間社会システム科学研究科准教授
	張野　宏也	神戸女学院大学大学院人間科学研究科教授
	山村　充	兵庫県立大学環境人間学部教授
	吉田　長裕	大阪市立大学大学院工学研究科准教授

○都市景観・屋外広告物審議会の開催経過

会　議　名	開催月日	会　議　内　容
第１回 都市景観・屋外広告物審議会	令元 11/28	◇諮問第6号都市景観形成推進地区に係る景観計画の変更について ◇その他

都市景観・屋外広告物審議会名簿(順不同)

令和２年（2020 年）３月末日現在

区　　分	氏　　名	所　属　等
学識経験者	岡　絵理子	関西大学 環境都市工学部教授
	加我　宏之	大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科教授
	加藤　晃規	関西学院大学 名誉教授
	田中　一成	大阪工業大学工学部教授
	林　倫子	関西大学環境都市工学部准教授
	福田　知弘	大阪大学大学院 工学研究科准教授
	水野　優子	武庫川女子大学 生活環境学部准教授
	若本　和仁	大阪大学大学院 工学研究科准教授
事業者	石川　哲朗	大阪屋外広告美術協同組合副理事長
	加藤　精一	社団法人 大阪府建築士事務所協会
	材寄　法子	公益社団法人　大阪府建築士会
	山西　洋一	豊中商工会議所副会頭
市民	安藤　久美子	公募市民
	塩田　好則	公募市民
市長が必要と認める委員	三崎　信顕	大阪府住宅まちづくり部建築指導室建築企画課長

○環境委員会の開催経過

会　議　名	開催月日	会　議　内　容
第 1 回　環境委員会幹事会	令元 6/11	◇平成 30 年度（2018 年度）年次報告について ◇令和元年度（2019 年度）年次計画（案）について ◇その他
第 2 回　環境委員会幹事会	令元 9/12	◇豊中市電力の調達に関する環境配慮方針（案）について ◇第３次環境基本計画進行管理（とよなかの環境）について ◇その他
第 1 回　環境委員会	令元 10/3	◇豊中市電力の調達に関する環境配慮方針（案）について ◇第 3 次環境基本計画進行管理（とよなかの環境）について ◇その他

環境委員会名簿(順不同)

令和 2 年（2020 年）3 月末日現在

職　　名	委　員　名
副市長	菊池　秀彦
副市長	足立　佐知子
教育長	岩元　義継
市立豊中病院事業管理者	本荘　泰司
上下水道事業管理者	吉田　久芳
危機管理監	森　純一
人権文化政策監	山本　弥生
総務部長	籔床　和弘
都市経営部長	榎本　弘志
都市活力部長	長坂　吉忠
環境部長	河本　圭司
財務部長	直川　俊彦
市民協働部長	山口　太一
福祉部長	大東　幹彦
健康医療部長	松岡　太郎
こども未来部長	明石　治美
都市計画推進部長	上野山　雅也
都市基盤部長	上北　隆之
会計管理者	福田　雅至
市立豊中病院看護部長	藤田　幸恵
市立豊中病院事務局長	小杉　洋樹
上下水道局経営部長	野村　淳一
上下水道局技術部長	樋上　利哉
消防局長	小倉　博
教育委員会事務局長	小野　雄慈
教育委員会事務局教育監	田中　彰治
市議会事務局長	五嶋　保弘
豊中市伊丹市クリーンランド事務局長	野口　幸雄

環境委員会幹事会(順不同)

令和 2 年（2020 年）3 月末日現在

（環境委員会設置要綱別表２に掲げる委員）

所　属	職　名	幹事会委員名
総務部	行政総務課長	武市　彰史
都市経営部	経営計画課長	寺田　光一
都市活力部	空港課長（次長）	藤家　寛
	産業振興課	高島　健司
環境部	資源循環長	勝井　隆文
	環境政策課長（次長）	糸井　達也
	環境政策課主幹（環境保全担当）	安好　明男
	環境政策課主幹（計画推進担当）	山本　眞人
	公園みどり推進課長	中村　正英
	減量計画課長	吉村　光章
	美化推進課長	中川　義彦
市民協働部	コミュニティ政策課長（次長）	長坂　由貴
	くらし支援課長（参事）	宮城　節子
都市計画推進部	都市計画課長	今中　義晃
都市基盤部	交通政策課長（次長）	小森　憲昭
上下水道局　経営部	総務課長（次長）	甫立　浩三
教育委員会事務局	教育総務課長（次長）	福山　隆志
	学校教育課長	眞田　巧
農業委員会事務局	事務局長	山野　純
豊中市伊丹市クリーンランド	総務課長（次長）	山田　隆史

（環境委員会設置要綱別表 3 に掲げる委員）

危機管理課	危機管理課長	安井　茂高
都市活力部	魅力創造課長（次長）	小原　美紀
財務部	財政課長	伊藤　洋輔
福祉部	地域共生課長	佐野　健二
こども未来部	こども政策課長（次長）	蓬莱　秀夫
都市計画推進部	住宅課長（次長）	別所 貴美子
市立豊中病院事務局	総務企画課長（次長）	加嶋　隆
消防局	消防総務課長（次長）	片岡　邦恭

６．第３次豊中市環境基本計画施策体系一覧

第３次豊中市環境基本計画の計画期間において「私たちの目標」、「基本姿勢」、「望ましい環境像」、5つの具体的な「環境目標」の実現をめざし、具体的に取り組むこと（施策）を下記の通り設定して目標達成に向けた取組みを進めています。

第４章　目標達成のために取り組むこと

4.1　環境政策を推進するための総合的なしくみづくり

1-1　環境政策の総合的・計画的な推進
- ①環境基本計画の進行管理・評価、部局間連携の推進、広域連携の推進

1-2　環境情報の提供
- ①環境情報の収集・整備および効果的な提供

1-3　環境に関する教育・学習と意識啓発の推進
- ①啓発活動の推進
- ②環境教育・環境学習の推進

1-4　協働とパートナーシップに基づく施策の推進
- ①環境政策・決定への市民参加・参画の推進
- ②市民やNPOなどの自主的な公益活動の支援・促進
- ③多様な活動主体の協働による事業の推進

4.2 持続可能な低炭素社会づくり

2-1　省資源・省エネルギーを通じた低炭素社会の実現
- ①住宅や機器の更新等による家庭の省エネルギー化の推進
- ②事業活動における温室効果ガス排出削減対策の推進
- ③環境に優しいライフスタイルへの転換

2-2　再生可能エネルギー等の活用促進
- ①再生可能エネルギー等導入支援
- ②市有施設での率先的導入と普及・啓発の促進

2-3　環境に配慮した運輸部門における施策の推進
- ①公共交通利便性向上の促進
- ②安全で快適な自転車利用環境の創出
- ③エコドライブの推進、次世代自動車の普及促進

4.3　廃棄物の減量および適正処理を通じた循環型社会づくり

3-1　廃棄物の減量に向けた発生抑制・再使用と質の高いリサイクルの推進
- ①市民・事業者・行政の協働による循環型社会の構築
- ②家庭系ごみ減量等に関する取組み
- ③事業系ごみ減量等に関する取組み

3-2　廃棄物の適正処理の推進
- ①分別収集およびリサイクル、適正処理の推進

3-3　災害廃棄物の適正処理
- ①災害廃棄物処理対応の推進

3-4　産業廃棄物の適正処理
- ①産業廃棄物の減量化・適正処理の推進

4.4　都市における自然との共生をめざした社会づくり

4-1　受け継がれてきたみどりの保全や育成

①まとまりのあるみどりの保全や育成

②生物多様性の保全

③連続性や水面のあるみどりの保全や育成

④農地の保全

4-2　都市のみどりや地域の身近なみどりの創出

①公有地の緑化

②民有地の緑化

③景観を形成するみどりづくり

4-3　みどりを活かした安全で快適なくらしの実現

①魅力的で利便性の高い公園づくり

②防災・減災に資するみどりづくり

③みどりの保全や緑化活動に対する支援

④みどりの普及啓発

4-4　生物多様性の総合的な保全と利用

4-5　都市景観・歴史環境、快適環境の保全・創出

①良好な都市景観の保全・創出

②環境美化活動の促進

③歴史的遺産および原風景の保全

④開発行為等における環境配慮の推進

⑤環境影響評価制度の推進

4.5　安全で快適な都市環境づくり

5-1 環境汚染防止対策の充実

①典型公害対策の充実

②環境監視と情報提供

③土壌汚染対策の推進

④アスベスト飛散防止対策

5-2 都市・生活型公害対策の推進

①都市・生活空間における環境対策の推進

②ヒートアイランド対策の推進

5-3 健全な水環境・水循環の創出

①都市における水循環の保全

②環境にやさしい上下水道事業の展開

•

7．算術単位などの解説

dB	dB（デシベル）は、電気工学や音響工学などの分野で使用される無次元の単位。音の強さ（音圧レベル）などを表すのに使用される。
GJ,Gcal,TJ	いずれもエネルギーの単位。1J（ジュール）は約 0.2389cal（カロリー）である。G（ギガ）は 10 の 9 乗（10 億）を示す接頭語の略、T（テラ）は 10 の 12 乗（1 兆）を示す接頭語の略。
Lden	航空機騒音の環境基準の WECPNL に代わり平成 25 年（2013 年）4 月 1 日から新たに導入した評価指標。ある時間内で変動する騒音レベルのエネルギーに着目した評価手法である「等価騒音レベル」を基本とした評価手法の１つで、1 日を昼間（day)、夕方（evening)、夜間（night）の時間帯に分け、夕方の騒音、夜間の騒音に重み付けしたうえで 1 日の等価騒音レベルを評価する。単位はデシベル（dB）が用いられる。
ppm	濃度を示す単位。parts per million の略。100 万分の 1 を基準とする割合の単位（100 万分率）のこと。
pg-TEQ	ダイオキシン類の環境濃度を表す単位。p(ピコ)は、pico-(=1 兆分の 1)の意を表す接頭語の略で、pg(ピコグラム)は、1 兆分の 1g、TEQ は「毒性等量（toxic equivalents)」を表す。
t-CO_2	二酸化炭素の排出量をトン（ｔ）単位で表したもの。
WECPNL（うるささ指数）	航空機の離発着に伴う騒音の強度、頻度、発生回数などの諸要素を考慮して算定された指数で、うるささを評価するもの。Weighted Equivalent Continuous Perceived Noise Level の略。日本語では「加重等価平均感覚騒音レベル」または「うるささ指数」などと呼ばれている。平成 25 年（2013 年）3 月 31 日までの航空機騒音の環境基準評価指標。

8．部門別温室効果ガス排出量・エネルギー消費量の算定方法について

地球温暖化対策の推進に関する法律（以下「温対法」という。）の第二十条の三の 10 では、都道府県及び市町村は、毎年 1 回、地方公共団体実行計画に基づく措置及び施策の実施の状況（温室　効果ガス総排出量を含む。）を公表しなければならないと述べてあります。

本市は、温対法および豊中市環境の保全等の推進に関する条例に基づき、平成 19 年(2007 年)11 月に「豊中市地球温暖化防止地域計画（チャレンジ－（マイナス）７０プラン)」を策定、平成 26 年（2014 年）3 月に改定し、温室効果ガスである二酸化炭素、メタン（CH_4）、一酸化二窒素（N_2O)、ハイドロフルオロカーボン（HFC)、それぞれの排出量を試算して、その値の公表を行っています。温室効果ガス排出量の試算方法については、次ページにて、その一覧を示しています。

対象とする産業、民生家庭、民生業務、運輸、廃棄物の 5 部門の定義は以下のとおりです。

図表　各部門の定義

部　　門	定　　義
産業部門	製造業、農林水産業、鉱業、建設業におけるエネルギー消費に伴う排出。運輸部門に関するものを除く。
業務部門	産業・運輸部門に属さない、企業・法人のエネルギー消費（商業部門全般。卸売業、飲食店、小売店、教育施設、病院、娯楽施設など第 3 次産業が中心）に伴う排出。運輸部門に関するものを除く。
家庭部門	家庭におけるエネルギー消費に伴う排出。自家用車に関するものは除く。
運輸部門	人の移動や物資の輸送にかかわるエネルギー消費に伴う排出。輸送形態により、自動車（業務用自動車及び自家用車を含む)、鉄道、船舶、航空に区分される。
廃棄物部門	一般廃棄物、産業廃棄物の埋立・焼却、下水処理に伴い発生する排出。

（参考：地球温暖化対策地域推進計画策定ガイドライン及びエネルギー・経済データの読み方入門）

図表　豊中市地球温暖化防止地域計画における温室効果ガスの種類と排出源

種　類	排　　出　　源
二酸化炭素	燃料（ガソリン、灯油、軽油、A 重油など)、電気、ガス、廃棄物焼却など
メタン	廃棄物焼却、下水処理、下水汚泥焼却、自動車走行
一酸化二窒素	廃棄物焼却、下水処理、下水汚泥焼却、自動車走行
ハイドロフルオロカーボン	カーエアコンの使用、ルームエアコンの使用

＊豊中市地球温暖化防止地域計画では、京都議定書が定める温室効果ガス 6 ガスのうち、上記 4 種類を調査対象としています。残りのパーフルオロカーボン（PFC)、六ふっ化硫黄（SF_6）の排出は、絶縁機器等からの漏洩であり、本市において把握困難であることから対象外としました。

市域の温室効果ガス排出量の算定方法一覧

部門・分野		ガス	算定方法	使用するデータ
産業部門	農林業	CO_2	灯油、軽油、A 重油ごとに ①全国農業エネルギー消費量×｛耕地面積の按分率（②豊中市/③全国）｝ ＝豊中市農業エネルギー消費量 ・豊中市農業エネルギー消費量×CO_2排出係数＝豊中市内 CO_2排出量	①総合エネルギー統計 ②③作物統計
	建設業		灯油、軽油、A･C 重油ごとに ①全国建設業エネルギー消費量×｛着工床面積の按分率（②豊中市/③全国）｝ ＝豊中市建設業エネルギー消費量 ・豊中市建設業エネルギー消費量×CO_2排出係数＝豊中市内 CO_2排出量	①総合エネルギー統計 ②③建築着工統計調査
	製造業		石炭、石炭製品、軽質油製品、重質油製品、石油ガス、天然ガスごとに ①大阪府製造業エネルギー消費量×｛製造品出荷額の按分率（②豊中市/③大阪府）｝ ＝豊中市製造業エネルギー消費量 ・豊中市製造業エネルギー消費量×CO_2排出係数＝豊中市内 CO_2排出量	①都道府県別エネルギー消費統計 ②③工業統計調査
	電力		①関西電力ほか小売電気事業者から提供された豊中市内の消費電力量（産業部門） ×CO_2排出係数＝豊中市内 CO_2排出量	①関西電力ほか小売電気事業者
	ガス		①大阪ガスほかガス小売事業者から提供された豊中市内の工業用ガス需要量×CO_2排出係数 ＝豊中市内 CO_2排出量	①大阪ガスほかガス小売事業者
家庭部門	家庭系	CO_2	灯油、LPG ごとに ①大阪市 1 世帯あたりの購入量×②豊中市世帯数＝豊中市の購入量（消費量） ・豊中市の消費量×CO_2排出係数＝豊中市内 CO_2排出量	①家計調査年報 ②豊中市人口統計
		HFC	①近畿地域の 1 世帯あたりのエアコン保有数量×②豊中市世帯数 ＝豊中市内のエアコン台数 ・豊中市内エアコン台数×HFC 排出係数×地球温暖化係数 ＝豊中市内 HFC 排出量（CO_2換算）	①消費動向調査 ②豊中市人口統計
	電力	CO_2	①関西電力ほか小売電気事業者から提供された豊中市内の消費電力量（家庭部門） ×CO_2排出係数＝豊中市内 CO_2排出量	①関西電力ほか小売電気事業者
	ガス	CO_2	①大阪ガスほかガス小売事業者から提供された豊中市内の家庭用ガス需要量×CO_2排出係数 ＝豊中市内 CO_2排出量	①大阪ガスほかガス小売事業者
業務部門	業務系	CO_2	灯油、A 重油、LPG ごとに ①全国の業務系エネルギー消費量×②全国の業務系エネルギー消費量の業種別内訳 ×｛業種別延床面積の按分率（③豊中市/④全国）｝ ＝豊中市内の業種別エネルギー消費量 ・豊中市内の業種別エネルギー消費量×CO_2排出係数＝豊中市内 CO_2排出量	①総合エネルギー統計 ②④エネルギー・経済統計要覧 ③豊中市調べ・経済ｾﾝｻｽ
	電力		①関西電力ほか小売電気事業者から提供された豊中市内の消費電力量（業務部門） ×CO_2排出係数＝豊中市内 CO_2排出量	①関西電力ほか小売電気事業者
	ガス		①大阪ガスほかガス小売事業者から提供された豊中市内の商業用･医療用･公用ガス需要量 ×排出係数＝豊中市内 CO_2排出量　（含、千里中央地区、地域冷暖房）	①大阪ガスほかガス小売事業者
運輸部門	自動車	CO_2	7 車種別に ①豊中市に登録された自動車 1 台あたりの年間走行距離 ×②市内の自動車保有台数×③走行距離あたりのｴﾈﾙｷﾞｰ消費量×CO_2排出係数 ＝豊中市内の自動車からの CO_2排出量	①自動車 CO_2表示ｼｽﾃﾑ ②豊中市統計書 ③自動車燃料消費量調査
		CH_4、N_2O	7 車種別に ①豊中市に登録された自動車 1 台あたりの車種別走行距離 ×②市内の自動車保有台数×③全国の燃料消費量の燃料別内訳 ＝豊中市内の車種別燃料別年間走行距離 ・豊中市内の車種別燃料別年間走行距離×（CH_4または N_2O）排出係数×地球温暖化係数 ＝豊中市内の自動車からの排出量（CO_2換算）	①自動車 CO_2表示ｼｽﾃﾑ ②豊中市統計書 ③自動車燃料消費量調査
		HFC	①大阪府内のカーエアコン対象台数割合×②市内の自動車保有台数　×HFC 排出係数 ×地球温暖化係数 ＝豊中市内の自動車からの HFC 排出量（CO_2換算）	①一般社団法人自動車検査登録情報協会調べ ②豊中市統計書
	鉄道	CO_2	鉄道会社ごとに ①運転用電力消費量×｛営業キロ数の按分率（②豊中市内営業キロ/③総営業キロ）｝ ×CO_2排出係数＝豊中市内の鉄道からの CO_2排出量	①～③各鉄道会社
廃棄物部門	廃棄物	CO_2	①一般廃棄物焼却量（豊中市分）×②廃プラ率×CO_2排出係数 ＝豊中市内の CO_2排出量	①ひと目で分かるｸﾘｰﾝﾗﾝﾄﾞ ②ごみ処理事業年報
		CH_4、N_2O	CH_4,N_2O ごとに ①下水汚泥焼却量（豊中市分）×（CH_4または N_2O）排出係数×地球温暖化係数 ＝豊中市内の排出量（CO_2換算） ②下水処理量（豊中市分）×（CH_4または N_2O）排出係数＝×地球温暖化係数 ＝豊中市内の排出量（CO_2換算）	①②豊中市調べ

協働の取組み事例一覧（環境部と協働で実施している/協働で実施が可能な事業一覧）

環境分野	事業名など	概要	選定基準						主な活動の主体				意見交換の内容
			①政策上の課題となっている	②協働の取組みが必要である	③取組みの分野が多様である	④他分野と統合的に取組める	⑤市民へ取組みを広げられる	⑥地域レベルの取組みが可能	市民	市民団体	事業者	行政	
【目標１】環境政策を推進するための総合的なしくみづくり	とよなか市民環境展	様々な主体が協働して行う市域全体の環境学習イベント。		○	○	○	○		・市民	・アジェンダ 21 ・出展参加団体	・協賛事業者 ・出展事業者	・教育委員会 ・環境部 ・上下水道局 ・クリーンランド	環境展を今後も協働で支え、継続していくための方策を話し合う。
	環境教育・学習（各分野で、個別に取り組む環境教育・学習） 意見交換会実施済（令和元年度）	温暖化教育や自然環境学習、幼少期から始める美化清掃活動、ごみ減量に関する学習など。	○	○	○	○	○	○	・市民 ・幼児、小学生 ・廃棄物減量等推進員	・大阪大学環サークル GECS ・豊中市民エネルギーの会 ・豊中みどりの交流会 ・緑化リーダー会 ・NPO 法人アジェンダ 21	・大阪工業大学 ・阪急タクシー ・大阪トヨペット ・マツダ ・西日本三菱 ・関西電力 ・大阪ガス ・パナホーム ・私立幼稚園連合会事務局	・環境政策課 ・公園みどり推進課 ・美化推進課 ・家庭ごみ事業課 ・クリーンランド ・小学校（教育委員会） ・こども園（こども未来部） ・大阪府みどり公社	あらゆる分野で取り組まれている環境学習の整理を行い、さらに広げるためにどのようにすべきか話し合う。
【目標２】低炭素社会づくり	市民向け地球温暖化対策省エネ推進事業	豊中市地球温暖化防止地域計画の策定を受けて、市民の省エネ活動の促進を目的に 2008 年に仕組みづくりを開始。以降、関係者の協力を得て、協働で取組みを実施している。	○	○			○	○	・市民	・アジェンダ 21（協働事業→一般事業化）	・「とよか」が使える店舗 ・コープこうべ	・環境政策課	2008 年に開始された取組みの過去 10 年間の動きの評価を行う。
	再生可能エネルギーの活用促進 意見交換会実施予定（令和３年度）	市内の自然由来のエネルギーの利用を推奨し、市域で電力の排出係数を下げるための取組みのあり方を検討する。現在協働が行われていない分野において、協働事業を推進することをめざす。	○	○		○	○	○		・豊中市民エネルギーの会	・電力事業者 ・商工会議所 ・市内事業者	・環境政策課 ・再生エネ普及促進に取り組んでいる自治体 ・クリーンランド	・市域の再エネ由来の電力の導入拡大に向け、市民や自治体、事業者の協働の可能性の考察。
	食材の地産地消の取組み	食材の地産地消を進めることは、食材を運搬するエネルギーの削減につながり、食品を通して環境を見直すきっかけにすることができる。現状の課題を抽出し、給食で使用している豊中・能勢の食材の幅などを広げることを目指す。			○	○	○	○			・給食に所億剤を提供している事業者、農家	・学校給食課 ・農業委員会 ・産業振興課	・地産食材を提供、使用するにあたっての課題 ・食育から環境問題へ子供の視点を広げるための課題

環境分野	事業名など	概要	選定基準						主な活動の主体				意見交換の内容
			①政策上の課題となっている	②協働の取組みが必要である	③取組みの分野が多様である	④他分野と統合的に取組める	⑤市民へ取組みを広げられる	⑥地域レベルの取組みが可能	市民	市民団体	事業者	行政	
【目標３】廃棄物の減量および適正処理を通じた循環型社会づくり	レジ袋の削減・マイバッグ持参運動の推進	北摂地域において事業者と行政で「北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定」を締結し、協定締結事業者の協力を得て、マイバッグの持参率調査や店頭での PR 活動等の取組みを展開している。また、取組み内容を、イベント等において周知 PR している。	○	○			○	○	・市民		・イオンリテール㈱ ・イズミヤ㈱ ・㈱関西スーパーマーケット ・㈱光洋 ・㈱ダイエー ・㈱阪急オアシス ・㈱平和堂 ・㈱万代 ・㈱ライフコーポレーション ・生活協同組合コープこうべ ・㈱ハートフレンド	・豊中市 ・協定都市（池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、能勢町）	レジ袋の無料配布を行っている事業者の課題及び、課題に向けた解決方法について、話し合い。また、市民へのさらなるマイバッグの利用の広がり及び定着をどのようにすべきかを話し合う。
	子ども服のリユース事業	市民から不要になった子ども服を集め、必要としている市民に提供する場を設けリユース（再利用）してもらうことで、ごみ減量を進めるとともに、子育て世帯等のサポートにも役立てている。それぞれの目的により、個別に取組みを実施しているが、一部の団体同士で服の移動や、関係者間での情報共有がゆるやかに行われている。	○	○	○	○	○		・市民	・SMILE		・家庭ごみ事業課 ・こども未来部	現在様々なところで広がっている子ども服のリユース活動の実績及び課題等を話し合い、今後協働による広がりによって課題解決ができないか話し合う。
	豊中エコショップ	広く消費者に支持される環境にやさしい店づくりを進め、ごみの減量・リサイクルを推進するとともに、市民の環境意識の高揚を図っている。	○	○	○	○		○	・市民 ・廃棄物減量等推進員	・とよなか消費者協会 ・アジェンダ 21 ・老人クラブ連合会 ・豊中市こども会連合会 ・豊中地域活動栄養士会トゥデイ	・コープこうべ ・豊中商工会議所 ・エコショップ認定店舗	・減量計画課	平成 25 年度に制度創設し、現在の認定店舗数は 147 店舗（1 月末現在）となる。市域における本制度の認知度の向上、認定店舗同士の連携、市民等と人店舗が協働した地域での取組みについて話し合う。
	事業系再生資源回収システム	事業所から排出される段ボール・新聞・アルミ缶などの再生資源の効率的な回収と再資源化に取り組んでいる。排出事業所と再生資源回収業者を結び、収集日を決め、各店舗に排出された再生資源を回収するシステムを各事業者団体や組合に提案している	○	○				○			・再生資源回収業者 ・事業者団体 ・組合	・事業ごみ指導課	現在再生資源回収業者が 1 社であり、組合や団体に加盟していない事業者も参加できるようにするにはどうすれば良いか、話し合う。

環境分野	事業名など	概要	選定基準						主な活動の主体				意見交換の内容
			①政策上の課題となっている	②協働の取組みが必要である	③取組みの分野が多様である	④他分野と統合的に取組める	⑤市民へ取組みを広げられる	⑥地域レベルの取組みが可能	市民	市民団体	事業者	行政	
【目標３】廃棄物の減量および適正処理を通じた循環型社会づくり	機密書類リサイクル支援	年２回、個人情報などを含む機密書類を市内事業所がクリーンランドに搬入し、まとめたものを大型トラックで製紙工場に持ち込み再生するシステムに取り組んでいる。	○	○				○		・アジェンダ 21	・市内事業者 ・豊中商工会議所	・クリーンランド ・事業ごみ指導課	リサイクル推進のため、参加事業者を増やす取組みについて、話し合う。
	臨時ごみリユース推進支援事業	市民から排出された臨時ごみのうち、再使用可能な家具類等を市民に提供する事業に対し、当該再使用可能な家具類等を提供し再使用してもらうことで、ごみの減量を図る。	○	○				○	・市民	・自治会、子ども会等など、営利を目的としない地域団体	・豊中市社会福祉協議会　など	・家庭ごみ事業課	在庫状況によっては、需要と供給のミスマッチが生じる場合があるなど課題の解決や、活動を広げるための取組みについて話合う。
	再生資源集団回収報奨金交付事業	市が実施している通常のごみ収集とは別に、市に登録した地域団体が各家庭から出る新聞・雑誌・雑がみ・段ボールなどの再生資源を自主的に集め、市の登録行商者に引き渡すリサイクル活動。市では、登録団体及び登録行商者に回収量に応じた報奨金を交付することで、地域コミュニティの活性化を支援している。	○	○			○	○		・再生資源集団回収登録団体（自治会、子ども会、管理組合等）	・再生資源集団回収登録行商者	・家庭ごみ事業課	年々、登録団体数は微増しているが、PC、タブレットの普及や自治会加入率の低下等に伴い、回収量が減少しているため、優秀な事例を取り上げるなどして事業の活性化に繋げることが必要。
	フードドライブ事業 意見交換会試行実施（平成３０年度）	市民や事業者から余っている食品を回収し、社会福祉協議会を通じて地域の子ども食堂に分配することで、食品ロスの削減を図る。	○	○		○	○	○	・市民	・子ども食堂ネットワーク	・豊中市社会福祉協議会 ・㈱ダイエー	・減量計画課 ・こども政策課	提供された食品の分配や運搬の効率化や、活用先へ安定的な量の食品を提供などの課題を協働で解決する仕組みづくりを話し合う。

環境分野	事業名など	概要	選定基準						主な活動の主体				意見交換の内容
			①政策上の課題となっている	②協働の取組みが必要である	③取組みの分野が多様である	④他分野と統合的に取組める	⑤市民へ取組みを広げられる	⑥地域レベルの取組みが可能	市民	市民団体	事業者	行政	
【目標４】都市における自然との共生をめざした社会づくり	生物多様性の啓発及び推進 意見交換会実施済（令和２年度）	市内の生物多様性推進のため取組み。	○	○	○		○	○	・市民	・アジェンダ 21 ・ヒメボタル保護者会 ・天竺川ホタルの会	・パナホーム ・大阪大学	・環境政策課 ・公園みどり推進課	地球で生物多様性に関連した取組みや協働が進んでいるのか。今後、どのようにともに取り組んでいけばよいか、話し合う。
	ヒメボタルの保全	大阪府により準絶滅危惧種に指定されている希少なヒメボタルの市内に残された生息地を都市緑地法による「特別緑地保全地区」に指定し、市民との協働により、保全を行うほか、ヒメボタルの発光（発生）数調査や自然環境学習として、ヒメボタルに関する学習会・観察会及び環境展へのパネル出展などを実施。		○			○	○	・市民	・ヒメボタル保護者会（豊中ヒメボタルを守る会・春日３丁目蛍会・NPO 法人アジェンダ 21）		・公園みどり推進課	「ヒメボタル保護者会」ほか団体同士の協働や、ヒメボタルを軸とした自然環境学習がどのように進んでいるのか、などについて話し合う。
	緑化推進	生活環境に癒しと安らぎ、潤いを与え、地球温暖化の防止、都市におけるヒートアイランドの緩和、防災・減災、排気ガスや騒音等の低減などの役割もある草花やみどりを大切にするため、市民や事業者のみなさんと協力して花とみどりのまちづくりを推進している。	○	○		○	○		・市民	・豊中みどりの交流会 ・豊中緑化リーダー会 ・アジェンダ 21		・公園みどり推進課 ・環境政策課	緑化推進の協働取組みの現状や、さらなる緑化推進に向けてどのように取り組めばよいか話し合う。
	美化パトロール事業（不法投棄防止パトロール）	公共の場所における環境美化保全や市内の子どもの安心・安全を守るため、定期的なパトロールを実施しています。定期的な美化パトロールにより、不法投棄物や散乱ごみなどのない美しいまちづくりの推進および街頭防犯の抑止を図る。（豊中 HP：美化パトロール事業）	○	○	○		○	○	・市民	・自治会		・美化推進課 ・警察 ・環境政策課 ・教育委員会	通報型の協働の取組みを話し合う。
	地域及び美化推進重点地区での清掃活動	個人をはじめとして、まち美化活動協定、アダプトシステム事業等の団体や事業者が自主的に地域清掃活動を実施。また、美化推進重点地区では、豊中市まちを美しくする運動連絡会議やまち美化名人等による清掃活動を行っている。		○		○	○	○	・市民	・婦人団体連絡協議会 ・PTA 連合協議会 ・老人クラブ	・西日本電信電話㈱ ・関西電力㈱ ・阪急電鉄㈱ ・（公社）全日本不動産協会 ・大阪府宅地建物取引業協会	・公園みどり推進課 ・道路管理課 ・道路維持課 ・水路課 ・美化推進課	協働取組みの現状とともに、さらなる美化推進に向けてどのように取り組めばよいか話し合う。

環境分野	事業名など	概要	選定基準						主な活動の主体				意見交換の内容
			①政策上の課題となっている	②協働の取組みが必要である	③取組みの分野が多様である	④他分野と統合的に取組める	⑤市民へ取組みを広げられる	⑥地域レベルの取組みが可能	市民	市民団体	事業者	行政	
【目標５】安全で快適な都市環境づくり	みどりのカーテンづくり	みどりに関する活動を行う市民の交流の場である「豊中みどりの交流会」において、小学校やこども園、授産施設等でゴーヤによるみどりのカーテンづくりの取組みを支援している。また、みどりのカーテンづくりを広げるために、講習会の開催やイベントでの苗の配布などを実施している。「みどりのカーテンプロジェクト」として、平成 31 年度は 33 校、31 施設で実施。	○	○		○	○		・市民	・豊中みどりの交流会 ・民間こども園、保育所 など	・市内で取り組む事業者	・保健所 ・消防署（熱中症対策） ・公園みどり推進課 ・学校、こども園	協働取組みの現状とともに、緑化の推進・熱中症対策ともあわせ、みどりのカーテンを市内全域に広めていくためにどうすればよいか、話し合う。

環境基本計画　令和 2 年度実施事業の要点

令和 2 年度の実施事業で特徴的な内容や主だったものを抜粋して説明します。

目標 1. 環境政策を推進するための総合的なしくみづくり

◆とよなか市民環境会議の活動の強化

市内の事業者・市民団体・行政関係部局など、136 団体で構成するとよなか市民環境会議の活動強化として、構成団体間の先進的、継続的な取組みを共有することや取組み事例を SNS で発信し広げることを目的に独自ホームページの作成を実施。

（施策方針：多様な活動主体の協働による事業の推進【基本計画 P40】）

◆環境交流センターの指定管理者選定評価委員会を開催

市民サービスの向上、経費削減を主な目的として、市立環境交流センターに指定管理制度を導入。平成 30 年度から令和 4 年度までの指定管理期間の中間評価を選定評価委員会にて実施。

（施策方針：多様な活動主体の協働による事業の推進【基本計画 P40】）

目標 2. 持続可能な低炭素社会づくり

◆環境配慮契約の推進

再生可能エネルギーの導入割合がより高い事業者が入札参加できるよう「豊中市電力の調達に関する環境配慮方針」（令和元年度策定）の配点基準の見直しを実施。また、高圧電力と特別高圧電力だけでなく、低圧電力も入札による調達を実施。

（施策方針：事業活動における温室効果ガス排出削減対策の推進【基本計画 P44】）

◆再生可能エネルギーに関する普及・啓発

吹田市と自治体間連携協定を締結し、一般家庭や個人事業者が再生可能エネルギー比率の高い電力事業者に切り替えることを促すキャンペーン（EE 電）を実施。登録者数は 1,000 件以上となり、その中から約 1 割の家庭等が電力事業者を切り替えると想定。（令和 3 年 1 月 13 日現在）

（施策方針：再生可能エネルギー等導入支援【基本計画 P44】）

◆次世代自動車に関する情報発信

令和元年度に、西日本三菱自動車販売株式会社及び三菱自動車工業(株)と「災害時における電動車両等の支援に関する協定」を北大阪地域の自治体で初めて締結。（電動車の貸与について必要な事項をあらかじめ定め、災害発生時には速やかに避難所等へ配置し、電気の供給等に活用。）平時においては、電動車の災害発生時における有用性を啓発。

（施策方針：エコドライブの推進、次世代自動車の普及促進【基本計画 P45】）

目標 3.廃棄物の減量および適正処理を通じた循環型社会づくり

◆環境配慮型販売システムの推進

「豊中エコショップ」の環境に配慮した取組みをより多くの市民に知っていただくため、新たに「豊中エコショップラベリング制度」を実施。(豊中エコショップ認定店舗が実施している「食品ロスの削減」や「プラスチックごみの削減」の具体的な取組み内容を記載したステッカーを表示。)

(施策方針：市民・事業者・行政の協働による循環型社会の構築【基本計画 P47】)

◆発生抑制・再使用の推進

プラスチックごみの削減の取組みとして、ペットボトル等の削減を目的に、マイボトル持参促進に関する周知を市民及び庁内向けに実施。

(施策方針：家庭系ごみ減量等に関する取組み【基本計画 P47】)

◆災害廃棄物処理計画の実効性の確保

新型コロナウイルス感染拡大防止の対応として、廃棄物の適正処理を促す動画「マスクの捨て方」や自宅で不要なものをなくし整理整頓を促す動画「外出自粛時の過ごし方」など、YouTube「とよなか環境 TV」において配信。

(施策方針：災害廃棄物処理対応の推進【基本計画 P48】)

目標 4. 都市における自然との共生をめざした社会づくり

◆南部地域の緑化の推進

南部地域における緑化を推進するための緑化施策の検討及び仕組みづくりを実施。

(施策方針：まとまりのあるみどりの保全や育成【基本計画 P50】)

目標 5. 安全で快適な都市環境づくり

◆環境汚染防止対策

環境基本法に基づく環境基準項目（大気・水・土壌、騒音）の調査や工場・事業場への指導・啓発のほか、建築物の解体・改修作業における石綿飛散防止対策の注意喚起を実施。

(施策方針：環境汚染防止対策の充実【基本計画 P55】)

参考資料:第13期環境審議会委員名簿

区分	名前	役職等	備考
学識経験者	猪井（イノイ）　博登（ヒロト）	富山大学　都市デザイン学部　准教授	
	上田（ウエダ）　佳代（カヨ）	京都大学大学院　地球環境学堂　環境健康科学論　准教授	
	上甫木（カミホギ）　昭春（アキハル）	大阪府立大学　名誉教授	**会長**
	小杉（コスギ）　隆信（タカノブ）	立命館大学　政策科学部　教授	
	小谷（コタニ）　真理（マリ）	同志社大学　政策学部　准教授	
	田中（タナカ）　晃代（アキヨ）	近畿大学　総合社会学部　総合社会学科 環境・まちづくり系専攻　准教授	
	花嶋（ハナシマ）　温子（アツコ）	大阪産業大学　デザイン工学部　環境理工学科　准教授	
	前迫（マエサコ）　ゆり	大阪産業大学　人間環境学研究科 デザイン工学部環境理工学科　教授	
事業者	加納（カノウ）　栄二（エイジ）	豊中青年会議所　副理事長	
	山西（ヤマニシ）　洋一（ヨウイチ）	豊中商工会議所　副会頭	
公募市民	大橋（オオハシ）　寛実（ヒロミ）	市民公募委員	
	田中（タナカ）　偉夫（ヒデオ）	市民公募委員	
市民団体	松本（マツモト）　敏明（トシアキ）	日本労働組合総連合会　豊中地区協議会　幹事	
	熊本（クマモト）　英子（ヒデコ）	とよなか消費者協会　副会長	
	廣田（ヒロタ）　学（マナブ）	特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ２１ 事務局長	